

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書

【提出先】 関東財務局長 殿

【提出日】 平成24年9月13日提出

【計算期間】 第1特定期間
(自 平成23年12月28日 至 平成24年6月20日)

【ファンド名】 香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)ブラジルリアルコース
香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)豪ドルコース
香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)南アフリカランドコース
香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)資源国通貨コース
香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)香港ドルコース
香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)日本円コース
(総称を「香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)」とします。)

【発行者名】 大和証券投資信託委託株式会社

【代表者の役職氏名】 取締役社長 白川 真

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋茅場町二丁目10番5号

【事務連絡者氏名】 長谷川 英男

【連絡場所】 東京都中央区日本橋茅場町二丁目10番5号

【電話番号】 03-5695-2111

【縦覧に供する場所】 該当ありません。

第一部 【ファンド情報】

第1 【ファンドの状況】

1 【ファンドの性格】

(1) 【ファンドの目的及び基本的性格】

当ファンドは、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。社団法人投資信託協会による商品分類・属性区分は、次のとおりです。

香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）ブラジルリアルコース

香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）豪ドルコース

香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）南アフリカランドコース

香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）資源国通貨コース

香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）香港ドルコース

| | | |
|------|---------------|----------------------|
| 商品分類 | 単位型投信・追加型投信 | 追加型投信 |
| | 投資対象地域 | 海外 |
| | 投資対象資産(収益の源泉) | 株式 |
| 属性区分 | 投資対象資産 | その他資産（投資信託証券（株式 一般）） |
| | 決算頻度 | 年12回（毎月） |
| | 投資対象地域 | アジア |
| | 投資形態 | ファンド・オブ・ファンズ |
| | 為替ヘッジ | 為替ヘッジなし |

香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）日本円コース

| | | |
|------|---------------|----------------------|
| 商品分類 | 単位型投信・追加型投信 | 追加型投信 |
| | 投資対象地域 | 海外 |
| | 投資対象資産(収益の源泉) | 株式 |
| 属性区分 | 投資対象資産 | その他資産（投資信託証券（株式 一般）） |
| | 決算頻度 | 年12回（毎月） |
| | 投資対象地域 | アジア |
| | 投資形態 | ファンド・オブ・ファンズ |
| | 為替ヘッジ | 為替ヘッジあり（フルヘッジ） |

属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

(注1) 商品分類の定義

- ・「追加型投信」...一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行なわれ従来の信託財産とともに運用されるファンド

- ・「海外」...目論見書または投資信託約款（以下「目論見書等」といいます。）において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるもの
- ・「株式」...目論見書等において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるもの

（注2）属性区分の定義

- ・「その他資産」...組入れている資産
- ・「株式 一般」...大型株、中小型株属性にあてはまらないすべてのもの
- ・「年12回（毎月）」...目論見書等において、年12回（毎月）決算する旨の記載があるもの
- ・「アジア」...目論見書等において、組入資産による投資収益が日本を除くアジア地域の資産を源泉とする旨の記載があるもの
- ・「ファンド・オブ・ファンズ」...「投資信託等の運用に関する規則」第2条に規定するファンド・オブ・ファンズ
- ・「為替ヘッジなし」...目論見書等において、為替のヘッジを行なわない旨の記載があるものまたは為替のヘッジを行なう旨の記載がないもの
- ・「為替ヘッジあり」...目論見書等において、為替のフルヘッジまたは一部の資産に為替のヘッジを行なう旨の記載があるもの

商品分類表

- 〈香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)ブラジルリアルコース〉
 〈香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)豪ドルコース〉
 〈香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)南アフリカランドコース〉
 〈香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)資源国通貨コース〉
 〈香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)香港ドルコース〉
 〈香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)日本円コース〉

| 単位型投信・追加型投信 | 投資対象地域 | 投資対象資産（収益の源泉） |
|-------------|--------|---------------|
| 単位型投信 | 国内 | 株式 |
| 追加型投信 | 海外 | 債券 |
| | 内外 | 不動産投信 |
| | | その他資産 () |
| | | 資産複合 |

(注) 当ファンドが該当する商品分類を網掛け表示しています。

属性区分表

- 〈香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)ブラジルリアルコース〉
 〈香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)豪ドルコース〉
 〈香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)南アフリカランドコース〉
 〈香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)資源国通貨コース〉
 〈香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)香港ドルコース〉

| 投資対象資産 | 決算頻度 | 投資対象地域 | 投資形態 | 為替ヘッジ |
|------------------------------|--------------|-----------------|------------------|-----------|
| 株式 | | | | |
| 一般 | 年1回 | グローバル (含む日本) | | |
| 大型株 | | | | |
| 中小型株 | 年2回 | 日本 | | |
| 債券 | | | | |
| 一般 | 年4回 | 北米 | ファミリー ファンド | あり () |
| 公債 | | 欧州 | | |
| 社債 | 年6回 (隔月) | アジア | | |
| その他債券 | | オセアニア | | |
| クレジット属性 () | | | | |
| 不動産投信 | 年12回 (毎月) | 中南米 | | |
| その他資産 (投資信託証券) (株式 一般) | 日々 | アフリカ | ファンド・オブ・ ファンズ | なし |
| 資産複合 () | その他 () | 中近東 (中東) | | |
| 資産配分固定型 | | エマージング | | |
| 資産配分変更型 | | | | |

(注) 当ファンドが該当する属性区分を網掛け表示しています。

属性区分表〈香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)日本円コース〉

| 投資対象資産 | 決算頻度 | 投資対象地域 | 投資形態 | 為替ヘッジ |
|---|--------------|-----------------|------------------|---------------|
| 株式 一般 大型株 中小型株 | 年1回 | グローバル (含む日本) | | |
| 債券 一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性 () | 年2回 | 日本 | | |
| 不動産投信 | 年4回 | 北米 | ファミリー ファンド | あり (フルヘッジ) |
| その他資産 (投資信託証券) (株式 一般) | 年6回 (隔月) | 欧州 | | |
| 資産複合 () | 年12回 (毎月) | アジア | | |
| 資産配分固定型 資産配分変更型 | 年12回 (毎月) | オセアニア | | |
| | 日々 | 中南米 | ファンド・オブ・ ファンズ | なし |
| | その他 () | アフリカ | | |
| | | 中近東 (中東) | | |
| | | エマージング | | |

(注) 当ファンドが該当する属性区分を網掛け表示しています。

商品分類・属性区分の定義について、くわしくは、社団法人投資信託協会のホームページ（アドレス <http://www.toushin.or.jp/>）をご参照下さい。

< 信託金の限度額 >

- ・委託会社は、受託会社と合意のうえ、各ファンドについて3,000億円を限度として信託金を追加することができます。
- ・委託会社は、受託会社と合意のうえ、限度額を変更することができます。

< ファンドの特色 >

1. 香港証券取引所上場の株式に投資します。

- ◆株式への投資にあたっては、香港ハンセン指数の値動きを概ね捉えることをめざします。
- ・香港ハンセン指数は、香港市場の代表的な株価指数です。

2. 為替ヘッジ取引を行ないます。

※ただし、「香港ドルコース」では為替ヘッジ取引を行ないません。

- ◆通貨が異なる6つのコースがあります。



ブラジルリアル
コース
(ヘッジ対象通貨：ブラジル・リアル)



豪ドルコース
(ヘッジ対象通貨：豪ドル)



南アフリカランド
コース
(ヘッジ対象通貨：南アフリカ・ランド)



資源国通貨
コース
(ヘッジ対象通貨：資源国通貨)



香港ドルコース
(為替ヘッジ取引なし)



日本円コース
(ヘッジ対象通貨：日本円)

- ◆為替ヘッジ取引を行ないますので、ヘッジ対象通貨の為替変動による為替差益または差損が発生します。

※為替ヘッジ取引とは、原資産の通貨（香港ドル）を別の通貨に変換する取引をいいます。

- ・「香港ドルコース」では、香港ドルの為替変動による為替差益または差損が発生します。
- ・「日本円コース」では、「香港ドル売り/日本円買い」の為替ヘッジ取引を行なうことにより、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

- ◆為替ヘッジ取引を行ないますので、為替ヘッジプレミアムまたは為替ヘッジコストが発生します。

- ◆6つのコースの間でスイッチング（乗換え）を行なうことができます。

(注) 販売会社によっては取扱いコースが異なる場合があります。また、販売会社によっては、スイッチング（乗換え）のお取扱いがない場合があります。
くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

3. 毎月20日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

1 香港証券取引所上場の株式に投資します。

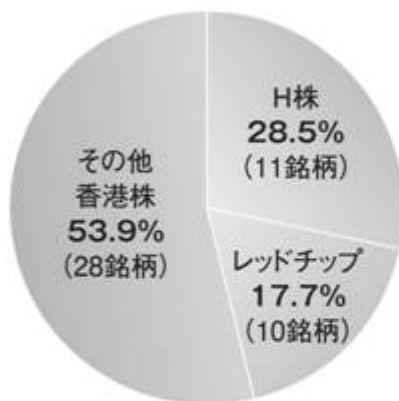
◆株式への投資にあたっては、香港ハンセン指数の値動きを概ね捉えることをめざします。

- 主として、香港ハンセン指数を構成する株式に投資し、指数の値動きを概ね捉えることをめざして運用を行ないます。
※資金の流出入や売買コスト・タイミング等により、指数の値動きから大きく乖離する場合があります。
- 効率的な運用を行なうため、株価指数先物取引等を活用する場合があります。
- 株式（株価指数先物取引等を含みます。）の組入比率は通常の状態では高位に維持することを基本とします。

香港ハンセン指数について（平成24年6月末現在）

- 香港ハンセン指数は、香港市場の代表的な株価指数です。
- 香港証券取引所の主要49銘柄を浮動株に基づく時価総額加重平均で算出し、香港市場の時価総額の約6割をカバーしています。

〈株式の種類別構成比率〉



（注1）時価総額ベース。

（注2）比率の合計は四捨五入の関係で100%とならない場合があります。

（出所）ハンセン・インデックス・カンパニー・リミテッド

香港証券取引所上場の株式の種類

| 株式の種類 | 取引通貨 | 特 色 |
|---------|------|--|
| H株 | 香港ドル | 中国本土で設立され、香港に上場している企業（主に国有企業） |
| レッドチップ | | 中国本土以外（香港等）で設立され、中国本土の中央あるいは地方政府が経営に参画している企業 |
| その他の香港株 | | H株、レッドチップ以外の企業 |

2 為替ヘッジ取引を行いません。

※ただし、「香港ドルコース」では為替ヘッジ取引を行いません。

◆為替ヘッジ取引を行いませんので、ヘッジ対象通貨の為替変動による為替差益または差損が発生します。

※為替ヘッジ取引とは、原資産の通貨（香港ドル）を別の通貨に変換する取引をいいます。

- ・「香港ドルコース」では、香港ドルの為替変動による為替差益または差損が発生します。
- ・「日本円コース」では、「香港ドル売り/日本円買い」の為替ヘッジ取引を行なうことにより、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

◆為替ヘッジ取引を行いませんので、為替ヘッジプレミアムまたは為替ヘッジコストが発生します。

各通貨コースの為替ヘッジ取引と為替差益または差損について

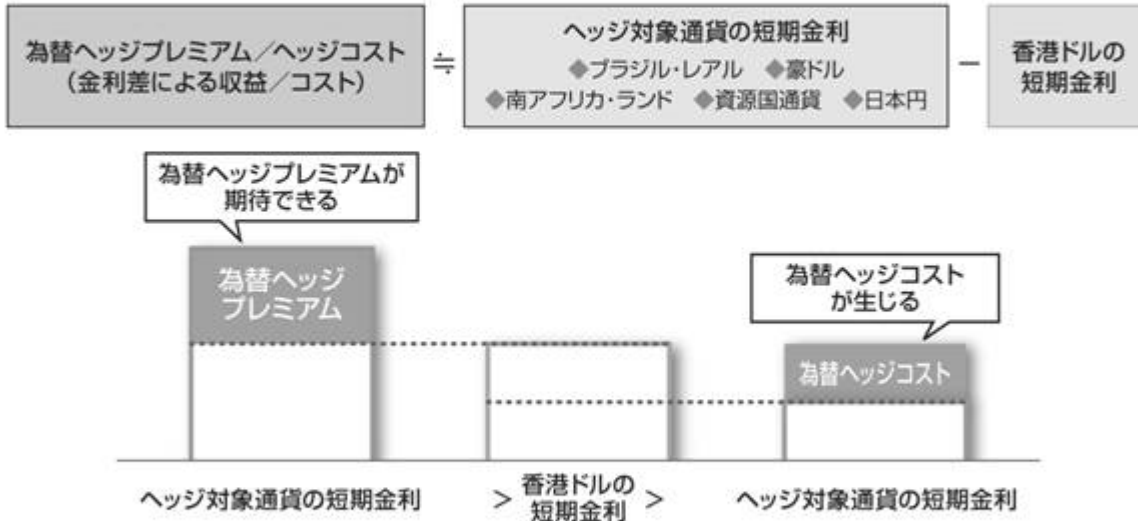
| コース名 (ヘッジ対象通貨) | 為替ヘッジ取引 | 為替差益または差損 |
|--|---|---------------------------------|
|  ブラジルリアルコース (ブラジル・リアル) | 香港ドル建資産について 香港ドル売り/ブラジル・リアル買い | ブラジル・リアル/円の為替変動による為替差益または差損が発生 |
|  豪ドルコース (豪ドル) | 香港ドル建資産について 香港ドル売り/豪ドル買い | 豪ドル/円の為替変動による為替差益または差損が発生 |
|  南アフリカランドコース (南アフリカ・ランド) | 香港ドル建資産について 香港ドル売り/南アフリカ・ランド買い | 南アフリカ・ランド/円の為替変動による為替差益または差損が発生 |
|  資源国通貨コース (資源国通貨) | 香港ドル建資産について 香港ドル売り/資源国通貨買い ^(注1) | 資源国通貨/円の為替変動による為替差益または差損が発生 |
|  香港ドルコース (なし) | なし | 香港ドル/円の為替変動による為替差益または差損が発生 |
|  日本円コース (日本円) | 香港ドル建資産について 香港ドル売り/日本円買い | なし ^(注2) |

(注1)「資源国通貨コース」では、ブラジル・リアル、豪ドル、南アフリカ・ランドに対して3分の1程度ずつ為替ヘッジ取引を行いません。

(注2)「日本円コース」では、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

為替ヘッジプレミアム／ヘッジコストについて

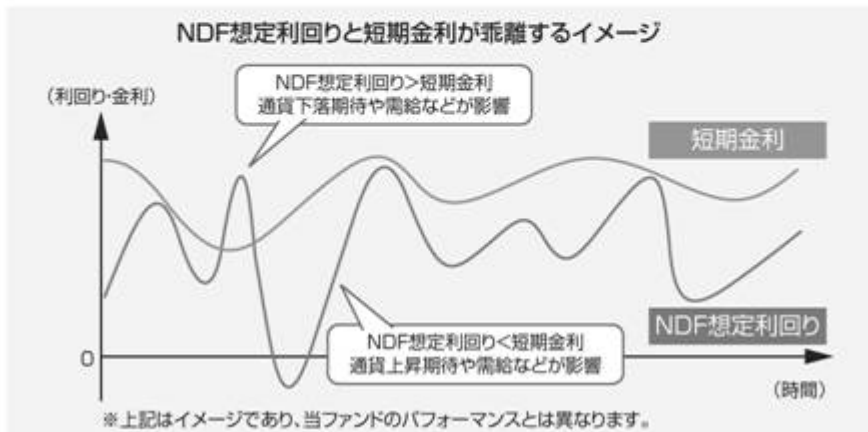
- ヘッジ対象通貨の短期金利が、香港ドルの短期金利よりも高い場合、「為替ヘッジプレミアム（金利差による収益）」が期待できます。
- ヘッジ対象通貨の短期金利が、香港ドルの短期金利よりも低い場合、「為替ヘッジコスト（金利差によるコスト）」が生じます。



※上記はイメージであり、実際の為替ヘッジプレミアム／ヘッジコストとは異なります。
 ※上記は投資成果を示唆、保証するものではありません。
 ※ヘッジ対象通貨がブラジル・リアルの場合、為替ヘッジ取引を行なう際にNDF（ノン・デリバラブル・フォワード）取引を利用することがあります。NDF取引を用いて為替ヘッジ取引を行なう際、為替ヘッジプレミアム／ヘッジコストは、需給や規制等の影響により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

NDF取引とは

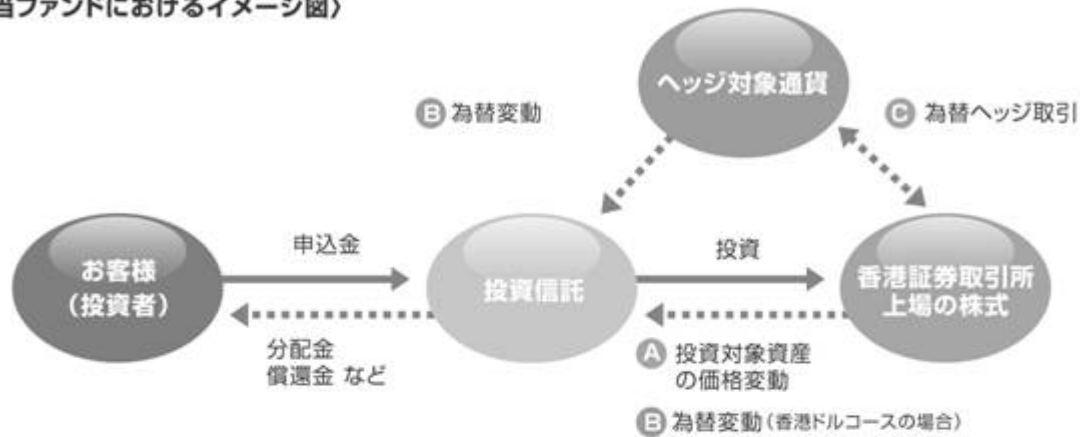
- ヘッジ対象通貨を用いた受け渡しは行なわず、主に米ドルによる差金決済を相対で行なう取引です。
- NDF取引価格から算出される“NDF想定利回り”は、規制により裁定が働きづらいため、需給や市場参加者の期待などの要因により、理論上期待される短期金利の水準から大きく乖離する場合があります。
- 市場参加者の通貨上昇（下落）期待や需給などにより、NDF想定利回りは低くなる（高くなる）可能性があります。NDF想定利回りの変動は、為替ヘッジプレミアムの減少（増加）要因であり、場合によっては為替ヘッジコストとなるケースもあります。



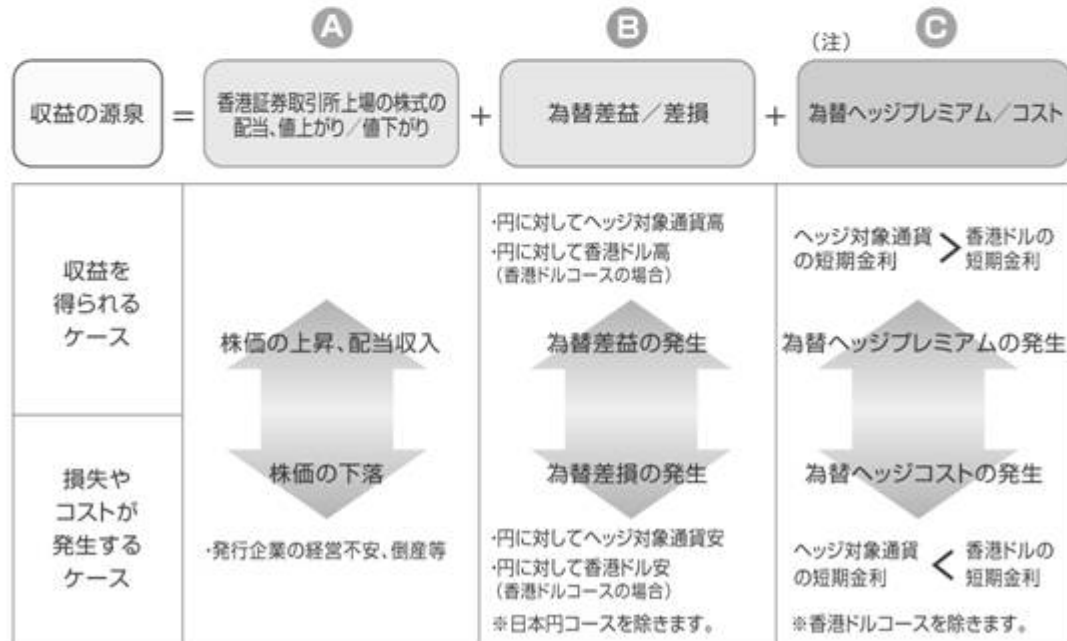
通貨選択型ファンドの収益のイメージ

- 通貨選択型の投資信託は、株式や債券などといった投資対象資産に加えて、為替ヘッジ取引の対象となる円以外の通貨も選択することができるよう設計された投資信託です。

〈当ファンドにおけるイメージ図〉



- 当ファンドの収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。

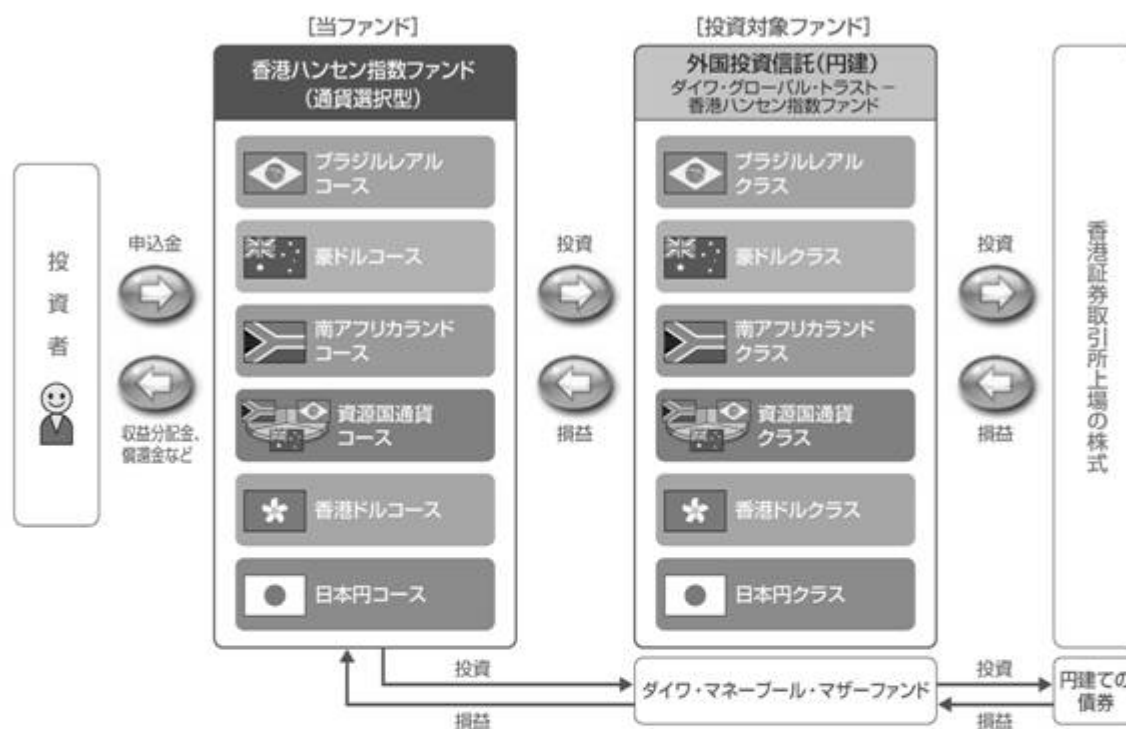


(注)ヘッジ対象通貨がブラジルレアルの場合、為替ヘッジ取引を行なう際にNDF取引を利用する場合があります。NDF取引を用いて為替ヘッジ取引を行なう場合、為替ヘッジプレミアム/ヘッジコストは、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※上記はイメージであり、実際の投資成果を示唆、保証するものではありません。

ファンドの仕組み

- 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
- ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドが運用する外国投資信託の受益証券を通じて香港証券取引所上場の株式に投資します。
- 「香港ドルコース」を除き、香港ドル建資産について為替ヘッジ取引を行いません。



- ◆6つのコースの間でスイッチング（乗換え）を行なうことができます。
- （注）販売会社によっては取扱いコースが異なる場合があります。また、販売会社によっては、スイッチング（乗換え）のお取扱いがない場合があります。
- くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

※投資対象ファンドについて、くわしくは、「投資対象ファンドの概要」をご参照下さい。

- 各ファンドは、通常の状態、投資対象とする外国投資信託への投資割合を高位に維持することを基本とします。

- 大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、ファンドの特色1. および2.の運用が行なわれないことがあります。

3 毎月20日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、 収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

〈分配方針〉

- ①分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。
- ②原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

収益分配のイメージ



- ・上記はイメージ図であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。
- ・分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
- ・ファンドの基準価額は変動します。投資元本、利回りが保証されているものではありません。

ハンセン指数は、ハンセン・データ・サービス・リミテッドからライセンスを得たハンセン・インデックス・カンパニー・リミテッドにより算出および公表されています。ハンセン指数という商標および名称は、ハンセン・データ・サービス・リミテッドが独占的に所有しています。ハンセン・インデックス・カンパニー・リミテッドおよびハンセン・データ・サービス・リミテッドは、大和証券投資信託委託株式会社が「香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）」およびその投資対象ファンドである「ケイマン籍の外国投資信託ダイワ・グローバル・トラストー香港ハンセン指数ファンド」（以下、「本商品」）に関連してハンセン指数を使用することおよび参照することに同意していますが、ハンセン・インデックス・カンパニー・リミテッドおよびハンセン・データ・サービス・リミテッドは、本商品のプロカーもしくは保有者またはその他の者に対し、(i)ハンセン指数およびその算定またはそれに関連する情報の正確性または完全性、または(ii)ハンセン指数、ハンセン指数構成銘柄またはハンセン指数に含まれるデータの目的適合性もしくは適当性、または(iii)ハンセン指数、ハンセン指数構成銘柄またはハンセン指数に含まれるデータをいかなる目的のためであれ、ある者が使用したことにより結果を得ることにつき、保証、表明または確約するものではなく、ハンセン指数に関していかなる種類の保証、表明または確約を明示的にも黙示的にも行なうものではありません。

ハンセン指数の算定および編集の手順および基準ならびに関係する一または複数の計算式、構成銘柄および構成要素は、いつでもハンセン・インデックス・カンパニー・リミテッドにより通知なしに変更または修正されることがあります。適用法令により許容される範囲で、(i)本商品に関連して大和証券投資信託委託株式会社がハンセン指数を使用したことおよび/もしくは参照したことに関して、または(ii)ハンセン・インデックス・カンパニー・リミテッドによるハンセン指数の算定における不正確性、欠落、過誤もしくは誤謬に対し、または(iii)第三者から提供されるハンセン指数の算定に関連して使用される情報の不正確性、欠落、過誤、誤謬もしくは不完全性に対し、または(iv)上記のいずれかの結果、本商品のプロカーもしくは保有者または本商品を取扱うその他の者が直接または間接的に被る可能性のある経済的またはその他の損失に対し、ハンセン・インデックス・カンパニー・リミテッドまたはハンセン・データ・サービス・リミテッドは何らの責任または債務を負うものではなく、また、プロカー、保有者または本商品を取扱うその他の者は、いかなる方法でも本商品に関連してハンセン・インデックス・カンパニー・リミテッドおよび/またはハンセン・データ・サービス・リミテッドに対して請求、訴訟または法的手続を行なうことはできません。したがって、プロカー、保有者または本商品を取扱うその他の者は、かかる免責事項を十分に認識した上で本商品を取扱うものとし、ハンセン・インデックス・カンパニー・リミテッドおよびハンセン・データ・サービス・リミテッドに依頼することはできません。誤解がないように付言すると、かかる免責事項により、プロカー、保有者またはその他の者とハンセン・インデックス・カンパニー・リミテッドおよび/またはハンセン・データ・サービス・リミテッドとの間に契約上のまたは準契約上の関係が生じるものではなく、また、かかる関係が生じたとしても解してはなりません。

【収益分配金に関する留意事項】

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

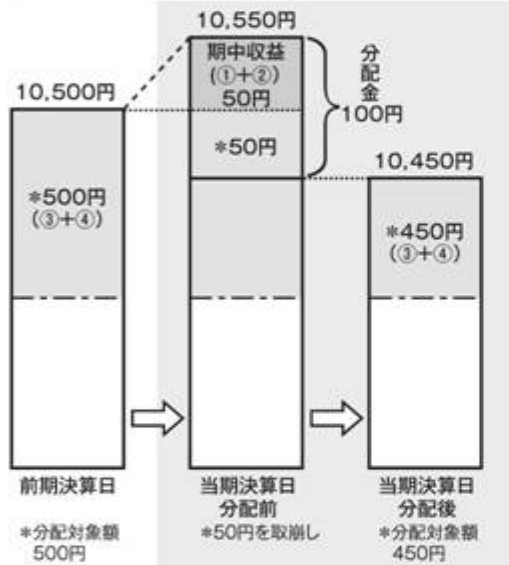
投資信託で分配金が
支払われるイメージ



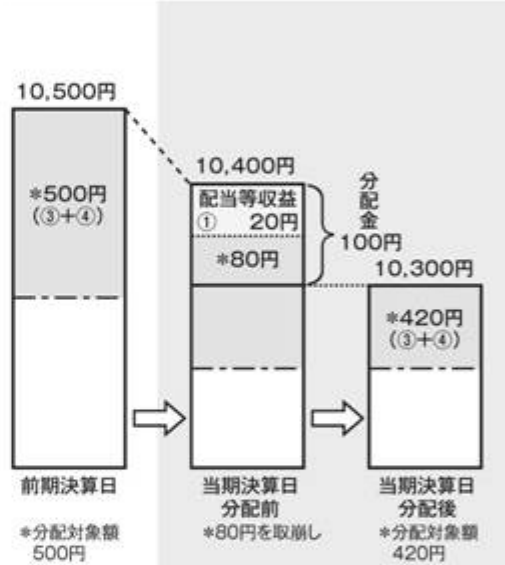
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

（計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合）

（前期決算日から基準価額が上昇した場合）



（前期決算日から基準価額が下落した場合）

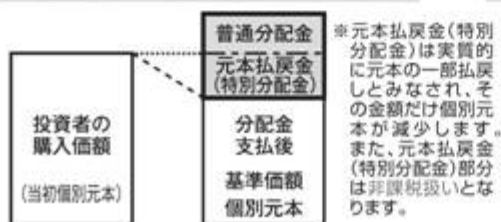


（注）分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

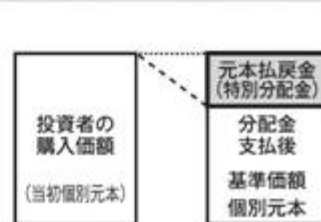
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

（分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合）



（分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合）



普通分配金 … 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金 … 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

（注）普通分配金に対する課税については、「4 手数料等及び税金 (5) 課税上の取扱い」をご参照下さい。

< 投資対象ファンドの概要 >

ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・グローバル・トラスト - 香港ハンセン指数ファンド（ブラジルリアルクラス）」、「同（豪ドルクラス）」、「同（南アフリカランドクラス）」、「同（資源国通貨クラス）」、「同（香港ドルクラス）」、「同（日本円クラス）」について

| | |
|---------|-------------------|
| 形態/表示通貨 | ケイマン籍の外国投資信託 / 円建 |
|---------|-------------------|

| | |
|---------|--|
| 運用の基本方針 | （香港ドルクラス以外）主として、香港証券取引所上場の株式（上場予定を含みません。以下同じ。）に投資し、香港ハンセン指数（以下「インデックス」といいます。）の値動きを概ね捉えるとともに、香港ドル建資産について為替ヘッジ取引を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 （香港ドルクラス）主として、香港証券取引所上場の株式に投資し、インデックスの値動きを概ね捉えることにより、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 |
| 主要投資対象 | 香港証券取引所上場の株式 |
| 主な運用方針 | 1.（香港ドルクラス以外）主として、香港証券取引所上場の株式に投資し、インデックスの値動きを概ね捉えるとともに、香港ドル建資産について為替ヘッジ取引を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 （香港ドルクラス）主として、香港証券取引所上場の株式に投資し、インデックスの値動きを概ね捉えることにより、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 2. 株式への投資にあたっては、以下の点に留意します。 （a）主として、インデックスを構成する株式に投資し、インデックスの値動きを概ね捉えることをめざして運用を行ないます。 資金の流入や売買コスト・タイミング等により、インデックスの値動きから大きく乖離する場合があります。 （b）効率的な運用を行なうため、株価指数先物取引等を活用する場合があります。 （c）株式（株価指数先物取引等を含みます。）の組入比率は通常の状態に維持することを基本とします。 3.（香港ドルクラス以外）原則として、為替ヘッジ取引を活用して、各通貨クラスのヘッジ対象通貨で実質的な運用を行ないます。 ブラジルリアルクラス：香港ドル売り／ブラジル・リアル買い 豪ドルクラス：香港ドル売り／豪ドル買い 南アフリカランドクラス：香港ドル売り／南アフリカ・ランド買い 資源国通貨クラス：香港ドル売り／資源国通貨買い 次の取引を3分の1程度ずつ行ないます。 ・香港ドル売り／ブラジル・リアル買い ・香港ドル売り／豪ドル買い ・香港ドル売り／南アフリカ・ランド買い 日本円クラス：香港ドル売り／日本円買い （香港ドルクラス）為替変動リスクを回避するための為替ヘッジ取引は原則として行ないません。 |
| 設定日 | 2011年12月28日 |
| 信託期間 | 無期限 |
| 決算日 | 5月の最終営業日 |
| 収益分配 | 原則として、毎月分配を行ないます。 |
| 管理報酬等 | （香港ドルクラス以外）純資産総額に対して年率0.40%程度 （香港ドルクラス）純資産総額に対して年率0.39%程度 ただしその他、監査費用、弁護士費用、有価証券売買委託手数料等、ファンドの運営に必要な各種経費等がかかります。 |
| 申込手数料 | かかりません。 |
| 償還条項 | インデックスが改廃された場合には償還することができます。 |
| 投資顧問会社 | ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッド |

「ダイワ・マネープール・マザーファンド」の受益証券について

| | |
|-----------|---------------------------|
| 形態 / 表示通貨 | 国内籍の証券投資信託 / 円建 |
| 運用の基本方針 | 安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 |
| 主要投資対象 | 円建ての債券 |

| | |
|------|---|
| 投資態度 | 円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。 当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。 |
| 設定日 | 平成23年 10月27日 |
| 信託期間 | 無期限 |
| 決算日 | 毎年12月9日（休業日の場合翌営業日） |
| 信託報酬 | かかりません。 |
| 委託会社 | 大和証券投資信託委託株式会社 |
| 受託会社 | 三井住友信託銀行株式会社 |

(2) 【ファンドの沿革】

平成23年12月28日

信託契約締結、当初設定、運用開始

(3) 【ファンドの仕組み】

| | | |
|-------|--|--|
| 受益者 | お申込者 | |
| | 収益分配金（注）、償還金など お申込金（ 3） | |
| お取扱窓口 | 販売会社 | 受益権の募集・販売の取扱い等に関する委託会社との契約（ 1）に基づき、次の業務を行ないます。 受益権の募集の取扱い 一部解約請求に関する事務 収益分配金、償還金、一部解約金の支払いに関する事務 など |
| 1 | 収益分配金、償還金など お申込金（ 3） | |
| 委託会社 | 大和証券投資信託委託株式会社 | 当ファンドにかかる証券投資信託契約（以下「信託契約」といいます。）（ 2）の委託者であり、次の業務を行ないます。 受益権の募集・発行 信託財産の運用指図 信託財産の計算 運用報告書の作成 など |
| 運用指図 | 2 損益 信託金（ 3） | |
| 受託会社 | 三井住友信託銀行株式会社 再信託受託会社：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 | 信託契約（ 2）の受託者であり、次の業務を行ないません。なお、信託事務の一部につき日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社に委託することができます。また、外国における資産の保管は、その業務を行なうに十分な能力を有すると認められる外国の金融機関が行なう場合があります。 委託会社の指図に基づく信託財産の管理・処分 信託財産の計算 など |
| | 3 損益 投資 | |
| 投資対象 | 投資対象ファンドの受益証券 など | |

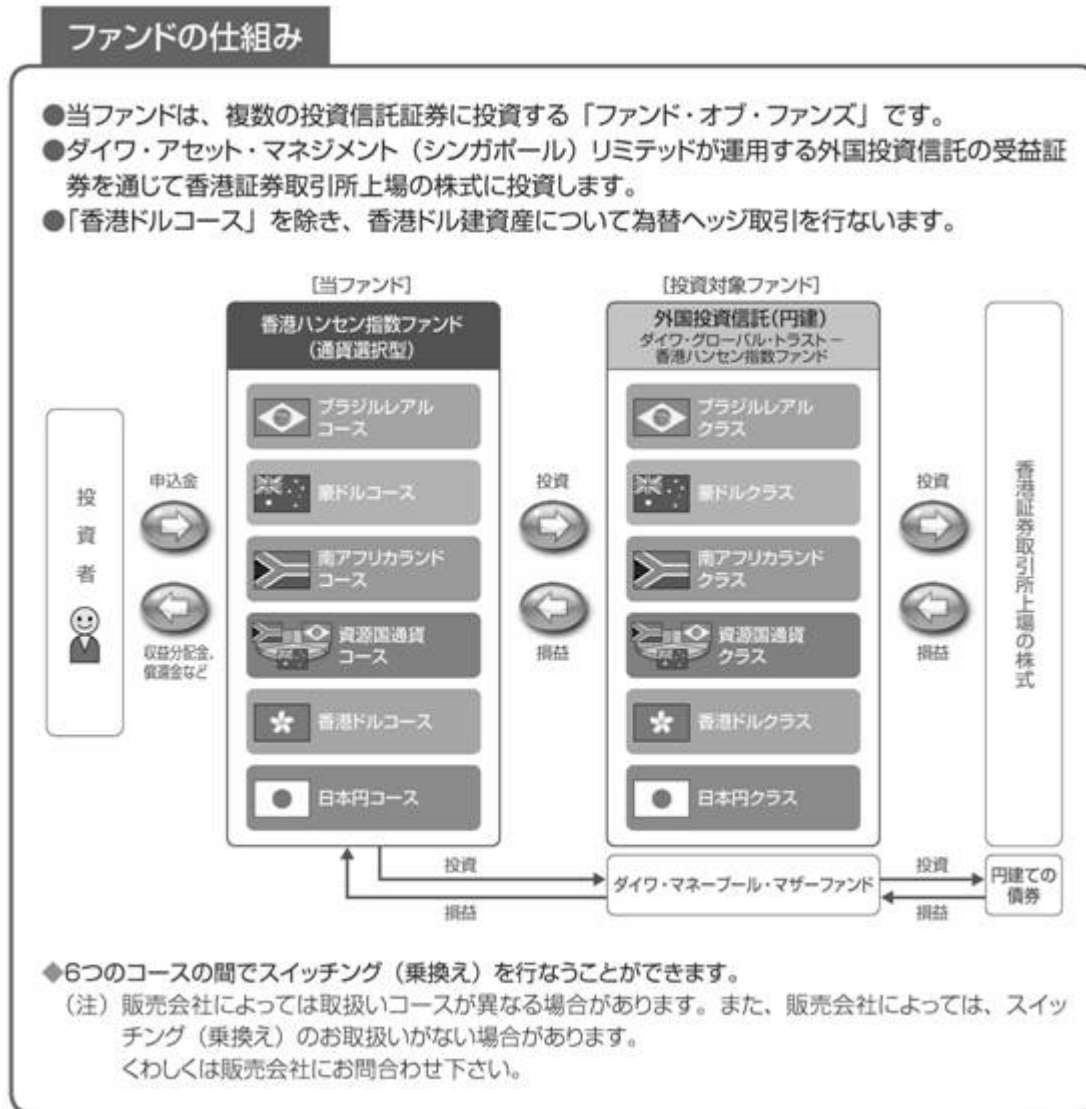
(注) 「分配金再投資コース」の場合、収益分配金は自動的に再投資されます。

1：受益権の募集の取扱い、一部解約請求に関する事務、収益分配金、償還金、一部解約金の支払いに関する事務の内容等が規定されています。

2：「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づいて、あらかじめ監督官庁に届け出られた信託約款の内容に基づき締結されます。証券投資信託の運営に関する事項（運用方針、委託会社および受託会社の業務、受益者の権利、信託報酬、信託期間等）が規定されています。

3：販売会社は、各取得申込受付日における取得申込金額の総額に相当する金額を、追加信託が行なわれる日に、委託会社の指定する口座を經由して、受託会社の指定するファンド口座に払込みます。

委託会社および受託会社は、それぞれの業務に対する報酬を信託財産から収受します。また、販売会社には、委託会社から業務に対する代行手数料が支払われます。



< 委託会社の概況（平成24年7月末日現在） >

- ・資本金の額 151億7,427万2,500円
- ・沿革

昭和34年12月12日 設立登記
 昭和35年 2月17日 「証券投資信託法」に基づく証券投資信託の委託会社の免許取得
 昭和35年 4月 1日 営業開始
 昭和60年11月 8日 投資助言・情報提供業務に関する兼業承認を受ける。
 平成 7年 5月31日 「有価証券に係る投資顧問業の規制等に関する法律」に基づき投資顧問業の登録を受ける。

平成 7年 9月14日 「有価証券に係る投資顧問業の規制等に関する法律」に基づく投資一任契約にかかる業務の認可を受ける。

平成19年 9月30日 「金融商品取引法」の施行に伴い、同法第29条の登録を受けたものとみなされる。
(金融商品取引業者登録番号：関東財務局長(金商)第352号)

・大株主の状況

| 名称 | 住所 | 所有 株式数 | 比率 |
|----------------|-------------------|----------------|-------------|
| 株式会社大和証券グループ本社 | 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 | 株 2,608,525 | % 100.00 |

2 【投資方針】

(1) 【投資方針】

< ブラジルリアルコース >

主要投資対象

次の有価証券を主要投資対象とします。

1. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・グローバル・トラスト - 香港ハンセン指数ファンド(ブラジルリアルクラス)」(以下「香港ハンセン指数ファンド(ブラジルリアルクラス)」といいます。)の受益証券(円建)
2. ダイワ・マネープール・マザーファンドの受益証券

投資態度

- イ. 主として、香港ハンセン指数ファンド(ブラジルリアルクラス)の受益証券を通じて、香港証券取引所上場の株式(上場予定を含みます。)に投資し、香港ハンセン指数の値動きを概ね捉えるとともに、香港ドル建資産について為替ヘッジ取引を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
- ロ. 当ファンドは、香港ハンセン指数ファンド(ブラジルリアルクラス)とダイワ・マネープール・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。 通常の状態では、香港ハンセン指数ファンド(ブラジルリアルクラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。
- ハ. 香港ハンセン指数ファンド(ブラジルリアルクラス)では、為替ヘッジ取引を活用して、ブラジル・リアルで実質的な運用を行ないます。 また、効率的な運用を行なうため、株価指数先物取引等を活用する場合があります。
- ニ. 当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

< 豪ドルコース >

主要投資対象

次の有価証券を主要投資対象とします。

1. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・グローバル・トラスト - 香港ハンセン指数ファンド(豪ドルクラス)」(以下「香港ハンセン指数ファンド(豪ドルクラス)」といいます。)の受益証券

（円建）

2. ダイワ・マネープール・マザーファンドの受益証券

投資態度

イ．主として、香港ハンセン指数ファンド（豪ドルクラス）の受益証券を通じて、香港証券取引所上場の株式（上場予定を含みます。）に投資し、香港ハンセン指数の値動きを概ね捉えるとともに、香港ドル建資産について為替ヘッジ取引を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

ロ．当ファンドは、香港ハンセン指数ファンド（豪ドルクラス）とダイワ・マネープール・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、香港ハンセン指数ファンド（豪ドルクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

ハ．香港ハンセン指数ファンド（豪ドルクラス）では、為替ヘッジ取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行ないます。また、効率的な運用を行なうため、株価指数先物取引等を活用する場合があります。

ニ．当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

<南アフリカランドコース>

主要投資対象

次の有価証券を主要投資対象とします。

1. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・グローバル・トラスト - 香港ハンセン指数ファンド（南アフリカランドクラス）」（以下「香港ハンセン指数ファンド（南アフリカランドクラス）」といいます。）の受益証券（円建）

2. ダイワ・マネープール・マザーファンドの受益証券

投資態度

イ．主として、香港ハンセン指数ファンド（南アフリカランドクラス）の受益証券を通じて、香港証券取引所上場の株式（上場予定を含みます。）に投資し、香港ハンセン指数の値動きを概ね捉えるとともに、香港ドル建資産について為替ヘッジ取引を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

ロ．当ファンドは、香港ハンセン指数ファンド（南アフリカランドクラス）とダイワ・マネープール・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、香港ハンセン指数ファンド（南アフリカランドクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

ハ．香港ハンセン指数ファンド（南アフリカランドクラス）では、為替ヘッジ取引を活用して、南アフリカ・ランドで実質的な運用を行ないます。また、効率的な運用を行なうため、株価指数先物取引等を活用する場合があります。

ニ．当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

<資源国通貨コース>

主要投資対象

次の有価証券を主要投資対象とします。

1. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・グローバル・トラスト - 香港ハンセン指数ファンド（資源

国通貨クラス)」(以下「香港ハンセン指数ファンド(資源国通貨クラス)」といいます。)の受益証券(円建)

2. ダイワ・マネープール・マザーファンドの受益証券

投資態度

- イ. 主として、香港ハンセン指数ファンド(資源国通貨クラス)の受益証券を通じて、香港証券取引所上場の株式(上場予定を含みます。)に投資し、香港ハンセン指数の値動きを概ね捉えるとともに、香港ドル建資産について為替ヘッジ取引を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
- ロ. 当ファンドは、香港ハンセン指数ファンド(資源国通貨クラス)とダイワ・マネープール・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、香港ハンセン指数ファンド(資源国通貨クラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。
- ハ. 香港ハンセン指数ファンド(資源国通貨クラス)では、為替ヘッジ取引を活用して、資源国通貨(ブラジル・リアル、豪ドル、南アフリカ・ランドに概ね均等)で実質的な運用を行ないます。また、効率的な運用を行なうため、株価指数先物取引等を活用する場合があります。
- ニ. 当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

<香港ドルコース>

主要投資対象

次の有価証券を主要投資対象とします。

1. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・グローバル・トラスト - 香港ハンセン指数ファンド(香港ドルクラス)」(以下「香港ハンセン指数ファンド(香港ドルクラス)」といいます。)の受益証券(円建)
2. ダイワ・マネープール・マザーファンドの受益証券

投資態度

- イ. 主として、香港ハンセン指数ファンド(香港ドルクラス)の受益証券を通じて、香港証券取引所上場の株式(上場予定を含みます。)に投資し、香港ハンセン指数の値動きを概ね捉えることにより、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
- ロ. 当ファンドは、香港ハンセン指数ファンド(香港ドルクラス)とダイワ・マネープール・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、香港ハンセン指数ファンド(香港ドルクラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。
- ハ. 香港ハンセン指数ファンド(香港ドルクラス)では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジ取引は原則として行ないません。また、効率的な運用を行なうため、株価指数先物取引等を活用する場合があります。
- ニ. 当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

<日本円コース>

主要投資対象

次の有価証券を主要投資対象とします。

1. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・グローバル・トラスト - 香港ハンセン指数ファンド(日本

円クラス)」(以下「香港ハンセン指数ファンド(日本円クラス)」)といひます。)の受益証券
(円建)

2. ダイワ・マネープール・マザーファンドの受益証券

投資態度

イ. 主として、香港ハンセン指数ファンド(日本円クラス)の受益証券を通じて、香港証券取引所上場の株式(上場予定を含みます。)に投資し、香港ハンセン指数の値動きを概ね捉えるとともに、香港ドル建資産について為替ヘッジ取引を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

ロ. 当ファンドは、香港ハンセン指数ファンド(日本円クラス)とダイワ・マネープール・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、香港ハンセン指数ファンド(日本円クラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。

ハ. 香港ハンセン指数ファンド(日本円クラス)では、為替ヘッジ取引を活用して、日本円で実質的な運用を行ないます。また、効率的な運用を行なうため、株価指数先物取引等を活用する場合があります。

ニ. 当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

<投資先ファンドについて>

投資先ファンドの選定の方針は次のとおりです。

1. ブラジルリアルコース

| | |
|------------|--|
| 投資先ファンドの名称 | 香港ハンセン指数ファンド(ブラジルリアルクラス) |
| 選定の方針 | 主として、香港証券取引所上場の株式(上場予定を含みます。)に投資し、香港ハンセン指数の値動きを概ね捉えるとともに、香港ドル建資産について香港ドル売り/ブラジル・リアル買いの為替ヘッジ取引を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行なうファンドである。 |

2. 豪ドルコース

| | |
|------------|---|
| 投資先ファンドの名称 | 香港ハンセン指数ファンド(豪ドルクラス) |
| 選定の方針 | 主として、香港証券取引所上場の株式(上場予定を含みます。)に投資し、香港ハンセン指数の値動きを概ね捉えるとともに、香港ドル建資産について香港ドル売り/豪ドル買いの為替ヘッジ取引を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行なうファンドである。 |

3. 南アフリカランドコース

| | |
|------------|---|
| 投資先ファンドの名称 | 香港ハンセン指数ファンド(南アフリカランドクラス) |
| 選定の方針 | 主として、香港証券取引所上場の株式(上場予定を含みます。)に投資し、香港ハンセン指数の値動きを概ね捉えるとともに、香港ドル建資産について香港ドル売り/南アフリカ・ランド買いの為替ヘッジ取引を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行なうファンドである。 |

4. 資源国通貨コース

| | |
|------------|---|
| 投資先ファンドの名称 | 香港ハンセン指数ファンド(資源国通貨クラス) |
| 選定の方針 | 主として、香港証券取引所上場の株式(上場予定を含みます。)に投資し、香港ハンセン指数の値動きを概ね捉えるとともに、香港ドル建資産について香港ドル売り/資源国通貨買いの為替ヘッジ取引を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行なうファンドである。 |

5. 香港ドルコース

| | |
|------------|--|
| 投資先ファンドの名称 | 香港ハンセン指数ファンド（香港ドルクラス） |
| 選定の方針 | 主として、香港証券取引所上場の株式（上場予定を含みます。）に投資し、香港ハンセン指数の値動きを概ね捉えることにより、信託財産の成長をめざして運用を行なうファンドである。為替変動リスクを回避するための為替ヘッジ取引は原則として行なわない。 |

6. 日本円コース

| | |
|------------|---|
| 投資先ファンドの名称 | 香港ハンセン指数ファンド（日本円クラス） |
| 選定の方針 | 主として、香港証券取引所上場の株式（上場予定を含みます。）に投資し、香港ハンセン指数の値動きを概ね捉えるとともに、香港ドル建資産について香港ドル売り／日本円買いの為替ヘッジ取引を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行なうファンドである。 |

くわしくは「1 ファンドの性格 (1) ファンドの目的及び基本的性格 <ファンドの特色>」をご参照下さい。

(2) 【投資対象】

<ブラジルリアルコース>

当ファンドにおいて投資の対象とする資産（本邦通貨表示のものに限ります。）の種類は、次に掲げるものとします。

1. 次に掲げる特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律施行令第3条に掲げるものをいいます。以下同じ。）

イ. 有価証券

ロ. 約束手形

ハ. 金銭債権のうち、投資信託及び投資法人に関する法律施行規則第22条第1項第5号に掲げるもの

2. 次に掲げる特定資産以外の資産

イ. 為替手形

委託会社は、信託金を、主として、大和証券投資信託委託株式会社を委託者とし三井住友信託銀行株式会社を受託者として締結された次の1. に掲げる親投資信託（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券、次の2. に掲げる外国投資信託（以下「組入外国投資信託」といいます。）の受益証券、ならびに次の3. から5. までに掲げる有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。

1. ダイワ・マネープール・マザーファンドの受益証券

2. ケイマン籍の外国投資信託「香港ハンセン指数ファンド（ブラジルリアルクラス）」の受益証券（円建）

3. コマーシャル・ペーパーおよび短期社債等

4. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前3. の証券の性質を有するもの

5. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）

なお、前1. に掲げる投資信託の受益証券および前2. に掲げる外国投資信託の受益証券を「投資信託証券」といいます。

委託会社は、信託金を、前 に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。

1. 預金
2. 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形

<豪ドルコース>

（ブラジルリアルコースと同規定）

委託会社は、信託金を、主として、大和証券投資信託委託株式会社を委託者とし三井住友信託銀行株式会社を受託者として締結された次の1．に掲げる親投資信託（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券、次の2．に掲げる外国投資信託（以下「組入外国投資信託」といいます。）の受益証券、ならびに次の3．から5．までに掲げる有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。

1. ダイワ・マネープール・マザーファンドの受益証券
2. ケイマン籍の外国投資信託「香港ハンセン指数ファンド（豪ドルクラス）」の受益証券（円建）
3. コマーシャル・ペーパーおよび短期社債等
4. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前3.の証券の性質を有するもの
5. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）

なお、前1.に掲げる投資信託の受益証券および前2.に掲げる外国投資信託の受益証券を「投資信託証券」といいます。

（ブラジルリアルコースと同規定）

<南アフリカランドコース>

（ブラジルリアルコースと同規定）

委託会社は、信託金を、主として、大和証券投資信託委託株式会社を委託者とし三井住友信託銀行株式会社を受託者として締結された次の1．に掲げる親投資信託（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券、次の2．に掲げる外国投資信託（以下「組入外国投資信託」といいます。）の受益証券、ならびに次の3．から5．までに掲げる有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。

1. ダイワ・マネープール・マザーファンドの受益証券
2. ケイマン籍の外国投資信託「香港ハンセン指数ファンド（南アフリカランドクラス）」の受益証券（円建）
3. コマーシャル・ペーパーおよび短期社債等
4. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前3.の証券の性質を有するもの
5. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）

なお、前1.に掲げる投資信託の受益証券および前2.に掲げる外国投資信託の受益証券を「投資信託

証券」といいます。

（ブラジルリアルコースと同規定）

< 資源国通貨コース >

（ブラジルリアルコースと同規定）

委託会社は、信託金を、主として、大和証券投資信託委託株式会社を委託者とし三井住友信託銀行株式会社を受託者として締結された次の1. に掲げる親投資信託（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券、次の2. に掲げる外国投資信託（以下「組入外国投資信託」といいます。）の受益証券、ならびに次の3. から5. までに掲げる有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。

1. ダイワ・マネープール・マザーファンドの受益証券
2. ケイマン籍の外国投資信託「香港ハンセン指数ファンド（資源国通貨クラス）」の受益証券（円建）
3. コマーシャル・ペーパーおよび短期社債等
4. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前3. の証券の性質を有するもの
5. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）

なお、前1. に掲げる投資信託の受益証券および前2. に掲げる外国投資信託の受益証券を「投資信託証券」といいます。

（ブラジルリアルコースと同規定）

< 香港ドルコース >

（ブラジルリアルコースと同規定）

委託会社は、信託金を、主として、大和証券投資信託委託株式会社を委託者とし三井住友信託銀行株式会社を受託者として締結された次の1. に掲げる親投資信託（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券、次の2. に掲げる外国投資信託（以下「組入外国投資信託」といいます。）の受益証券、ならびに次の3. から5. までに掲げる有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。

1. ダイワ・マネープール・マザーファンドの受益証券
2. ケイマン籍の外国投資信託「香港ハンセン指数ファンド（香港ドルクラス）」の受益証券（円建）
3. コマーシャル・ペーパーおよび短期社債等
4. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前3. の証券の性質を有するもの
5. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）

なお、前1. に掲げる投資信託の受益証券および前2. に掲げる外国投資信託の受益証券を「投資信託証券」といいます。

（ブラジルリアルコースと同規定）

< 日本円コース >

（ブラジルリアルコースと同規定）

委託会社は、信託金を、主として、大和証券投資信託委託株式会社を委託者とし三井住友信託銀行株式会社を受託者として締結された次の1. に掲げる親投資信託（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券、次の2. に掲げる外国投資信託（以下「組入外国投資信託」といいます。）の受益証券、ならびに次の3. から5. までに掲げる有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。

1. ダイワ・マネープール・マザーファンドの受益証券
2. ケイマン籍の外国投資信託「香港ハンセン指数ファンド（日本円クラス）」の受益証券（円建）
3. コマーシャル・ペーパーおよび短期社債等
4. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前3. の証券の性質を有するもの
5. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）

なお、前1. に掲げる投資信託の受益証券および前2. に掲げる外国投資信託の受益証券を「投資信託証券」といいます。

（ブラジルリアルコースと同規定）

<投資先ファンドについて>

ファンドの純資産総額の10%を超えて投資する可能性がある投資先ファンドの内容は次のとおりです。

1. ブラジルリアルコース

| | |
|------------|--|
| 投資先ファンドの名称 | 香港ハンセン指数ファンド（ブラジルリアルクラス） |
| 運用の基本方針 | 主として、香港証券取引所上場の株式（上場予定を含みます。）に投資し、香港ハンセン指数の値動きを概ね捉えるとともに、香港ドル建資産について香港ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替ヘッジ取引を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行なうファンドである。 |
| 主要な投資対象 | 香港証券取引所上場の株式（上場予定を含みます。） |
| 委託会社等の名称 | 投資顧問会社：ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッド |

2. 豪ドルコース

| | |
|------------|---|
| 投資先ファンドの名称 | 香港ハンセン指数ファンド（豪ドルクラス） |
| 運用の基本方針 | 主として、香港証券取引所上場の株式（上場予定を含みます。）に投資し、香港ハンセン指数の値動きを概ね捉えるとともに、香港ドル建資産について香港ドル売り／豪ドル買いの為替ヘッジ取引を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行なうファンドである。 |
| 主要な投資対象 | 香港証券取引所上場の株式（上場予定を含みます。） |
| 委託会社等の名称 | 投資顧問会社：ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッド |

3. 南アフリカランドコース

| | |
|------------|---|
| 投資先ファンドの名称 | 香港ハンセン指数ファンド（南アフリカランドクラス） |
| 運用の基本方針 | 主として、香港証券取引所上場の株式（上場予定を含みます。）に投資し、香港ハンセン指数の値動きを概ね捉えるとともに、香港ドル建資産について香港ドル売り／南アフリカ・ランド買いの為替ヘッジ取引を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行なうファンドである。 |
| 主要な投資対象 | 香港証券取引所上場の株式（上場予定を含みます。） |
| 委託会社等の名称 | 投資顧問会社：ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッド |

4. 資源国通貨コース

| | |
|------------|---|
| 投資先ファンドの名称 | 香港ハンセン指数ファンド（資源国通貨クラス） |
| 運用の基本方針 | 主として、香港証券取引所上場の株式（上場予定を含みます。）に投資し、香港ハンセン指数の値動きを概ね捉えるとともに、香港ドル建資産について香港ドル売り／資源国通貨買いの為替ヘッジ取引を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行なうファンドである。 |
| 主要な投資対象 | 香港証券取引所上場の株式（上場予定を含みます。） |
| 委託会社等の名称 | 投資顧問会社：ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッド |

5. 香港ドルコース

| | |
|------------|--|
| 投資先ファンドの名称 | 香港ハンセン指数ファンド（香港ドルクラス） |
| 運用の基本方針 | 主として、香港証券取引所上場の株式（上場予定を含みます。）に投資し、香港ハンセン指数の値動きを概ね捉えることにより、信託財産の成長をめざして運用を行なうファンドである。為替変動リスクを回避するための為替ヘッジ取引は原則として行なわない。 |
| 主要な投資対象 | 香港証券取引所上場の株式（上場予定を含みます。） |
| 委託会社等の名称 | 投資顧問会社：ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッド |

6. 日本円コース

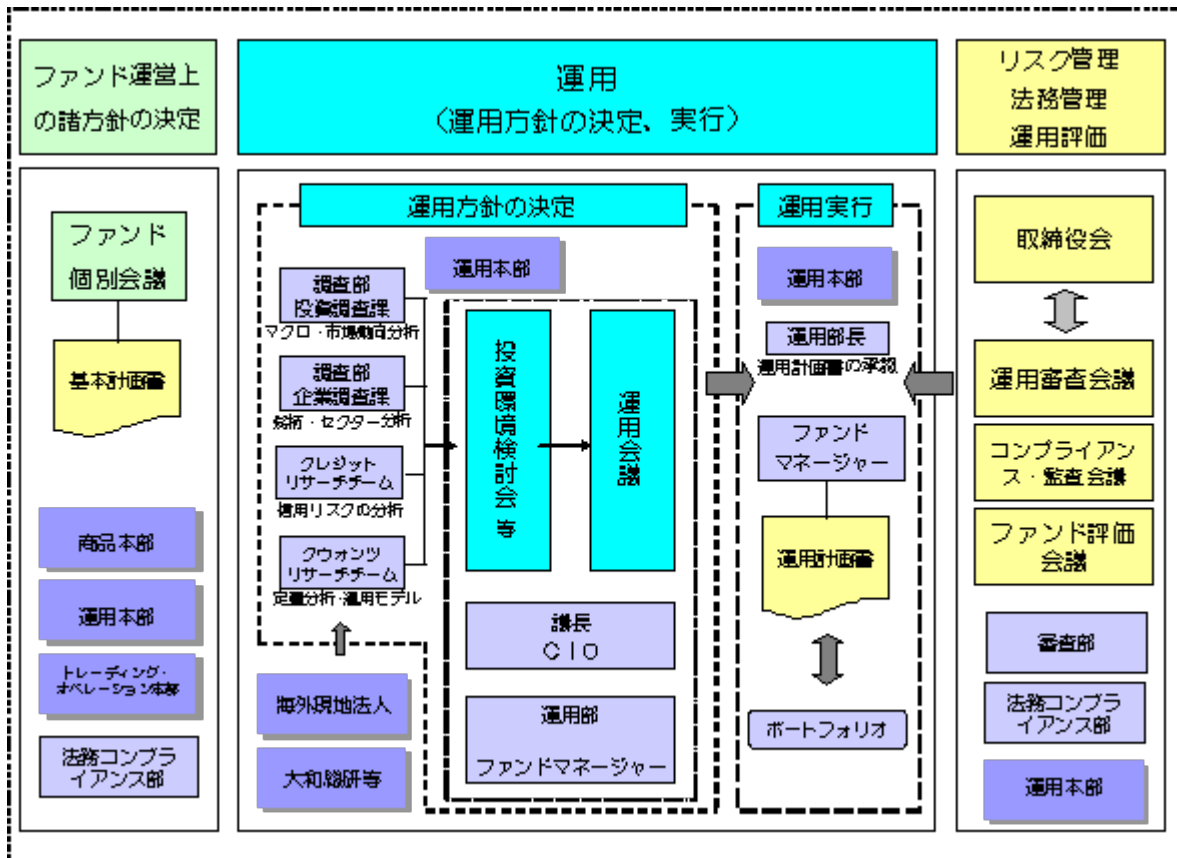
| | |
|------------|---|
| 投資先ファンドの名称 | 香港ハンセン指数ファンド（日本円クラス） |
| 運用の基本方針 | 主として、香港証券取引所上場の株式（上場予定を含みます。）に投資し、香港ハンセン指数の値動きを概ね捉えるとともに、香港ドル建資産について香港ドル売り／日本円買いの為替ヘッジ取引を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行なうファンドである。 |
| 主要な投資対象 | 香港証券取引所上場の株式（上場予定を含みます。） |
| 委託会社等の名称 | 投資顧問会社：ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッド |

くわしくは「1 ファンドの性格 (1) ファンドの目的及び基本的性格 <ファンドの特色>」をご参照下さい。

(3) 【運用体制】

運用体制

ファンドの運用体制は、以下のとおりとなっています。



運用方針の決定にかかる過程

運用方針は次の過程を経て決定しております。

イ．基本計画書の策定

ファンド運営上の諸方針を記載した基本計画書を経営会議の分科会であるファンド個別会議において審議・決定します。

ロ．投資環境の検討

運用最高責任者であるC I O（Chief Investment Officer）が議長となり、原則として月1回投資環境検討会を開催し、投資環境について検討します。

ハ．基本的な運用方針の決定

C I Oが議長となり、原則として月1回運用会議を開催し、基本的な運用方針を決定します。

ニ．運用計画書の作成・承認

ファンドマネージャーは、基本計画書に定められた各ファンドの諸方針と運用会議で決定された基本的な運用方針にしたがって運用計画書を作成します。運用部長は、ファンドマネージャーから提示を受けた運用計画書について、基本計画書および運用会議の決定事項との整合性等を確認し、承認します。

職務権限

ファンド運用の意思決定機能を担う運用本部において、各職位の主たる職務権限は、社内規則によって、次のように定められています。

イ．C I O（Chief Investment Officer）（1名）

運用最高責任者として、次の職務を遂行します。

- ・ファンド運用に関する組織運営

- ・ファンドマネージャーの任命・変更
- ・運用会議の議長として、基本的な運用方針の決定
- ・各ファンドの分配政策の決定
- ・代表取締役に対する随時的的確な状況報告
- ・その他ファンドの運用に関する重要事項の決定

ロ．インベストメント・オフィサー（1～5名程度）

ＣＩＯを補佐し、その指揮を受け、職務を遂行します。

ハ．運用部長（各運用部に1名）

ファンドマネージャーが策定する運用計画を承認します。

ニ．ファンドマネージャー

ファンドの運用計画を策定して、これに沿ってポートフォリオを構築します。

ファンド評価会議、運用審査会議およびコンプライアンス・監査会議

ファンド評価会議は、運用実績・運用リスクの状況について、分析・検討を行ない、運用部にフィードバックします。また、運用審査会議は、経営会議の分科会として、ファンドの運用実績を把握し評価するとともに、取締役会から権限を委任され、ファンドの運用リスク管理の状況についての報告を受けて、必要事項を審議・決定します。

さらに、運用が適切に行なわれたかについて、経営会議の分科会であるコンプライアンス・監査会議において法令等の遵守状況に関する報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

これら会議体の事務局となる内部管理関連部門の人員は25～35名程度です。

受託会社に対する管理体制

受託会社に対しては、日々の純資産照合、月次の勘定残高照合などを行なっています。また、受託会社より内部統制の整備および運用状況の報告書を受け取っています。

上記の運用体制は平成24年7月末日現在のものであり、変更となる場合があります。

(4) 【分配方針】

<各ファンド共通>

分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。

原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、第1および第2計算期末には、収益の分配は行ないません。

留保益は、前(1)に基づいて運用します。

(5) 【投資制限】

<各ファンド共通>

株式（信託約款）

株式への直接投資は、行ないません。

投資信託証券（信託約款）

投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。

外貨建資産（信託約款）

外貨建資産への直接投資は、行ないません。

資金の借入れ（信託約款）

イ．委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性に資するため、一部解約に伴う支払資金の手当て（一部解約に伴う支払資金の手当てのために借入れた資金の返済を含みます。）を目的として、または再投資にかかる収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借入れ（コール市場を通じる場合を含みます。）の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行なわないものとします。

ロ．一部解約に伴う支払資金の手当てにかかる借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から、信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間、または解約代金の入金日までの間、もしくは償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金、解約代金および償還金の合計額を限度とします。ただし、資金借入額は、借入指図を行なう日における信託財産の純資産総額の10%を超えないこととします。

ハ．収益分配金の再投資にかかる借入期間は、信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。

ニ．借入金の利息は信託財産中から支弁します。

< 参 考 > 投資対象ファンドについて

1. 香港ハンセン指数ファンド（ブラジルリアルクラス）
2. 香港ハンセン指数ファンド（豪ドルクラス）
3. 香港ハンセン指数ファンド（南アフリカランドクラス）
4. 香港ハンセン指数ファンド（資源国通貨クラス）
5. 香港ハンセン指数ファンド（香港ドルクラス）
6. 香港ハンセン指数ファンド（日本円クラス）

「1 ファンドの性格（1）ファンドの目的及び基本的性格 < ファンドの特色 >」をご参照下さい。

7. ダイワ・マネープール・マザーファンド

下記以外の項目（「基本方針」、「投資態度」、「信託報酬」等）については、「1 ファンドの性格（1）ファンドの目的及び基本的性格 < ファンドの特色 >」をご参照下さい。

| | |
|---------------|--|
| <p>主な投資制限</p> | <p>株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権（新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）の新株予約権に限り、）の行使等により取得したものに限り、</p> <p>株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>外貨建資産への投資は、行ないません。</p> |
|---------------|--|

| | |
|------|---|
| 償還条項 | 信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させることができます。 |
|------|---|

3 【投資リスク】

(1) 価額変動リスク

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、株式など値動きのある証券（外国証券には為替リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。委託会社の指図に基づく行為により信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。

投資信託は預貯金とは異なります。

投資者のみなさまにおかれましては、当ファンドの内容・リスクを十分ご理解のうえお申込み下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

基準価額の主な変動要因については、次のとおりです。

株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）

株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。株価は、短期的または長期的に大きく下落することがあります（発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。）。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

当ファンドの基準価額は、株価変動の影響を大きく受けます。

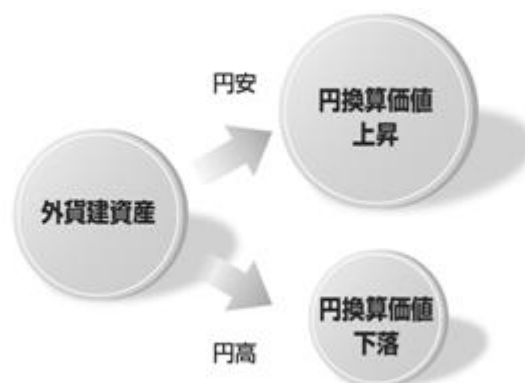
新興国・地域の証券市場は、先進国の証券市場に比べ、一般に市場規模や取引量が小さく、流動性が低いことにより本来想定される投資価値とは乖離した価格水準で取引される場合もあるなど、価格の変動性が大きくなる傾向が考えられます。

外国証券への投資に伴うリスク

イ．為替リスク

（ブラジルリアルコース、豪ドルコース、南アフリカランドコース、資源国通貨コース、香港ドルコース）

〈為替変動のイメージ図〉



※上図はイメージ図であり、当ファンドの運用成果を表すものではありません。

ヘッジ対象通貨（「香港ドルコース」の場合、香港ドル）の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。新興国通貨の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国通貨と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあり

ます。

なお、「ブラジルリアルコース」、「豪ドルコース」、「南アフリカランドコース」および「資源国通貨コース」において、香港ドル建ての資産をヘッジ対象通貨に対して完全にヘッジすることはできませんので、基準価額は日本円に対する香港ドルの為替変動の影響を受ける場合があります。また、ヘッジ対象通貨の金利が香港ドルの金利より低いときには、金利差相当分がコストとなります。

（日本円コース）

為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

日本円の金利が香港ドルの金利より低いときは、金利差相当分がコストとなります。

各ファンドの投資対象である外国投資信託において、NDF取引を用いて為替ヘッジ取引を行なう際、コストは需給や規制等の影響により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

ロ．カントリー・リスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。新興国への投資には、先進国と比べて大きなカントリー・リスクが伴います。

新興国・地域の経済状況は、先進国経済に比較して脆弱である可能性があります。そのため、当該国・地域のインフレ、国際収支、外貨準備高等の悪化、また、政治不安や社会不安あるいは他国との外交関係の悪化などが株式市場や為替市場に及ぼす影響は、先進国以上に大きいものになることが予想されます。さらに、政府当局による海外からの投資規制など数々の規制が緊急に導入されたり、あるいは政策の変更等により証券市場が著しい悪影響を被る可能性もあります。

新興国・地域においては、先進国と比較して、証券の決済、保管等にかかる制度やインフラストラクチャーが未発達であったり、証券の売買を行なう当該国・地域の仲介業者等の固有の事由等により、決済の遅延、不能等が発生する可能性も想定されます。そのような場合、ファンドの基準価額に悪影響が生じる可能性があります。

実質的な投資対象である証券が上場または取引されている新興国・地域の税制は先進国と異なる面がある場合があります。また、税制が変更されたり、あるいは新たな税制が適用されることにより、基準価額が影響を受ける可能性があります。

その他

イ．解約申込みがあった場合には、解約資金を手当てするため組入証券を売却しなければならないことがあります。その際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押し下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

ロ．ファンド資産をコール・ローン、譲渡性預金証書等の短期金融資産で運用する場合、債務不履行により損失が発生することがあります（信用リスク）。この場合、基準価額が下落する要因となります。

(2) 換金性等が制限される場合

通常と異なる状況において、お買付け・ご換金に制限を設けることがあります。

金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情（投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更および規制の導入、自然災害、クーデター、重大な政治体制の変更、戦争等）による市場の閉鎖または流動性の極端な減少ならびに資金の受渡しに関する障害等）が発生した場合には、お買付け、ご換金の申込みの受け付けを中止すること、すでに受付

けたお買付けの申込みを取消することがあります。

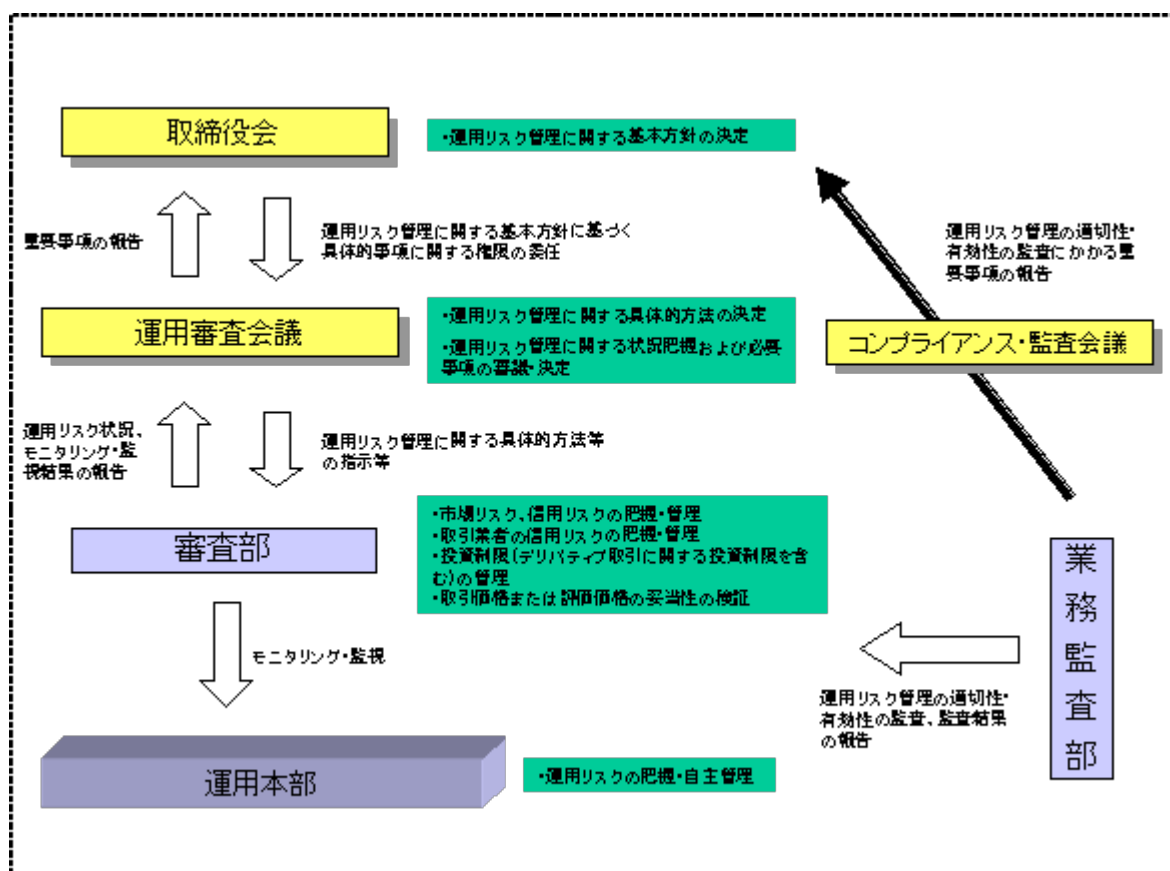
ご換金の申込みの受付が中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行なった当日のご換金の申込みを撤回することができます。ただし、受益者がそのご換金の申込みを撤回しない場合には、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日にご換金の申込みを受付けたものとして取扱いします。

(3) その他の留意点

当ファンドの投資対象である外国投資信託の株式の運用にあたっては、香港ハンセン指数の値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないますが、資金の流入や売買等の要因から、基準価額は当該指数の動きと乖離する場合があります。

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

(4) リスク管理体制



4 【手数料等及び税金】

(1) 【申込手数料】

販売会社におけるお買付時の申込手数料の料率の上限は、3.15%（税抜3.0%）となっています。具体的な手数料の料率等については、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。

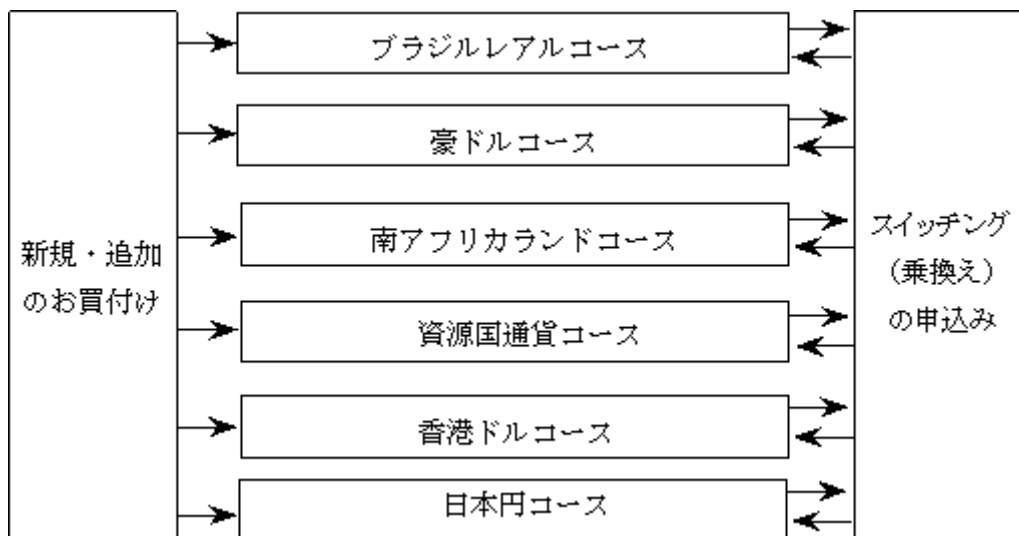
・お電話によるお問合わせ先（委託会社）

電話番号（コールセンター） 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）

<スイッチング（乗換え）について>

- ・「香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）」を構成する各ファンドの受益者が、保有する受益権を換金した手取金をもって、他の構成ファンドの受益権の取得申込みを行なうことをいいます。
- ・スイッチング（乗換え）の申込みの際には、換金の申込みを行なうファンドと、取得の申込みを行なうファンドをご指示下さい。
- ・スイッチング（乗換え）にかかる申込手数料および当該申込手数料にかかる消費税等に相当する金額は、スイッチング（乗換え）の金額から差引かせていただきます。スイッチング（乗換え）によるお買付時の申込手数料については、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。
- ・販売会社によっては、取扱いコースが異なる場合があります。また、販売会社によっては、スイッチング（乗換え）のお取扱いがない場合があります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。

（「香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）」の構成）



申込手数料には、消費税等が課されます。

「分配金再投資コース」の収益分配金の再投資の際には、申込手数料はかかりません。

(2) 【換金（解約）手数料】

換金手数料

ありません。

信託財産留保額

ありません。

(3) 【信託報酬等】

信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に年率1.1865%（税抜1.13%）を乗じて得た額とします。信託報酬は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。

信託報酬にかかる消費税等に相当する金額を、信託報酬支弁のときに信託財産中から支弁します。

信託報酬にかかる委託会社、販売会社、受託会社への配分については、純資産総額に対し次のとおりです。

| | | |
|------|------|------|
| 委託会社 | 販売会社 | 受託会社 |
|------|------|------|

| | | |
|------------------------|------------------------|------------------------|
| 年率0.4725% (税抜0.45%) | 年率0.6825% (税抜0.65%) | 年率0.0315% (税抜0.03%) |
|------------------------|------------------------|------------------------|

前 の販売会社への配分は、販売会社の行なう業務に対する代行手数料であり、委託会社が一旦信託財産から収受した後、販売会社に支払われます。

当ファンドの信託報酬等のほかに、投資対象ファンドに関しても信託報酬等がかかります。当ファンドの信託報酬に投資対象ファンドの信託報酬等を加えた、投資者が実質的に負担する信託報酬率は「香港ドルコース」以外については年率1.5865%（税込）程度、「香港ドルコース」については年率1.5765%（税込）程度です。

ただし、投資対象ファンドの信託報酬等に下限金額が設定されているため純資産総額によって、実質的な信託報酬率が「香港ドルコース」以外については年率1.5865%（税込）、「香港ドルコース」については年率1.5765%（税込）を上回ることがあります。

（注）投資対象ファンドの信託報酬等については、「1 ファンドの性格（1）ファンドの目的及び基本的性格 <ファンドの特色>」の「投資対象ファンドの概要」をご参照下さい。

(4) 【その他の手数料等】

信託財産において資金借入れを行なった場合、当該借入金の利息は信託財産中より支弁します。

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息および信託財産にかかる監査報酬ならびに当該監査報酬にかかる消費税等に相当する金額は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。

信託財産に属する有価証券等に関連して発生した訴訟係争物たる権利その他の権利に基づいて益金が生じた場合、当該支払いに際して特別に必要となる費用（データ処理費用、郵送料等）は、受益者の負担とし、当該益金から支弁します。

信託財産で有価証券の売買を行なう際に発生する売買委託手数料、当該売買委託手数料にかかる消費税等に相当する金額、信託財産に属する資産を外国で保管する場合の費用は、信託財産中より支弁します。

（ ）「その他の手数料等」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

< 投資対象ファンドより支弁する手数料等 >

各ファンドの投資対象等に応じて、信託財産に関する租税、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を支弁します。その他、マザーファンドを除く投資対象ファンドからは監査報酬を支弁します。

(5) 【課税上の取扱い】

課税上は株式投資信託として取扱われます。

個人の投資者に対する課税

イ．収益分配金に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、配当所得として課税され、20%（所得税15%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。ただし、平成25年12月31日までは特例措置として、軽減税率が適用されます。また、平成25年1月1日から平成49年12月31日まで基準所得税額に2.1%の税率を乗じた復興特別所得税が課されます。

期間ごとの税率は、以下のとおりとなります。

| 期間 | 税率 |
|------------------------------|---------------------------------------|
| 平成24年12月31日まで | 10%（所得税7%および地方税3%） |
| 平成25年1月1日から 平成25年12月31日まで | 10.147%（所得税7%、復興特別所得税0.147%および地方税3%） |
| 平成26年1月1日から | 20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%） |

ロ．解約金および償還金に対する課税

一部解約時および償還時の差益（解約価額および償還価額から取得費用（申込手数料（税込）を含む）を控除した利益）については、譲渡所得とみなされ、20%（所得税15%および地方税5%）の税率により、申告分離課税が適用されます。ただし、平成25年12月31日までは特例措置として、軽減税率が適用されます。また、平成25年1月1日から平成49年12月31日まで基準所得税額に2.1%の税率を乗じた復興特別所得税が課されます。

期間ごとの税率は、上記イ．の表と同じです。

ハ．損益通算について

一部解約時および償還時の損失については、確定申告により、上場株式等の譲渡益と相殺することができ、申告分離課税を選択した上場株式等の配当所得との損益通算も可能となります。また、一部解約時および償還時の差益については、他の上場株式等の譲渡損との相殺が可能となります。

なお、特定口座にかかる課税上の取扱いにつきましては、販売会社にお問合わせ下さい。

法人の投資者に対する課税

法人の投資者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに一部解約時および償還時の個別元本超過額については配当所得として課税され、15%（所得税15%）の税率で源泉徴収され法人の受取額となります。地方税の源泉徴収はありません。収益分配金のうち所得税法上課税対象となるのは普通分配金のみであり、元本払戻金（特別分配金）には課税されません。ただし、平成25年12月31日までは特例措置として、軽減税率が適用されます。また、平成25年1月1日から平成49年12月31日まで基準所得税額に2.1%の税率を乗じた復興特別所得税が課されます。

期間ごとの税率は、以下のとおりとなります。

| 期間 | 税率 |
|------------------------------|---------------------------------|
| 平成24年12月31日まで | 7%（所得税7%） |
| 平成25年1月1日から 平成25年12月31日まで | 7.147%（所得税7%および復興特別所得税0.147%） |
| 平成26年1月1日から | 15.315%（所得税15%および復興特別所得税0.315%） |

なお、税額控除制度が適用されます。益金不算入制度の適用はありません。

<注1> 個別元本について

投資者ごとの信託時の受益権の価額等（申込手数料および当該申込手数料にかかる消費税等に相

当する金額は含まれません。)が当該投資者の元本(個別元本)にあたります。

投資者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該投資者が追加信託を行なうつど当該投資者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。

ただし、個別元本は、複数支店で同一ファンドをお申込みの場合などにより把握方法が異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。

投資者が元本払戻金(特別分配金)を受取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の当該投資者の個別元本となります。

<注2> 収益分配金の課税について

追加型株式投資信託の収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」(投資者ごとの元本の一部払戻しに相当する部分)の区分があります。

投資者が収益分配金を受取る際、イ. 当該収益分配金落ち後の基準価額が当該投資者の個別元本と同額の場合または当該投資者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、ロ. 当該収益分配金落ち後の基準価額が当該投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、当該収益分配金から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が普通分配金となります。

- () 上記は、平成24年7月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。
- () 課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

5 【運用状況】

香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）ブラジルリアルコース

(1) 【投資状況】（平成24年7月31日現在）

投資状況

| 投資資産の種類 | 時価(円) | 投資比率(%) |
|-----------------------|-------------|---------|
| 投資信託受益証券 | 441,669,963 | 98.00 |
| 内 ケイマン諸島 | 441,669,963 | 98.00 |
| 親投資信託受益証券 | 1,400,880 | 0.31 |
| 内 日本 | 1,400,880 | 0.31 |
| コール・ローン、その他の資産（負債控除後） | 7,595,626 | 1.69 |
| 純資産総額 | 450,666,469 | 100.00 |

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(2) 【投資資産】（平成24年7月31日現在）

【投資有価証券の主要銘柄】

イ．主要銘柄の明細

| | 銘柄名 | 地域 | 種類 | 株数、口数 または 額面金額 | 簿価単 価 簿価 (円) | 評価単 価 時価 (円) | 投資 比率 (%) |
|---|---|------------|---------------|-----------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------|
| 1 | HONG KONG HANG SENG INDEX FUND BRL CLASS | ケイマン諸 島 | 投資信託受益 証券 | 4,689,985.06 446,301,204 | 95.16 441,669,963 | 94.17 441,669,963 | 98.00 |
| 2 | ダイワ・マネープール・マザーファンド | 日本 | 親投資信託受 益証券 | 1,399,901 | 1.0006 1,400,740 | 1.0007 1,400,880 | 0.31 |

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

| 投資有価証券の種類 | 投資比率 |
|-----------|--------|
| 投資信託受益証券 | 98.00% |
| 親投資信託受益証券 | 0.31% |
| 合計 | 98.31% |

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

ハ．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

| | 純資産総額 (分配落) (円) | 純資産総額 (分配付) (円) | 1口当たりの 純資産額 (分配落)(円) | 1口当たりの 純資産額 (分配付)(円) |
|-------------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------------|----------------------------|
| 平成23年12月末日 | 598,892,392 | - | 0.9943 | - |
| 平成24年1月末日 | 132,512,355 | - | 1.1398 | - |
| 2月末日 | 503,519,176 | - | 1.2912 | - |
| 3月末日 | 600,348,270 | - | 1.1747 | - |
| 4月末日 | 554,680,381 | - | 1.1252 | - |
| 5月末日 | 440,288,611 | - | 0.9189 | - |
| 第1特定期間末 (平成24年6月20日) | 441,466,849 | 446,635,154 | 0.9396 | 0.9506 |
| 6月末日 | 423,176,061 | - | 0.9009 | - |
| 7月末日 | 450,666,469 | - | 0.9261 | - |

【分配の推移】

| | 1口当たり分配金(円) |
|--------|-------------|
| 第1特定期間 | 0.0440 |

【収益率の推移】

| | 収益率(%) |
|--------|--------|
| 第1特定期間 | 1.6 |

(4) 【設定及び解約の実績】

| | 設定数量(口) | 解約数量(口) |
|--------|-------------|---------------|
| 第1特定期間 | 893,267,051 | 1,023,830,471 |

(注) 当初設定数量は600,409,370口です。

(参考) ダイワ・マネープール・マザーファンド

(1) 投資状況（平成24年7月31日現在）

投資状況

| 投資資産の種類 | 時価(円) | 投資比率(%) |
|-----------------------|------------|---------|
| 国債証券 | 9,999,795 | 61.44 |
| 内 日本 | 9,999,795 | 61.44 |
| コール・ローン、その他の資産（負債控除後） | 6,275,741 | 38.56 |
| 純資産総額 | 16,275,536 | 100.00 |

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(2) 投資資産（平成24年7月31日現在）

投資有価証券の主要銘柄

イ．主要銘柄の明細

| | 銘柄名 | 地域 | 種類 | 株数、口数 | 簿価単価 簿価 (円) | 評価単 価 時価 (円) | 利率(%) 償還期限 (年/月/日) | 投資 比率 (%) |
|---|------------|----|------|-------------|--------------------|-----------------------|--------------------------|-----------------|
| | | | | または 額面金額 | | | | |
| 1 | 277 国庫短期証券 | 日本 | 国債証券 | 10,000,000 | 99.99 9,999,795 | 99.99 9,999,795 | - 2012/08/06 | 61.44 |

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

| 投資有価証券の種類 | 投資比率 |
|-----------|--------|
| 国債証券 | 61.44% |
| 合計 | 61.44% |

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

ハ．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）豪ドルコース

(1) 投資状況（平成24年7月31日現在）

投資状況

| 投資資産の種類 | 時価(円) | 投資比率(%) |
|-----------------------|-------------|---------|
| 投資信託受益証券 | 137,692,518 | 98.03 |
| 内 ケイマン諸島 | 137,692,518 | 98.03 |
| 親投資信託受益証券 | 790,474 | 0.56 |
| 内 日本 | 790,474 | 0.56 |
| コール・ローン、その他の資産（負債控除後） | 1,974,460 | 1.41 |
| 純資産総額 | 140,457,452 | 100.00 |

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(2) 投資資産（平成24年7月31日現在）

投資有価証券の主要銘柄

イ．主要銘柄の明細

| | 銘柄名 | 地域 | 種類 | 株数、口数 または 額面金額 | 簿価単 価 簿価 (円) | 評価単価 時価 (円) | 投資 比率 (%) |
|---|--|--------|-----------|----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------|
| 1 | HONG KONG HANG SENG INDEX FUND AUD CLASS | ケイマン諸島 | 投資信託受益証券 | 1,294,771.9137 | 106.28 137,620,599 | 106.34 137,692,518 | 98.03 |
| 2 | ダイワ・マネーブル・マザーファンド | 日本 | 親投資信託受益証券 | 789,922 | 1.0006 790,395 | 1.0007 790,474 | 0.56 |

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

| 投資有価証券の種類 | 投資比率 |
|-----------|--------|
| 投資信託受益証券 | 98.03% |
| 親投資信託受益証券 | 0.56% |
| 合計 | 98.59% |

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

ハ．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

(3) 運用実績

純資産の推移

| | 純資産総額 (分配落) (円) | 純資産総額 (分配付) (円) | 1口当たりの 純資産額 (分配落)(円) | 1口当たりの 純資産額 (分配付)(円) |
|-------------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------------|----------------------------|
| 平成23年12月末日 | 261,115,220 | - | 0.9903 | - |
| 平成24年1月末日 | 98,489,108 | - | 1.1118 | - |
| 2月末日 | 178,413,092 | - | 1.2488 | - |
| 3月末日 | 170,405,380 | - | 1.1715 | - |
| 4月末日 | 168,321,993 | - | 1.1645 | - |
| 5月末日 | 123,008,349 | - | 0.9506 | - |
| 第1特定期間末 (平成24年6月20日) | 136,282,287 | 137,071,869 | 1.0356 | 1.0416 |
| 6月末日 | 138,203,753 | - | 1.0041 | - |
| 7月末日 | 140,457,452 | - | 1.0538 | - |

分配の推移

| | 1口当たり分配金(円) |
|--------|-------------|
| 第1特定期間 | 0.0240 |

収益率の推移

| | 収益率(%) |
|--------|--------|
| 第1特定期間 | 6.0 |

(4) 設定及び解約の実績

| | 設定数量（口） | 解約数量（口） |
|--------|-------------|-------------|
| 第1特定期間 | 287,173,671 | 419,248,328 |

(注) 当初設定数量は263,671,773口です。

(参考) ダイワ・マネープール・マザーファンド

前記「香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）ブラジルリアルコース」の記載と同じ。

香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）南アフリカランドコース

(1) 投資状況（平成24年7月31日現在）

投資状況

| 投資資産の種類 | 時価(円) | 投資比率(%) |
|-----------------------|-------------|---------|
| 投資信託受益証券 | 241,564,838 | 98.02 |
| 内 ケイマン諸島 | 241,564,838 | 98.02 |
| 親投資信託受益証券 | 406,208 | 0.16 |
| 内 日本 | 406,208 | 0.16 |
| コール・ローン、その他の資産（負債控除後） | 4,480,856 | 1.82 |
| 純資産総額 | 246,451,902 | 100.00 |

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(2) 投資資産（平成24年7月31日現在）

投資有価証券の主要銘柄

イ．主要銘柄の明細

| | 銘柄名 | 地域 | 種類 | 株数、口数 または 額面金額 | 簿価単 価 簿価 (円) | 評価単価 時価 (円) | 投資 比率 (%) |
|---|---|------------|---------------|-----------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------|
| 1 | HONG KONG HANG SENG INDEX FUND ZAR CLASS | ケイマン諸 島 | 投資信託受益 証券 | 2,356,155.45 243,511,809 | 103.35 406,167 | 102.52 241,564,838 | 98.02 |
| 2 | ダイワ・マネープール・マザーファンド | 日本 | 親投資信託受 益証券 | 405,924 | 1.0006 406,167 | 1.0007 406,208 | 0.16 |

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

| 投資有価証券の種類 | 投資比率 |
|-----------|--------|
| 投資信託受益証券 | 98.02% |

| | |
|-----------|--------|
| 親投資信託受益証券 | 0.16% |
| 合計 | 98.18% |

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

八．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

(3) 運用実績

純資産の推移

| | 純資産総額 (分配落) (円) | 純資産総額 (分配付) (円) | 1口当たりの 純資産額 (分配落)(円) | 1口当たりの 純資産額 (分配付)(円) |
|-------------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------------|----------------------------|
| 平成23年12月末日 | 11,910,024 | - | 0.9885 | - |
| 平成24年1月末日 | 16,125,094 | - | 1.1161 | - |
| 2月末日 | 218,514,274 | - | 1.2486 | - |
| 3月末日 | 315,958,957 | - | 1.1902 | - |
| 4月末日 | 309,148,176 | - | 1.1711 | - |
| 5月末日 | 245,120,041 | - | 0.9338 | - |
| 第1特定期間末 (平成24年6月20日) | 245,595,443 | 247,302,240 | 1.0072 | 1.0142 |
| 6月末日 | 239,807,924 | - | 0.9668 | - |
| 7月末日 | 246,451,902 | - | 0.9981 | - |

分配の推移

| | 1口当たり分配金(円) |
|--------|-------------|
| 第1特定期間 | 0.0280 |

収益率の推移

| | 収益率(%) |
|--------|--------|
| 第1特定期間 | 3.5 |

(4) 設定及び解約の実績

| | 設定数量(口) | 解約数量(口) |
|--------|-------------|-------------|
| 第1特定期間 | 521,807,043 | 290,027,831 |

(注) 当初設定数量は12,049,059口です。

(参考) ダイワ・マネープール・マザーファンド

前記「香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）ブラジルリアルコース」の記載と同じ。

香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）資源国通貨コース

(1) 投資状況（平成24年7月31日現在）

投資状況

| 投資資産の種類 | 時価(円) | 投資比率(%) |
|-----------------------|------------|---------|
| 投資信託受益証券 | 88,805,730 | 98.01 |
| 内 ケイマン諸島 | 88,805,730 | 98.01 |
| 親投資信託受益証券 | 370,211 | 0.41 |
| 内 日本 | 370,211 | 0.41 |
| コール・ローン、その他の資産（負債控除後） | 1,437,183 | 1.59 |
| 純資産総額 | 90,613,124 | 100.00 |

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(2) 投資資産（平成24年7月31日現在）

投資有価証券の主要銘柄

イ．主要銘柄の明細

| | 銘柄名 | 地域 | 種類 | 株数、口数 または 額面 金額 | 簿価単 価 簿価 (円) | 評価単価 時価 (円) | 投資 比率 (%) |
|---|--|--------|-----------|--------------------------|-----------------------|----------------------|-----------------|
| 1 | HONG KONG HANG SENG INDEX FUND CMC CLASS | ケイマン諸島 | 投資信託受益証券 | 879,195.01 | 101.69 89,411,465 | 101.00 88,805,730 | 98.01 |
| 2 | ダイワ・マネープール・マザーファンド | 日本 | 親投資信託受益証券 | 369,953 | 1.0006 370,174 | 1.0007 370,211 | 0.41 |

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

| 投資有価証券の種類 | 投資比率 |
|-----------|--------|
| 投資信託受益証券 | 98.01% |
| 親投資信託受益証券 | 0.41% |
| 合計 | 98.41% |

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

ハ．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの
該当事項はありません。

(3) 運用実績

純資産の推移

| | 純資産総額 (分配落) (円) | 純資産総額 (分配付) (円) | 1口当たりの 純資産額 (分配落)(円) | 1口当たりの 純資産額 (分配付)(円) |
|-------------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------------|----------------------------|
| 平成23年12月末日 | 86,179,959 | - | 0.9910 | - |
| 平成24年1月末日 | 55,098,449 | - | 1.1213 | - |
| 2月末日 | 163,941,172 | - | 1.2700 | - |
| 3月末日 | 140,018,034 | - | 1.1824 | - |
| 4月末日 | 111,948,216 | - | 1.1562 | - |
| 5月末日 | 86,323,374 | - | 0.9366 | - |
| 第1特定期間末 (平成24年6月20日) | 91,825,027 | 92,562,330 | 0.9963 | 1.0043 |
| 6月末日 | 88,519,658 | - | 0.9594 | - |
| 7月末日 | 90,613,124 | - | 0.9938 | - |

分配の推移

| | 1口当たり分配金(円) |
|--------|-------------|
| 第1特定期間 | 0.0320 |

収益率の推移

| | 収益率(%) |
|--------|--------|
| 第1特定期間 | 2.8 |

(4) 設定及び解約の実績

| | 設定数量(口) | 解約数量(口) |
|--------|-------------|-------------|
| 第1特定期間 | 191,945,154 | 186,745,039 |

(注) 当初設定数量は86,962,870口です。

(参考) ダイワ・マネープール・マザーファンド

前記「香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)ブラジルリアルコース」の記載と同じ。

香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)香港ドルコース

(1) 投資状況(平成24年7月31日現在)

投資状況

| 投資資産の種類 | 時価(円) | 投資比率(%) |
|-----------------------|------------|---------|
| 投資信託受益証券 | 10,317,710 | 97.99 |
| 内 ケイマン諸島 | 10,317,710 | 97.99 |
| 親投資信託受益証券 | 59,036 | 0.56 |
| 内 日本 | 59,036 | 0.56 |
| コール・ローン、その他の資産（負債控除後） | 152,255 | 1.45 |
| 純資産総額 | 10,529,001 | 100.00 |

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(2) 投資資産（平成24年7月31日現在）

投資有価証券の主要銘柄

イ．主要銘柄の明細

| | 銘柄名 | 地域 | 種類 | 株数、口数 または 額面 金額 | 簿価単 価 簿価 (円) | 評価単価 時価 (円) | 投資 比率 (%) |
|---|--|--------|-----------|--------------------------|-----------------------|----------------------|-----------------|
| 1 | HONG KONG HANG SENG INDEX FUND HKD CLASS | ケイマン諸島 | 投資信託受益証券 | 100,235.21 | 103.59 10,384,057 | 102.93 10,317,710 | 97.99 |
| 2 | ダイワ・マネープール・マザーファンド | 日本 | 親投資信託受益証券 | 58,995 | 1.0006 59,030 | 1.0007 59,036 | 0.56 |

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

| 投資有価証券の種類 | 投資比率 |
|-----------|--------|
| 投資信託受益証券 | 97.99% |
| 親投資信託受益証券 | 0.56% |
| 合計 | 98.55% |

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

ハ．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

(3) 運用実績

純資産の推移

| | 純資産総額 (分配落) (円) | 純資産総額 (分配付) (円) | 1口当たりの 純資産額 (分配落)(円) | 1口当たりの 純資産額 (分配付)(円) |
|--|-----------------------|-----------------------|----------------------------|----------------------------|
| | | | | |

| | | | | |
|-------------------------|------------|-----------|--------|--------|
| 平成23年12月末日 | 19,309,135 | - | 0.9886 | - |
| 平成24年1月末日 | 6,860,590 | - | 1.0646 | - |
| 2月末日 | 15,309,926 | - | 1.1695 | - |
| 3月末日 | 10,975,699 | - | 1.1389 | - |
| 4月末日 | 10,767,434 | - | 1.1269 | - |
| 5月末日 | 9,384,584 | - | 0.9803 | - |
| 第1特定期間末 (平成24年6月20日) | 9,816,422 | 9,835,567 | 1.0254 | 1.0274 |
| 6月末日 | 10,437,611 | - | 1.0075 | - |
| 7月末日 | 10,529,001 | - | 1.0146 | - |

分配の推移

| | |
|--------|-------------|
| | 1口当たり分配金(円) |
| 第1特定期間 | 0.0080 |

収益率の推移

| | |
|--------|--------|
| | 収益率(%) |
| 第1特定期間 | 3.3 |

(4) 設定及び解約の実績

| | | |
|--------|------------|------------|
| | 設定数量(口) | 解約数量(口) |
| 第1特定期間 | 10,945,021 | 20,904,115 |

(注) 当初設定数量は19,531,897口です。

(参考) ダイワ・マネープール・マザーファンド

前記「香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)ブラジルリアルコース」の記載と同じ。

香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)日本円コース

(1) 投資状況(平成24年7月31日現在)

投資状況

| | | |
|-----------------------|------------|---------|
| 投資資産の種類 | 時価(円) | 投資比率(%) |
| 投資信託受益証券 | 48,710,878 | 98.00 |
| 内 ケイマン諸島 | 48,710,878 | 98.00 |
| 親投資信託受益証券 | 240,144 | 0.48 |
| 内 日本 | 240,144 | 0.48 |
| コール・ローン、その他の資産(負債控除後) | 755,940 | 1.52 |
| 純資産総額 | 49,706,962 | 100.00 |

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(2) 投資資産（平成24年7月31日現在）

投資有価証券の主要銘柄

イ．主要銘柄の明細

| | 銘柄名 | 地域 | 種類 | 株数、口数 または 額面 金額 | 簿価単 価 簿価 (円) | 評価単価 時価 (円) | 投資 比率 (%) |
|---|--|------------|---------------|--------------------------|-----------------------|----------------------|-----------------|
| 1 | HONG KONG HANG SENG INDEX FUND JPY CLASS | ケイマン 諸島 | 投資信託受 益証券 | 475,826,924 | 102.48 48,765,835 | 102.37 48,710,878 | 98.00 |
| 2 | ダイワ・マネープール・マザーファンド | 日本 | 親投資信託 受益証券 | 239,977 | 1.0006 240,120 | 1.0007 240,144 | 0.48 |

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

| 投資有価証券の種類 | 投資比率 |
|-----------|--------|
| 投資信託受益証券 | 98.00% |
| 親投資信託受益証券 | 0.48% |
| 合計 | 98.48% |

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

ハ．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

(3) 運用実績

純資産の推移

| | 純資産総額 (分配落) (円) | 純資産総額 (分配付) (円) | 1口当たりの 純資産額 (分配落)(円) | 1口当たりの 純資産額 (分配付)(円) |
|-------------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------------|----------------------------|
| 平成23年12月末日 | 81,747,760 | - | 0.9921 | - |
| 平成24年1月末日 | 29,914,546 | - | 1.0807 | - |
| 2月末日 | 68,761,088 | - | 1.1471 | - |
| 3月末日 | 62,944,642 | - | 1.0962 | - |
| 4月末日 | 57,590,096 | - | 1.1031 | - |
| 5月末日 | 50,895,050 | - | 0.9824 | - |
| 第1特定期間末 (平成24年6月20日) | 53,131,094 | 53,234,708 | 1.0255 | 1.0275 |
| 6月末日 | 48,638,296 | - | 1.0050 | - |
| 7月末日 | 49,706,962 | - | 1.0252 | - |

分配の推移

| | 1口当たり分配金(円) |
|--------|-------------|
| 第1特定期間 | 0.0080 |

収益率の推移

| | 収益率(%) |
|--------|--------|
| 第1特定期間 | 3.4 |

(4) 設定及び解約の実績

| | 設定数量(口) | 解約数量(口) |
|--------|------------|------------|
| 第1特定期間 | 55,062,809 | 84,684,538 |

(注) 当初設定数量は81,429,150口です。

(参考) ダイワ・マネープール・マザーファンド

前記「香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）ブラジルリアルコース」の記載と同じ。

[次へ](#)

(参考情報)

香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）ブラジルリアルコース

2012年7月31日現在

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額・純資産の推移

| | |
|-------|--------|
| 基準価額 | 9,261円 |
| 純資産総額 | 4.5億円 |

| 基準価額の騰落率 | |
|----------|--------|
| 期間 | ファンド |
| 1か月間 | 4.0% |
| 3か月間 | -14.8% |
| 6か月間 | -14.3% |
| 1年間 | - |
| 3年間 | - |
| 5年間 | - |
| 設定来 | -2.3% |



※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において実質的な信託報酬は控除しています。

分配の推移(10,000口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額: 550円 設定来分配金合計額: 550円

| 決算期 | 第1期 12年1月 | 第2期 12年2月 | 第3期 12年3月 | 第4期 12年4月 | 第5期 12年5月 | 第6期 12年6月 | 第7期 12年7月 | | | |
|-----|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--|--|--|
| 分配金 | 0円 | 0円 | 110円 | 110円 | 110円 | 110円 | 110円 | | | |

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

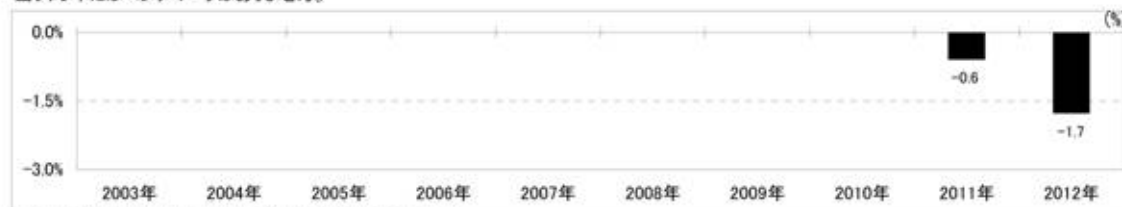
主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

| 組入上位10ファンド | | |
|------------------------------|--------------------------|-------|
| 運用会社名 | ファンド名 | 比率 |
| ダイワ・アセット・マネジメント(シンガポール)リミテッド | 香港ハンセン指数ファンド(ブラジルリアルクラス) | 98.0% |
| 大和証券投資信託委託 | ダイワ・マネーブル・マザーファンド | 0.3% |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 合計 | | 98.3% |

年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

・2011年は設定日(12月28日)から年末、2012年は7月31日までの騰落率を表しています。

最新の運用実績は、委託会社のホームページ、または販売会社でご確認いただけます。

香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）豪ドルコース

2012年7月31日現在
基準価額・純資産の推移

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

| | |
|-------|---------|
| 基準価額 | 10,538円 |
| 純資産総額 | 1.4億円 |

| 基準価額の騰落率 | |
|----------|-------|
| 期間 | ファンド |
| 1カ月間 | 5.5% |
| 3カ月間 | -7.9% |
| 6カ月間 | -2.6% |
| 1年間 | - |
| 3年間 | - |
| 5年間 | - |
| 設定来 | 8.3% |



※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において実質的な信託報酬は控除しています。

分配の推移 (10,000口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額: 300円 設定来分配金合計額: 300円

| 決算期 | 第1期 | 第2期 | 第3期 | 第4期 | 第5期 | 第6期 | 第7期 | | | |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|--|--|
| | 12年1月 | 12年2月 | 12年3月 | 12年4月 | 12年5月 | 12年6月 | 12年7月 | | | |
| 分配金 | 0円 | 0円 | 60円 | 60円 | 60円 | 60円 | 60円 | | | |

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

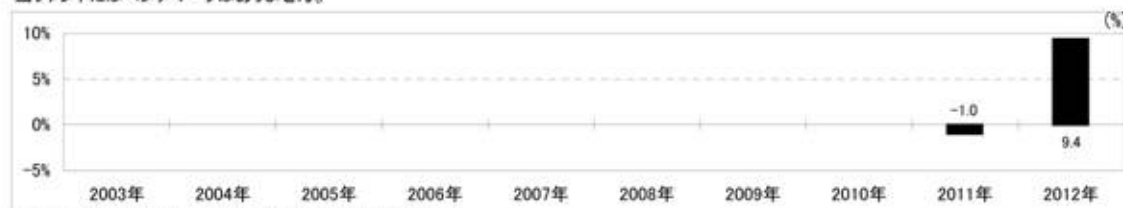
主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

| 組入上位10ファンド | | |
|------------------------------|----------------------|-------|
| 運用会社名 | ファンド名 | 比率 |
| ダイワ・アセット・マネジメント(シンガポール)リミテッド | 香港ハンセン指数ファンド(豪ドルクラス) | 98.0% |
| 大和証券投資信託委託 | ダイワ・マネーブル・マザーファンド | 0.6% |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 合計 | | 98.6% |

年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。

・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。
・2011年は設定日(12月28日)から年末、2012年は7月31日までの騰落率を表しています。

最新の運用実績は、委託会社のホームページ、または販売会社でご確認いただけます。

香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)南アフリカランドコース

2012年7月31日現在
基準価額・純資産の推移

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

| | |
|-------|--------|
| 基準価額 | 9,981円 |
| 純資産総額 | 2.4億円 |

| 基準価額の騰落率 | |
|----------|--------|
| 期間 | ファンド |
| 1カ月間 | 4.0% |
| 3カ月間 | -13.0% |
| 6カ月間 | -7.6% |
| 1年間 | - |
| 3年間 | - |
| 5年間 | - |
| 設定来 | 3.1% |



※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において実質的な信託報酬は控除しています。

分配の推移 (10,000口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額: 350円 設定来分配金合計額: 350円

| 決算期 | 第1期 | 第2期 | 第3期 | 第4期 | 第5期 | 第6期 | 第7期 | | | |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|--|--|
| | 12年1月 | 12年2月 | 12年3月 | 12年4月 | 12年5月 | 12年6月 | 12年7月 | | | |
| 分配金 | 0円 | 0円 | 70円 | 70円 | 70円 | 70円 | 70円 | | | |

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

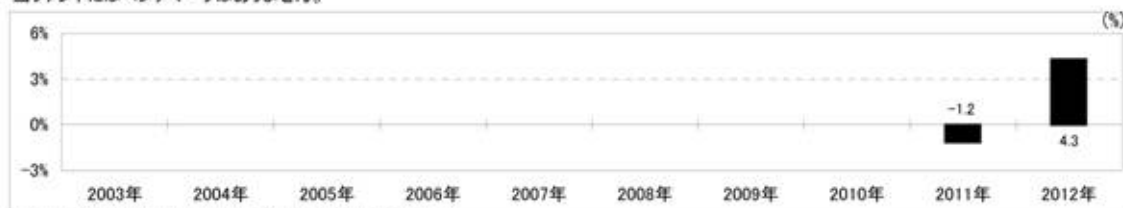
主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

| 組入上位10ファンド | | |
|------------------------------|---------------------------|-------|
| 運用会社名 | ファンド名 | 比率 |
| ダイワ・アセット・マネジメント(シンガポール)リミテッド | 香港ハンセン指数ファンド(南アフリカランドクラス) | 98.0% |
| 大和証券投資信託委託 | ダイワ・マネーブル・マザーファンド | 0.2% |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 合計 | | 98.2% |

年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。
・2011年は設定日(12月28日)から年末、2012年は7月31日までの騰落率を表しています。

最新の運用実績は、委託会社のホームページ、または販売会社でご確認いただけます。

香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)資源国通貨コース

2012年7月31日現在
基準価額・純資産の推移

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

| | |
|-------|--------|
| 基準価額 | 9,938円 |
| 純資産総額 | 90百万円 |

| 基準価額の騰落率 | |
|----------|--------|
| 期間 | ファンド |
| 1カ月間 | 4.4% |
| 3カ月間 | -11.9% |
| 6カ月間 | -8.0% |
| 1年間 | - |
| 3年間 | - |
| 5年間 | - |
| 設定来 | 3.2% |



※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において実質的な信託報酬は控除しています。

分配の推移 (10,000口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額: 400円 設定来分配金合計額: 400円

| 決算期 | 第1期 | 第2期 | 第3期 | 第4期 | 第5期 | 第6期 | 第7期 | | | |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|--|--|
| | 12年1月 | 12年2月 | 12年3月 | 12年4月 | 12年5月 | 12年6月 | 12年7月 | | | |
| 分配金 | 0円 | 0円 | 80円 | 80円 | 80円 | 80円 | 80円 | | | |

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

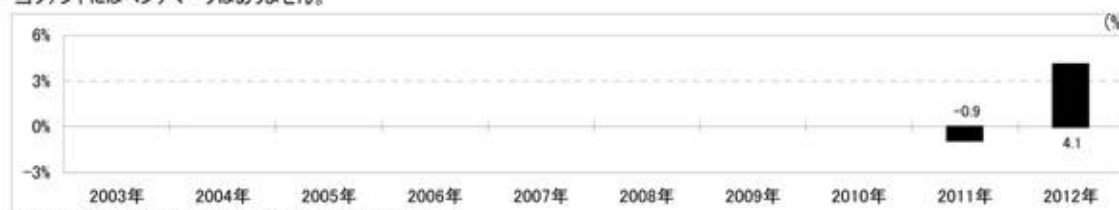
主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

| 組入上位10ファンド | | |
|------------------------------|------------------------|-------|
| 運用会社名 | ファンド名 | 比率 |
| ダイワ・アセット・マネジメント(シンガポール)リミテッド | 香港ハンセン指数ファンド(資源国通貨クラス) | 98.0% |
| 大和証券投資信託委託 | ダイワ・マネーブル・マザーファンド | 0.4% |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 合計 | | 98.4% |

年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。
・2011年は設定日(12月28日)から年末、2012年は7月31日までの騰落率を表しています。

最新の運用実績は、委託会社のホームページ、または販売会社でご確認いただけます。

香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)香港ドルコース

2012年7月31日現在
基準価額・純資産の推移

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

| | |
|-------|---------|
| 基準価額 | 10,146円 |
| 純資産総額 | 10百万円 |

| 基準価額の騰落率 | |
|----------|-------|
| 期間 | ファンド |
| 1カ月間 | 0.9% |
| 3カ月間 | -9.4% |
| 6カ月間 | -3.8% |
| 1年間 | - |
| 3年間 | - |
| 5年間 | - |
| 設定来 | 2.4% |



※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において実質的な信託報酬は控除しています。

分配の推移 (10,000口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額: 100円 設定来分配金合計額: 100円

| 決算期 | 第1期 | 第2期 | 第3期 | 第4期 | 第5期 | 第6期 | 第7期 | | | |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|--|--|
| | 12年1月 | 12年2月 | 12年3月 | 12年4月 | 12年5月 | 12年6月 | 12年7月 | | | |
| 分配金 | 0円 | 0円 | 20円 | 20円 | 20円 | 20円 | 20円 | | | |

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

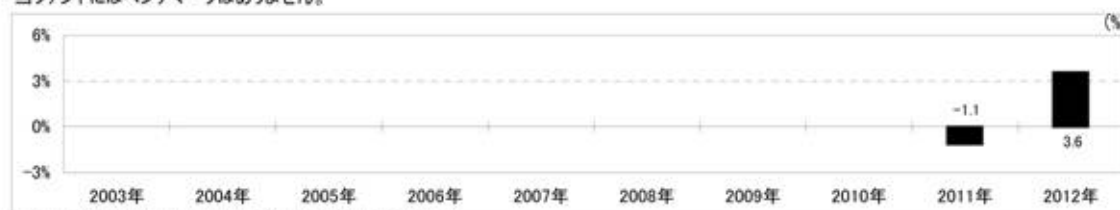
主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

| 組入上位10ファンド | | |
|------------------------------|-----------------------|-------|
| 運用会社名 | ファンド名 | 比率 |
| ダイワ・アセット・マネジメント(シンガポール)リミテッド | 香港ハンセン指数ファンド(香港ドルクラス) | 98.0% |
| 大和証券投資信託委託 | ダイワ・マネーブル・マザーファンド | 0.6% |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 合計 | | 98.6% |

年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。
・2011年は設定日(12月28日)から年末、2012年は7月31日までの騰落率を表しています。

最新の運用実績は、委託会社のホームページ、または販売会社でご確認いただけます。

香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)日本円コース

2012年7月31日現在
基準価額・純資産の推移

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

| | |
|-------|---------|
| 基準価額 | 10,252円 |
| 純資産総額 | 49百万円 |

| 基準価額の騰落率 | |
|----------|-------|
| 期間 | ファンド |
| 1か月間 | 2.2% |
| 3か月間 | -6.5% |
| 6か月間 | -4.2% |
| 1年間 | - |
| 3年間 | - |
| 5年間 | - |
| 設定来 | 3.5% |



※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において実質的な信託報酬は控除しています。

分配の推移 (10,000口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額: 100円 設定来分配金合計額: 100円

| 決算期 | 第1期 | 第2期 | 第3期 | 第4期 | 第5期 | 第6期 | 第7期 | | | |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|--|--|
| | 12年1月 | 12年2月 | 12年3月 | 12年4月 | 12年5月 | 12年6月 | 12年7月 | | | |
| 分配金 | 0円 | 0円 | 20円 | 20円 | 20円 | 20円 | 20円 | | | |

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

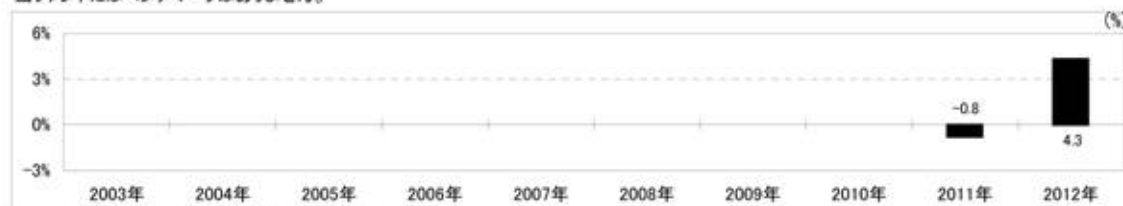
主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

| 組入上位10ファンド | | |
|------------------------------|----------------------|-------|
| 運用会社名 | ファンド名 | 比率 |
| ダイワ・アセット・マネジメント(シンガポール)リミテッド | 香港ハンセン指数ファンド(日本円クラス) | 98.0% |
| 大和証券投資信託委託 | ダイワ・マネーブル・マザーファンド | 0.5% |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 合計 | | 98.5% |

年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。
・2011年は設定日(12月28日)から年末、2012年は7月31日までの騰落率を表しています。

最新の運用実績は、委託会社のホームページ、または販売会社でご確認いただけます。

第2 【管理及び運営】

1 【申込（販売）手続等】

受益権の取得申込者は、販売会社において取引口座を開設のうえ、取得の申込みを行なうものとします。なお、販売会社によっては「ブラジルリアルコース」、「豪ドルコース」、「南アフリカランドコース」、「資源国通貨コース」、「香港ドルコース」、「日本円コース」の取扱いコースが異なる場合があります。くわしくは販売会社にお問い合わせ下さい。

当ファンドには、収益分配金を税金を差引いた後無手数料で自動的に再投資する「分配金再投資コース」と、収益の分配が行なわれるごとに収益分配金を受益者に支払う「分配金支払いコース」があります。

「分配金再投資コース」を利用する場合、取得申込者は、販売会社と別に定める積立投資約款にしたがった契約（以下「別に定める契約」といいます。）を締結します。

販売会社は、受益権の取得申込者に対し、最低単位を1円単位または1口単位として販売会社が定める単位をもって、取得の申込みに応じることができます。

ただし、販売会社は、次のイ．およびロ．に掲げる日を取得申込受付日とする受益権の取得申込みの受けを行いません。

イ．香港証券取引所、ニューヨークの銀行または香港の銀行のいずれかの休業日と同じ日付の日

ロ．前イ．のほか、一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日

お買付価額（1万口当たり）は、お買付申込受付日の翌営業日の基準価額（当初申込期間については1万口当たり1万円）です。

お買付時の申込手数料については、販売会社が別に定めるものとします。申込手数料には、消費税等が課されます。なお、「分配金再投資コース」の収益分配金の再投資の際には、申込手数料はかかりません。

継続申込期間においては、委託会社の各営業日の午後3時までには受付けた取得の申込み（当該申込みにかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものを）、当日の受付分として取扱います。この時刻を過ぎて行なわれる申込みは、翌営業日の取扱いとなります。

金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情（投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更および規制の導入、自然災害、クーデター、重大な政治体制の変更、戦争等）による市場の閉鎖または流動性の極端な減少ならびに資金の受渡しに関する障害等）が発生し、委託会社が追加設定を制限する措置をとった場合には、販売会社は、取得申込みの受けを中止することができるほか、すでに受付けた取得申込みを取消することができるものとします。

取得申込者は販売会社に、取得申込みと同時にまたはあらかじめ、自己のために開設された当ファンドの受益権の振替を行なうための振替機関等の口座を示すものとし、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録が行なわれます。なお、販売会社は、当該取得申込みの代金の支払いと引換えに、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録を行なうことができます。委託会社は、追加信託により分割された受益権について、振替機関等の振替口座簿への新たな記載または記録をするため社振法に定める事項の振替機関への通知を行なうものとします。振替機関等は、委託会社から振替機関への通知があった場合、社振法の規定にしたがい、その備える振替口座簿への新たな記載または記録を行いません。受託会社は、信託契約締結日に生じた受益権については信託契約締結時に、追加信託により生じた受益権については追加信託のつど、振替機関の定める方法により、振替機関へ当該受益権にかかる信託を設定した旨の通知を行いません。

2 【換金（解約）手続等】

委託会社の各営業日の午後3時までに受付けた換金の申込み（当該申込みにかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものを）、当日の受付分として取扱います。この時刻を過ぎて行なわれる申込みは、翌営業日の取扱いとなります。

なお、信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の解約請求には制限があります。

<一部解約>

受益者は、自己に帰属する受益権について、最低単位を1口単位として販売会社が定める単位をもって、委託会社に一部解約の実行を請求することができます。

ただし、販売会社は、次のイ．およびロ．に掲げる日を一部解約請求受付日とする一部解約の実行の請求の受け付けを行いません。

イ．香港証券取引所、ニューヨークの銀行または香港の銀行のいずれかの休業日と同じ日付の日

ロ．前イ．のほか、一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日

受益者が一部解約の実行の請求をするときは、販売会社に対し、振替受益権をもって行なうものとします。

解約価額は、一部解約の実行の請求受付日の翌営業日の基準価額とします。

解約価額は、原則として、委託会社の各営業日に計算されます。

解約価額（基準価額）は、販売会社または委託会社に問合わせることにより知ることができるほか、原則として計算日の翌日付の日本経済新聞朝刊に掲載されます。また、委託会社のホームページでご覧になることもできます。

・お電話によるお問合わせ先（委託会社）

電話番号（コールセンター） 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）

・委託会社のホームページ

アドレス <http://www.daiwa-am.co.jp/>

委託会社は、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情（投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更および規制の導入、自然災害、クーデター、重大な政治体制の変更、戦争等）による市場の閉鎖または流動性の極端な減少ならびに資金の受渡しに関する障害等）が発生した場合には、一部解約請求の受け付けを中止することができます。一部解約請求の受け付けが中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行なった当日の一部解約請求を撤回することができます。ただし、受益者がその一部解約請求を撤回しない場合には、当該受益権の一部解約の価額は、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に一部解約請求を受け付けたものとして、当該計算日の翌営業日の基準価額とします。

一部解約金は、販売会社の営業所等において、原則として一部解約の実行の請求受付日から起算して6営業日目から受益者に支払います。

委託会社は、一部解約金について、受益者への支払開始日までに、その全額を委託会社の指定する預金口座等に払込みます。委託会社は、委託会社の指定する預金口座等に一部解約金を払込んだ後は、受益者に対する支払いにつき、その責に任じません。

一部解約の実行の請求を行なう受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して当該受益者の請求にかかる信託契約の一部解約を委託会社が行なうのと引換えに、当該一部解約にかかる受益権の口数と同口数の抹消の申請を行なうものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行なわれます。

3 【資産管理等の概要】

(1) 【資産の評価】

基準価額とは、信託財産の純資産総額を計算日における受益権口数で除した1万口当たりの価額をいいます。

純資産総額とは、信託財産に属する資産を法令および社団法人投資信託協会規則にしたがって時価（注1、注2）により評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額をいいます。

（注1）当ファンドの主要な投資対象資産の評価方法の概要

- ・ 組入外国投資信託の受益証券：原則として計算時において知り得る直近の日の基準価額で評価します。
- ・ マザーファンドの受益証券：計算日の基準価額で評価します。

（注2）マザーファンドの主要な投資対象資産の評価方法の概要

- ・ 本邦通貨表示の公社債：原則として、次に掲げるいずれかの価額で評価します。
 1. 日本証券業協会が発表する売買参考統計値（平均値）、2. 金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（売気配相場を除く。）、3. 価格情報会社の提供する価額

基準価額は、原則として、委託会社の各営業日に計算されます。

基準価額は、販売会社または委託会社に問合わせることにより知ることができるほか、原則として計算日の翌日付の日本経済新聞朝刊に掲載されます。また、委託会社のホームページでご覧になることもできます。

- ・ お電話によるお問い合わせ先（委託会社）
電話番号（コールセンター） 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）
- ・ 委託会社のホームページ
アドレス <http://www.daiwa-am.co.jp/>

(2) 【保管】

該当事項はありません。

(3) 【信託期間】

平成23年12月28日から平成28年12月20日までとします。ただし、(5) により信託契約を解約し、信託を終了させることがあります。

委託会社は、信託期間満了前に、信託期間の延長が受益者に有利であると認めるときは、受託会社と合意のうえ、信託期間を延長することができます。

(4) 【計算期間】

毎月21日から翌月20日までとします。ただし、第1計算期間は、平成23年12月28日から平成24年1月20日までとします。

上記にかかわらず、上記により各計算期間終了日に該当する日（以下「該当日」といいます。）が休業日の場合には、各計算期間終了日は該当日の翌営業日とし、その翌日から次の計算期間が開始されるものとします。ただし、最終計算期間の終了日には適用しません。

(5) 【その他】

信託の終了

1. 委託会社は、受益権の口数が30億口を下ることとなった場合もしくは信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託会社は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届出ます。
2. 委託会社は、当ファンドが主要投資対象とする組入外国投資信託が存続しないこととなる場合には、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させます。この場合において、委託会社は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届出ます。
3. 委託会社は、前1.の事項について、書面による決議（以下「書面決議」といいます。）を行いません。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに信託契約の解約の理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、信託契約にかかる知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を發します。
4. 前3.の書面決議において、受益者（委託会社および当ファンドの信託財産に当ファンドの受益権が属するときの当該受益権にかかる受益者としての受託会社を除きます。以下本4.において同じ。）は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行行使することができます。なお、信託契約にかかる知れている受益者が議決権を行行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
5. 前3.の書面決議は議決権を行行使することができる受益者の半数以上であって、当該受益者の議決権の3分の2以上にあたる多数をもって行ないます。
6. 前3.から前5.までの規定は、前2.の規定に基づいて信託契約を解約するとき、あるいは、委託会社が信託契約の解約について提案をした場合において、当該提案につき、信託契約にかかるすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。また、信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、前3.から前5.までの手続きを行なうことが困難な場合も同じとします。
7. 委託会社は、監督官庁より信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令にしたがい、信託契約を解約し、信託を終了させます。
8. 委託会社が監督官庁より登録の取消しを受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したときは、委託会社は、信託契約を解約し、信託を終了させます。ただし、監督官庁が信託契約に関する委託会社の業務を他の投資信託委託会社に引継ぐことを命じたときは、の書面決議で否決された場合を除き、当該投資信託委託会社と受託会社との間において存続します。
9. 受託会社が辞任した場合または裁判所が受託会社を解任した場合において、委託会社が新受託会社

を選任できないときは、委託会社は信託契約を解約し、信託を終了させます。

信託約款の変更等

1. 委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託約款を変更することまたは当ファンドと他のファンドとの併合（投資信託及び投資法人に関する法律第16条第2号に規定する「委託者指図型投資信託の併合」をいいます。以下同じ。）を行なうことができるものとし、あらかじめ、変更または併合しようとする旨およびその内容を監督官庁に届出ます。なお、信託約款は本の1. から7. までに定める以外の方法によって変更することができないものとしします。
2. 委託会社は、前1. の事項（前1. の変更事項にあっては、その内容が重大なものに該当する場合に限ります。以下、併合と合わせて「重大な信託約款の変更等」といいます。）について、書面決議を行ないます。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに重大な信託約款の変更等の内容およびその理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、信託約款にかかる知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を發します。
3. 前2. の書面決議において、受益者（委託会社および当ファンドの信託財産に当ファンドの受益権が属するときの当該受益権にかかる受益者としての受託会社を除きます。以下本3. において同じ。）は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行使することができます。なお、信託約款にかかる知れている受益者が議決権を行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
4. 前2. の書面決議は議決権を行使することができる受益者の半数以上であって、当該受益者の議決権の3分の2以上にあたる多数をもって行ないます。
5. 書面決議の効力は、当ファンドのすべての受益者に対してその効力を生じます。
6. 前2. から前5. までの規定は、委託会社が重大な信託約款の変更等について提案をした場合において、当該提案につき、信託約款にかかるすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。
7. 前1. から前6. までの規定にかかわらず、当ファンドにおいて併合の書面決議が可決された場合であっても、当該併合にかかる一または複数の他のファンドにおいて当該併合の書面決議が否決された場合は、当該他のファンドとの併合を行なうことはできません。
8. 委託会社は、監督官庁の命令に基づいて信託約款を変更しようとするときは、前1. から前7. までの規定にしたがいます。

反対者の買取請求権

本の1. から6. までの規定にしたがい信託契約の解約を行なう場合または本の規定にしたがい重大な信託約款の変更等を行なう場合には、書面決議において当該解約または重大な信託約款の変更等に反対した受益者は、受託会社に対し、自己に帰属する受益権を、信託財産をもって買取すべき旨を請求することができます。この買取請求権の内容および買取請求の手続きに関する事項は、本の3. または本の2. に規定する書面に付記します。

運用報告書

委託会社は、毎年6月および12月の計算期末に、期間中の運用経過のほか信託財産の内容、有価証券売買状況などを記載した運用報告書を作成し、信託財産にかかる知れている受益者に対して交付します。

公告

1. 委託会社が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行ない、次のアドレスに掲載します。

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

2. 前1. の電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合の公告は、日本経済新聞に掲載します。

関係法人との契約の更改

委託会社と販売会社との間で締結される受益権の募集・販売の取扱い等に関する契約は、期間満了の1か月（または3か月）前までに、委託会社および販売会社いずれからも何ら意思の表示のないときは、自動的に1年間更新されるものとし、自動延長後の取扱いについてもこれと同様とします。

4 【受益者の権利等】

信託契約締結当初および追加信託当初の受益者は、委託会社の指定する受益権取得申込者とし、分割された受益権は、その取得申込口数に応じて、取得申込者に帰属します。

受益者の有する主な権利の内容、その行使の方法等は、次のとおりです。

収益分配金および償還金にかかる請求権

受益者は、収益分配金（分配金額は、委託会社が決定します。）および償還金（信託終了時における信託財産の純資産総額を受益権口数で除した額をいいます。以下同じ。）を持分に応じて請求する権利を有します。

収益分配金は、原則として決算日（第1、第2計算期間を除きます。）において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（当該収益分配金にかかる決算日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該収益分配金にかかる計算期間の末日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とし、）に、原則として決算日から起算して5営業日までに支払います。

上記にかかわらず、別に定める契約に基づいて収益分配金を再投資する受益者については、原則として毎計算期間終了日の翌営業日に収益分配金が再投資されます。再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

償還金は、信託終了日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（信託終了日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該信託終了日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とし、）に、原則として信託終了日から起算して5営業日までに支払います。

収益分配金および償還金の支払いは、販売会社の営業所等において行なうものとします。

受益者が、収益分配金については支払開始日から5年間その支払いを請求しないときならびに信託終了による償還金については支払開始日から10年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、受託会社から交付を受けた金銭は、委託会社に帰属します。

換金請求権

受益者は、保有する受益権を換金する権利を有します。権利行使の方法等については、「2 換金（解約）手続等」をご参照下さい。

第3 【ファンドの経理状況】

香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)ブラジルリアルコース

(1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドの計算期間は6か月未満であるため、財務諸表は6か月毎に作成しております。

(3) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当特定期間(平成23年12月28日から平成24年6月20日まで)の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

1 【財務諸表】

【香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)ブラジルリアルコース】

香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）ブラジルリアルコース
(1)【貸借対照表】

(単位：円)

| | | 当 期 |
|-----------------|---|--------------|
| | | 平成24年6月20日現在 |
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| コール・ローン | | 13,281,407 |
| 投資信託受益証券 | | 432,826,693 |
| 親投資信託受益証券 | | 1,400,740 |
| 未収入金 | | 2,930,000 |
| 流動資産合計 | | 450,438,840 |
| 資産合計 | | 450,438,840 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 未払収益分配金 | | 5,168,305 |
| 未払解約金 | | 3,360,174 |
| 未払受託者報酬 | | 11,278 |
| 未払委託者報酬 | | 413,811 |
| その他未払費用 | | 18,423 |
| 流動負債合計 | | 8,971,991 |
| 負債合計 | | 8,971,991 |
| 純資産の部 | | |
| 元本等 | | |
| 元本 | 1 | 469,845,950 |
| 剰余金 | | |
| 期末剰余金又は期末欠損金（ ） | 2 | 28,379,101 |
| (分配準備積立金) | | 12,065,019 |
| 元本等合計 | | 441,466,849 |
| 純資産合計 | | 441,466,849 |
| 負債純資産合計 | | 450,438,840 |

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

| | 当期 |
|-------------------------|---------------|
| | 自 平成23年12月28日 |
| | 至 平成24年6月20日 |
| 営業収益 | |
| 受取配当金 | 23,509,930 |
| 受取利息 | 11,862 |
| 有価証券売買等損益 | 64,622,497 |
| 営業収益合計 | 41,100,705 |
| 営業費用 | |
| 受託者報酬 | 74,016 |
| 委託者報酬 | 2,715,294 |
| その他費用 | 18,423 |
| 営業費用合計 | 2,807,733 |
| 営業損失（ ） | 43,908,438 |
| 経常損失（ ） | 43,908,438 |
| 当期純損失（ ） | 43,908,438 |
| 一部解約に伴う当期純利益金額の分配額 | 35,038,876 |
| 剰余金増加額又は欠損金減少額 | 190,992,648 |
| 当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額 | 190,992,648 |
| 剰余金減少額又は欠損金増加額 | 118,918,013 |
| 当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額 | 118,918,013 |
| 分配金 | 1 21,506,422 |
| 期末剰余金又は期末欠損金（ ） | 28,379,101 |

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

| 区 分 | 当 期 自 平成23年12月28日 至 平成24年6月20日 |
|----------------------------|---|
| 1. 有価証券の評価基準及び評価方法 | (1)投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。 (2)親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。 |
| 2. 収益及び費用の計上基準 | 受取配当金 投資信託受益証券の収益分配金を、原則として収益分配金落ちの売買が行われる日において、当該金額を計上しております。 |
| 3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項 | 特定期間 当ファンドの当特定期間は、平成23年12月28日から平成24年6月20日までとなっております。 |

(貸借対照表に関する注記)

| 区 分 | 当 期 平成24年6月20日現在 |
|---------------------|--|
| 1. 1期首元本額 | 600,409,370円 |
| 期中追加設定元本額 | 893,267,051円 |
| 期中一部解約元本額 | 1,023,830,471円 |
| 2. 特定期間末日における受益権の総数 | 469,845,950口 |
| 3. 2元本の欠損 | 貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は28,379,101円であります。 |

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

| 区 分 | 当 期 自 平成23年12月28日 至 平成24年6月20日 |
|------------|--|
| 1 分配金の計算過程 | (自平成23年12月28日 至平成24年1月20日) 計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(1,120円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(25,793,770円)、投資信託約款に規定される収益調整金(1,114,110円)及び分配準備積立金(0円)より分配対象額は26,909,000円(1万口当たり1,311.36円)であり、分配を行っておりません。 |

（自平成24年1月21日 至平成24年2月20日）

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（2,438円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（29,938,505円）、投資信託約款に規定される収益調整金（55,801,796円）及び分配準備積立金（7,478,887円）より分配対象額は93,221,626円（1万口当たり2,580.33円）であり、分配を行っておりません。

（自平成24年2月21日 至平成24年3月21日）

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（7,636,931円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（100,572,644円）及び分配準備積立金（17,024,513円）より分配対象額は125,234,088円（1万口当たり2,442.62円）であり、うち5,639,744円（1万口当たり110円）を分配金額としております。

（自平成24年3月22日 至平成24年4月20日）

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（4,778,735円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（88,163,985円）及び分配準備積立金（17,223,658円）より分配対象額は110,166,378円（1万口当たり2,240.66円）であり、うち5,408,360円（1万口当たり110円）を分配金額としております。

（自平成24年4月21日 至平成24年5月21日）

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（4,060,624円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（86,685,125円）及び分配準備積立金（15,857,396円）より分配対象額は106,603,145円（1万口当たり2,216.69円）であり、うち5,290,013円（1万口当たり110円）を分配金額としております。

（自平成24年5月22日 至平成24年6月20日）

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（3,686,136円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（98,585,471円）及び分配準備積立金（13,547,188円）より分配対象額は115,818,795円（1万口当たり2,465.04円）であり、うち5,168,305円（1万口当たり110円）を分配金額としております。

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

| 区 分 | 当 期 自 平成23年12月28日 至 平成24年6月20日 |
|-----------------|--|
| 1. 金融商品に対する取組方針 | 当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。 |

| | |
|----------------------------|---|
| 2. 金融商品の内容及びリスク | 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、金銭債権及び金銭債務であり、その詳細を附属明細表に記載しております。なお、当ファンドは、投資信託受益証券及び親投資信託受益証券を通じて有価証券、デリバティブ取引に投資しております。これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動、為替変動、金利変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。 |
| 3. 金融商品に係るリスク管理体制 | 複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。 |
| 4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明 | 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。 |

金融商品の時価等に関する事項

| 区 分 | 当 期 平成24年6月20日現在 |
|--------------------------|--|
| 1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額 | 金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 |
| 2. 金融商品の時価の算定方法 | (1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。 |

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

| 種 類 | 当 期 平成24年6月20日現在 最終の計算期間の損益に 含まれた評価差額（円） |
|-----------|---|
| 投資信託受益証券 | 4,164,407 |
| 親投資信託受益証券 | 140 |
| 合計 | 4,164,547 |

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

| 当 期 平成24年6月20日現在 |
|---------------------|
| 該当事項はありません。 |

(関連当事者との取引に関する注記)

| 当 期 自 平成23年12月28日 至 平成24年6月20日 |
|---|
| 市場価格その他当該取引に係る価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はありません。 |

(1口当たり情報)

| 当 期 平成24年6月20日現在 |
|---------------------|
| |

| | |
|---------------------------|---------------------|
| 1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) | 0.9396円 (9,396円) |
|---------------------------|---------------------|

(4) 【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

| 種類 | 銘柄 | 券面総額 | 評価額 (円) | 備考 |
|--------------|-------------------------|---------------|-------------|----|
| 投資信託受益証券 | HONG KONG HANG SENG BRL | 4,558,421.640 | 432,826,693 | |
| 投資信託受益証券 合計 | | | 432,826,693 | |
| 親投資信託受益証券 | ダイワ・マネープール・マザーファンド | 1,399,901 | 1,400,740 | |
| 親投資信託受益証券 合計 | | | 1,400,740 | |
| 合計 | | | 434,227,433 | |

投資信託受益証券及び親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

(参考)

当ファンドは、ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・グローバル・トラスト - 香港ハンセン指数ファンド(ブラジルリアルクラス)」受益証券(円建)を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「投資信託受益証券」は、すべて同ファンドの受益証券であります。

また、当ファンドは、「ダイワ・マネープール・マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同マザーファンドの受益証券であります。

なお、同ファンド及び同マザーファンドの状況は次のとおりであります。

「ダイワ・グローバル・トラスト - 香港ハンセン指数ファンド(ブラジルリアルクラス)」の状況

同ファンドは、平成24年5月31日に第1期計算期間が終了し、一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠した財務諸表が作成され、会計監査人による監査を受ける予定であります。

[次へ](#)

「ダイワ・マネープール・マザーファンド」の状況
以下に記載した情報は監査の対象外であります。

貸借対照表

| | | 平成24年6月20日現在 |
|-----------------|---|--------------|
| | | 金額（円） |
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| コール・ローン | | 6,275,208 |
| 国債証券 | | 9,998,688 |
| 流動資産合計 | | 16,273,896 |
| 資産合計 | | 16,273,896 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 流動負債合計 | | - |
| 負債合計 | | - |
| 純資産の部 | | |
| 元本等 | | |
| 元本 | 1 | 16,264,672 |
| 剰余金 | | |
| 期末剰余金又は期末欠損金（ ） | | 9,224 |
| 元本等合計 | | 16,273,896 |
| 純資産合計 | | 16,273,896 |
| 負債純資産合計 | | 16,273,896 |

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

| 区分 | 自 平成23年12月28日 至 平成24年6月20日 |
|-----------------|---|
| 有価証券の評価基準及び評価方法 | 国債証券 個別法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額又は日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）等で評価しております。 |

（貸借対照表に関する注記）

| 区分 | 平成24年6月20日現在 |
|---|--------------|
| 1. 1 本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額 | 13,000,000円 |
| 同期中における追加設定元本額 | 4,414,444円 |
| 同期中における一部解約元本額 | 1,149,772円 |
| 同期末における元本の内訳 | |
| ファンド名 | |
| 香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）ブラジルリアルコース | 1,399,901円 |
| 香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）豪ドルコース | 789,922円 |

| | |
|--|-------------|
| 香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）南アフリカランドコース | 405,924円 |
| 香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）資源国通貨コース | 369,953円 |
| 香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）香港ドルコース | 58,995円 |
| 香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）日本円コース | 239,977円 |
| ダイワ・アジア株トータルリターン・ファンド 現地通貨・コース（資産成長型） | 4,000,000円 |
| ダイワ・アジア株トータルリターン・ファンド ブラジル・リアル・コース（資産成長型） | 2,000,000円 |
| ダイワ・アジア株トータルリターン・ファンド ブラジル・リアル・コース（毎月分配型） | 7,000,000円 |
| 計 | 16,264,672円 |
| 2. 本報告書における開示対象ファンドの特定期間末日における当該親投資信託の受益権の総数 | 16,264,672口 |

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

| 区分 | 自 平成23年12月28日 至 平成24年6月20日 |
|----------------------------|---|
| 1. 金融商品に対する取組方針 | 当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。 |
| 2. 金融商品の内容及びリスク | 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、金銭債権及び金銭債務であり、その詳細を附属明細表に記載しております。これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動、金利変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。 |
| 3. 金融商品に係るリスク管理体制 | 複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。 |
| 4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明 | 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあり得ます。 |

金融商品の時価等に関する事項

| 区分 | 平成24年6月20日現在 |
|--------------------------|---|
| 1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額 | 金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありませぬ。 |
| 2. 金融商品の時価の算定方法 | (1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 |

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

| 種類 | 平成24年6月20日現在 | |
|------|------------------------|-------|
| | 当期間の損益に 含まれた評価差額(円) | |
| 国債証券 | | 1,188 |
| 合計 | | 1,188 |

(注)「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から本報告書における開示対象ファンドの期末日までの期間(平成23年12月10日から平成24年6月20日まで)を指しております。

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

| 平成24年6月20日現在 | |
|--------------|--|
| 該当事項はありません。 | |

(1口当たり情報)

| | 平成24年6月20日現在 |
|--|----------------------|
| 本報告書における開示対象ファンドの期末における当該親投資信託の1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) | 1.0006円 (10,006円) |

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

| 種類 | 銘柄 | 券面総額 (円) | 評価額 (円) | 備考 |
|---------|------------|-------------|------------|----|
| 国債証券 | 277 国庫短期証券 | 10,000,000 | 9,998,688 | |
| 国債証券 合計 | | | 9,998,688 | |
| 合計 | | | 9,998,688 | |

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)豪ドルコース

(1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドの計算期間は6か月未満であるため、財務諸表は6か月毎に作成しております。

(3) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当特定期間(平成23年12月28日から平成24年6月20日まで)の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

1 財務諸表

【香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)豪ドルコース】

香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）豪ドルコース
(1)【貸借対照表】

(単位：円)

| | | 当 期 |
|-----------------|---|--------------|
| | | 平成24年6月20日現在 |
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| コール・ローン | | 6,526,011 |
| 投資信託受益証券 | | 132,530,895 |
| 親投資信託受益証券 | | 790,395 |
| 未収入金 | | 1,129,999 |
| 流動資産合計 | | 140,977,300 |
| 資産合計 | | 140,977,300 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 未払収益分配金 | | 789,582 |
| 未払解約金 | | 3,775,405 |
| 未払受託者報酬 | | 3,273 |
| 未払委託者報酬 | | 120,230 |
| その他未払費用 | | 6,523 |
| 流動負債合計 | | 4,695,013 |
| 負債合計 | | 4,695,013 |
| 純資産の部 | | |
| 元本等 | | |
| 元本 | 1 | 131,597,116 |
| 剰余金 | | |
| 期末剰余金又は期末欠損金（ ） | | 4,685,171 |
| （分配準備積立金） | | 7,625,090 |
| 元本等合計 | | 136,282,287 |
| 純資産合計 | | 136,282,287 |
| 負債純資産合計 | | 140,977,300 |

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

| | 当 期 |
|-------------------------|---------------|
| | 自 平成23年12月28日 |
| | 至 平成24年6月20日 |
| 営業収益 | |
| 受取配当金 | 4,405,172 |
| 受取利息 | 4,531 |
| 有価証券売買等損益 | 21,816,117 |
| 営業収益合計 | 26,225,820 |
| 営業費用 | |
| 受託者報酬 | 26,388 |
| 委託者報酬 | 969,129 |
| その他費用 | 6,523 |
| 営業費用合計 | 1,002,040 |
| 営業利益 | 25,223,780 |
| 経常利益 | 25,223,780 |
| 当期純利益 | 25,223,780 |
| 一部解約に伴う当期純利益金額の分配額 | 13,741,800 |
| 剰余金増加額又は欠損金減少額 | 48,254,182 |
| 当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額 | 48,254,182 |
| 剰余金減少額又は欠損金増加額 | 51,755,843 |
| 当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額 | 51,755,843 |
| 分配金 | 1 3,295,148 |
| 期末剰余金又は期末欠損金（ ） | 4,685,171 |

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

| 区 分 | 当 期 自 平成23年12月28日 至 平成24年6月20日 |
|----------------------------|---|
| 1. 有価証券の評価基準及び評価方法 | (1)投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。 (2)親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。 |
| 2. 収益及び費用の計上基準 | 受取配当金 投資信託受益証券の収益分配金を、原則として収益分配金落ちの売買が行われる日において、当該金額を計上しております。 |
| 3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項 | 特定期間 当ファンドの当特定期間は、平成23年12月28日から平成24年6月20日までとなっております。 |

(貸借対照表に関する注記)

| 区 分 | 当 期 平成24年6月20日現在 |
|---------------------|---------------------|
| 1. 1期首元本額 | 263,671,773円 |
| 期中追加設定元本額 | 287,173,671円 |
| 期中一部解約元本額 | 419,248,328円 |
| 2. 特定期間末日における受益権の総数 | 131,597,116口 |

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

| 区 分 | 当 期 自 平成23年12月28日 至 平成24年6月20日 |
|------------|--|
| 1 分配金の計算過程 | (自平成23年12月28日 至平成24年1月20日) 計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(577円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(20,040,501円)、投資信託約款に規定される収益調整金(769,296円)及び分配準備積立金(0円)より分配対象額は20,810,374円(1万口当たり963.45円)であり、分配を行っておりません。 |

（自平成24年1月21日 至平成24年2月20日）

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（1,480円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（13,417,370円）、投資信託約款に規定される収益調整金（20,267,784円）及び分配準備積立金（3,688,797円）より分配対象額は37,375,431円（1万口当たり2,218.44円）であり、分配を行っておりません。

（自平成24年2月21日 至平成24年3月21日）

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（1,620,709円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（1,615,053円）、投資信託約款に規定される収益調整金（26,265,628円）及び分配準備積立金（7,107,564円）より分配対象額は36,608,954円（1万口当たり2,528.54円）であり、うち868,698円（1万口当たり60円）を分配金額としております。

（自平成24年3月22日 至平成24年4月20日）

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（787,005円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（18,004,321円）及び分配準備積立金（9,131,434円）より分配対象額は27,922,760円（1万口当たり1,947.18円）であり、うち860,404円（1万口当たり60円）を分配金額としております。

（自平成24年4月21日 至平成24年5月21日）

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（709,421円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（16,438,617円）及び分配準備積立金（7,994,113円）より分配対象額は25,142,151円（1万口当たり1,942.82円）であり、うち776,464円（1万口当たり60円）を分配金額としております。

（自平成24年5月22日 至平成24年6月20日）

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（728,121円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（22,402,237円）及び分配準備積立金（7,686,551円）より分配対象額は30,816,909円（1万口当たり2,341.76円）であり、うち789,582円（1万口当たり60円）を分配金額としております。

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

| 区分 | 当期 自平成23年12月28日 至平成24年6月20日 |
|-----------------|--|
| 1. 金融商品に対する取組方針 | 当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。 |

| | |
|----------------------------|---|
| 2. 金融商品の内容及びリスク | 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、金銭債権及び金銭債務であり、その詳細を附属明細表に記載しております。なお、当ファンドは、投資信託受益証券及び親投資信託受益証券を通じて有価証券、デリバティブ取引に投資しております。これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動、為替変動、金利変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。 |
| 3. 金融商品に係るリスク管理体制 | 複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。 |
| 4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明 | 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。 |

金融商品の時価等に関する事項

| 区 分 | 当 期 平成24年6月20日現在 |
|--------------------------|--|
| 1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額 | 金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 |
| 2. 金融商品の時価の算定方法 | (1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。 |

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

| 種 類 | 当 期 平成24年6月20日現在 最終の計算期間の損益に 含まれた評価差額（円） |
|-----------|---|
| 投資信託受益証券 | 7,272,262 |
| 親投資信託受益証券 | 79 |
| 合計 | 7,272,341 |

（デリバティブ取引に関する注記）

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

| 当 期 平成24年6月20日現在 |
|---------------------|
| 該当事項はありません。 |

（関連当事者との取引に関する注記）

| 当 期 自 平成23年12月28日 至 平成24年6月20日 |
|---|
| 市場価格その他当該取引に係る価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はありません。 |

（1口当たり情報）

| 当 期 平成24年6月20日現在 |
|---------------------|
| |

| | |
|---------------------------|----------------------|
| 1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) | 1.0356円 (10,356円) |
|---------------------------|----------------------|

(4) 【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

| 種類 | 銘柄 | 券面総額 | 評価額 (円) | 備考 |
|--------------|-------------------------|---------------|-------------|----|
| 投資信託受益証券 | HONG KONG HANG SENG AUD | 1,270,036.940 | 132,530,895 | |
| 投資信託受益証券 合計 | | | 132,530,895 | |
| 親投資信託受益証券 | ダイワ・マネープール・マザーファンド | 789,922 | 790,395 | |
| 親投資信託受益証券 合計 | | | 790,395 | |
| 合計 | | | 133,321,290 | |

投資信託受益証券及び親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

(参考)

当ファンドは、ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・グローバル・トラスト - 香港ハンセン指数ファンド(豪ドルクラス)」受益証券(円建)を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「投資信託受益証券」は、すべて同ファンドの受益証券であります。

また、当ファンドは、「ダイワ・マネープール・マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同マザーファンドの受益証券であります。

なお、同ファンド及び同マザーファンドの状況は次のとおりであります。

「ダイワ・グローバル・トラスト - 香港ハンセン指数ファンド(豪ドルクラス)」の状況

同ファンドは、平成24年5月31日に第1期計算期間が終了し、一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠した財務諸表が作成され、会計監査人による監査を受ける予定であります。

「ダイワ・マネープール・マザーファンド」の状況

前記「香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)ブラジルリアルコース」に記載のとおりであります。

香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）南アフリカランドコース

(1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドの計算期間は6か月未満であるため、財務諸表は6か月毎に作成しております。

(3) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当特定期間（平成23年12月28日から平成24年6月20日まで）の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

1 財務諸表

【香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）南アフリカランドコース】

香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）南アフリカランドコース
(1)【貸借対照表】

(単位：円)

| | | 当 期 |
|-----------------|---|--------------|
| | | 平成24年6月20日現在 |
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| コール・ローン | | 4,669,464 |
| 投資信託受益証券 | | 240,845,846 |
| 親投資信託受益証券 | | 406,167 |
| 未収入金 | | 1,629,999 |
| 流動資産合計 | | 247,551,476 |
| 資産合計 | | 247,551,476 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 未払収益分配金 | | 1,706,797 |
| 未払受託者報酬 | | 6,398 |
| 未払委託者報酬 | | 234,711 |
| その他未払費用 | | 8,127 |
| 流動負債合計 | | 1,956,033 |
| 負債合計 | | 1,956,033 |
| 純資産の部 | | |
| 元本等 | | |
| 元本 | 1 | 243,828,271 |
| 剰余金 | | |
| 期末剰余金又は期末欠損金（ ） | | 1,767,172 |
| （分配準備積立金） | | 8,785,719 |
| 元本等合計 | | 245,595,443 |
| 純資産合計 | | 245,595,443 |
| 負債純資産合計 | | 247,551,476 |

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

| | 当期 |
|-------------------------|---------------|
| | 自 平成23年12月28日 |
| | 至 平成24年6月20日 |
| 営業収益 | |
| 受取配当金 | 9,465,458 |
| 受取利息 | 5,565 |
| 有価証券売買等損益 | 46,999,446 |
| 営業収益合計 | 37,528,423 |
| 営業費用 | |
| 受託者報酬 | 32,830 |
| 委託者報酬 | 1,205,318 |
| その他費用 | 8,127 |
| 営業費用合計 | 1,246,275 |
| 営業損失（ ） | 38,774,698 |
| 経常損失（ ） | 38,774,698 |
| 当期純損失（ ） | 38,774,698 |
| 一部解約に伴う当期純利益金額の分配額 | 5,297,039 |
| 剰余金増加額又は欠損金減少額 | 111,106,253 |
| 当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額 | 111,106,253 |
| 剰余金減少額又は欠損金増加額 | 58,004,302 |
| 当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額 | 58,004,302 |
| 分配金 | 1 7,263,042 |
| 期末剰余金又は期末欠損金（ ） | 1,767,172 |

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

| 区 分 | 当 期 自 平成23年12月28日 至 平成24年6月20日 |
|----------------------------|---|
| 1. 有価証券の評価基準及び評価方法 | (1)投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。 (2)親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。 |
| 2. 収益及び費用の計上基準 | 受取配当金 投資信託受益証券の収益分配金を、原則として収益分配金落ちの売買が行われる日において、当該金額を計上しております。 |
| 3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項 | 特定期間 当ファンドの当特定期間は、平成23年12月28日から平成24年6月20日までとなっております。 |

(貸借対照表に関する注記)

| 区 分 | 当 期 平成24年6月20日現在 |
|---------------------|---------------------|
| 1. 1期首元本額 | 12,049,059円 |
| 期中追加設定元本額 | 521,807,043円 |
| 期中一部解約元本額 | 290,027,831円 |
| 2. 特定期間末日における受益権の総数 | 243,828,271口 |

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

| 区 分 | 当 期 自 平成23年12月28日 至 平成24年6月20日 |
|------------|---|
| 1 分配金の計算過程 | (自平成23年12月28日 至平成24年1月20日) 計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(22円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(1,188,355円)、投資信託約款に規定される収益調整金(0円)及び分配準備積立金(0円)より分配対象額は1,188,377円(1万口当たり986.28円)であり、分配を行っておりません。 |

(自平成24年1月21日 至平成24年2月20日)

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(688円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(8,359,447円)、投資信託約款に規定される収益調整金(25,046,277円)及び分配準備積立金(859,008円)より分配対象額は34,265,420円(1万口当たり1,952.14円)であり、分配を行っておりません。

(自平成24年2月21日 至平成24年3月21日)

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(2,868,895円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(6,774,502円)、投資信託約款に規定される収益調整金(61,656,034円)及び分配準備積立金(2,865,994円)より分配対象額は74,165,425円(1万口当たり2,769.72円)であり、うち1,874,407円(1万口当たり70円)を分配金額としております。

(自平成24年3月22日 至平成24年4月20日)

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(1,674,161円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(38,407,947円)及び分配準備積立金(9,955,401円)より分配対象額は50,037,509円(1万口当たり1,896.99円)であり、うち1,846,416円(1万口当たり70円)を分配金額としております。

(自平成24年4月21日 至平成24年5月21日)

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(1,718,213円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(36,468,071円)及び分配準備積立金(9,558,344円)より分配対象額は47,744,628円(1万口当たり1,820.90円)であり、うち1,835,422円(1万口当たり70円)を分配金額としております。

(自平成24年5月22日 至平成24年6月20日)

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(1,722,390円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(55,408,391円)及び分配準備積立金(8,770,126円)より分配対象額は65,900,907円(1万口当たり2,702.76円)であり、うち1,706,797円(1万口当たり70円)を分配金額としております。

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

| 区 分 | 当 期 自 平成23年12月28日 至 平成24年6月20日 |
|-----------------|--|
| 1. 金融商品に対する取組方針 | 当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。 |

| | |
|----------------------------|---|
| 2. 金融商品の内容及びリスク | 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、金銭債権及び金銭債務であり、その詳細を附属明細表に記載しております。なお、当ファンドは、投資信託受益証券及び親投資信託受益証券を通じて有価証券、デリバティブ取引に投資しております。これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動、為替変動、金利変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。 |
| 3. 金融商品に係るリスク管理体制 | 複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。 |
| 4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明 | 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。 |

金融商品の時価等に関する事項

| 区 分 | 当 期 平成24年6月20日現在 |
|--------------------------|--|
| 1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額 | 金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 |
| 2. 金融商品の時価の算定方法 | (1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。 |

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

| 種 類 | 当 期 平成24年6月20日現在 最終の計算期間の損益に 含まれた評価差額（円） |
|-----------|---|
| 投資信託受益証券 | 8,964,163 |
| 親投資信託受益証券 | 41 |
| 合計 | 8,964,204 |

（デリバティブ取引に関する注記）

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

| 当 期 平成24年6月20日現在 |
|---------------------|
| 該当事項はありません。 |

（関連当事者との取引に関する注記）

| 当 期 自 平成23年12月28日 至 平成24年6月20日 |
|---|
| 市場価格その他当該取引に係る価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はありません。 |

（1口当たり情報）

| 当 期 平成24年6月20日現在 |
|---------------------|
| |

| | |
|---------------------------|----------------------|
| 1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) | 1.0072円 (10,072円) |
|---------------------------|----------------------|

(4) 【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

| 種類 | 銘柄 | 券面総額 | 評価額 (円) | 備考 |
|--------------|-------------------------|---------------|-------------|----|
| 投資信託受益証券 | HONG KONG HANG SENG ZAR | 2,331,292.670 | 240,845,846 | |
| 投資信託受益証券 合計 | | | 240,845,846 | |
| 親投資信託受益証券 | ダイワ・マネープール・マザーファンド | 405,924 | 406,167 | |
| 親投資信託受益証券 合計 | | | 406,167 | |
| 合計 | | | 241,252,013 | |

投資信託受益証券及び親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

(参考)

当ファンドは、ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・グローバル・トラスト - 香港ハンセン指数ファンド(南アフリカランドクラス)」受益証券(円建)を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「投資信託受益証券」は、すべて同ファンドの受益証券であります。

また、当ファンドは、「ダイワ・マネープール・マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同マザーファンドの受益証券であります。

なお、同ファンド及び同マザーファンドの状況は次のとおりであります。

「ダイワ・グローバル・トラスト - 香港ハンセン指数ファンド(南アフリカランドクラス)」の状況

同ファンドは、平成24年5月31日に第1期計算期間が終了し、一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠した財務諸表が作成され、会計監査人による監査を受ける予定であります。

「ダイワ・マネープール・マザーファンド」の状況

前記「香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)ブラジルリアルコース」に記載のとおりであります。

香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）資源国通貨コース

(1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドの計算期間は6か月未満であるため、財務諸表は6か月毎に作成しております。

(3) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当特定期間（平成23年12月28日から平成24年6月20日まで）の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

1 財務諸表

【香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）資源国通貨コース】

香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）資源国通貨コース
(1)【貸借対照表】

(単位：円)

| | 当 期 |
|-----------------|-------------------------|
| | 平成24年6月20日現在 |
| 資産の部 | |
| 流動資産 | |
| コール・ローン | 1,434,619 |
| 投資信託受益証券 | 90,036,940 |
| 親投資信託受益証券 | 370,174 |
| 未収入金 | 809,999 |
| 流動資産合計 | 92,651,732 |
| 資産合計 | 92,651,732 |
| 負債の部 | |
| 流動負債 | |
| 未払収益分配金 | 737,303 |
| 未払受託者報酬 | 2,263 |
| 未払委託者報酬 | 83,149 |
| その他未払費用 | 3,990 |
| 流動負債合計 | 826,705 |
| 負債合計 | 826,705 |
| 純資産の部 | |
| 元本等 | |
| 元本 | ¹ 92,162,985 |
| 剰余金 | |
| 期末剰余金又は期末欠損金（ ） | ² 337,958 |
| （分配準備積立金） | 4,192,098 |
| 元本等合計 | 91,825,027 |
| 純資産合計 | 91,825,027 |
| 負債純資産合計 | 92,651,732 |

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

| | 当期 |
|-------------------------|---------------|
| | 自 平成23年12月28日 |
| | 至 平成24年6月20日 |
| 営業収益 | |
| 受取配当金 | 4,310,078 |
| 受取利息 | 2,587 |
| 有価証券売買等損益 | 4,382,965 |
| 営業収益合計 | 70,300 |
| 営業費用 | |
| 受託者報酬 | 16,249 |
| 委託者報酬 | 596,847 |
| その他費用 | 3,990 |
| 営業費用合計 | 617,086 |
| 営業損失（ ） | 687,386 |
| 経常損失（ ） | 687,386 |
| 当期純損失（ ） | 687,386 |
| 一部解約に伴う当期純利益金額の分配額 | 3,156,171 |
| 剰余金増加額又は欠損金減少額 | 40,661,988 |
| 当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額 | 40,661,988 |
| 剰余金減少額又は欠損金増加額 | 33,969,256 |
| 当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額 | 33,969,256 |
| 分配金 | 1 3,187,133 |
| 期末剰余金又は期末欠損金（ ） | 337,958 |

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

| 区 分 | 当 期 自 平成23年12月28日 至 平成24年6月20日 |
|----------------------------|---|
| 1. 有価証券の評価基準及び評価方法 | (1)投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。 (2)親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。 |
| 2. 収益及び費用の計上基準 | 受取配当金 投資信託受益証券の収益分配金を、原則として収益分配金落ちの売買が行われる日において、当該金額を計上しております。 |
| 3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項 | 特定期間 当ファンドの当特定期間は、平成23年12月28日から平成24年6月20日までとなっております。 |

(貸借対照表に関する注記)

| 区 分 | 当 期 平成24年6月20日現在 |
|---------------------|---|
| 1. 1 期首元本額 | 86,962,870円 |
| 期中追加設定元本額 | 191,945,154円 |
| 期中一部解約元本額 | 186,745,039円 |
| 2. 特定期間末日における受益権の総数 | 92,162,985口 |
| 3. 2 元本の欠損 | 貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は337,958円であります。 |

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

| 区 分 | 当 期 自 平成23年12月28日 至 平成24年6月20日 |
|------------|--|
| 1 分配金の計算過程 | (自平成23年12月28日 至平成24年1月20日) 計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(175円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(7,789,052円)、投資信託約款に規定される収益調整金(1,195円)及び分配準備積立金(0円)より分配対象額は7,790,422円(1万口当たり1,099.44円)であり、分配を行っておりません。 |

（自平成24年1月21日 至平成24年2月20日）

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（637円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（8,047,489円）、投資信託約款に規定される収益調整金（13,646,030円）及び分配準備積立金（2,575,166円）より分配対象額は24,269,322円（1万口当たり2,333.36円）であり、分配を行っておりません。

（自平成24年2月21日 至平成24年3月21日）

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（1,739,980円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（29,674円）、投資信託約款に規定される収益調整金（23,033,072円）及び分配準備積立金（5,395,036円）より分配対象額は30,197,762円（1万口当たり2,608.93円）であり、うち925,980円（1万口当たり80円）を分配金額としております。

（自平成24年3月22日 至平成24年4月20日）

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（699,273円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（14,340,329円）及び分配準備積立金（4,839,332円）より分配対象額は19,878,934円（1万口当たり2,018.89円）であり、うち787,717円（1万口当たり80円）を分配金額としております。

（自平成24年4月21日 至平成24年5月21日）

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（630,165円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（13,468,321円）及び分配準備積立金（4,380,941円）より分配対象額は18,479,427円（1万口当たり2,008.27円）であり、うち736,133円（1万口当たり80円）を分配金額としております。

（自平成24年5月22日 至平成24年6月20日）

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（654,428円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（18,316,602円）及び分配準備積立金（4,274,973円）より分配対象額は23,246,003円（1万口当たり2,522.27円）であり、うち737,303円（1万口当たり80円）を分配金額としております。

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

| 区 分 | 当 期 自 平成23年12月28日 至 平成24年6月20日 |
|-----------------|--|
| 1. 金融商品に対する取組方針 | 当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。 |

| | |
|----------------------------|---|
| 2. 金融商品の内容及びリスク | 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、金銭債権及び金銭債務であり、その詳細を附属明細表に記載しております。なお、当ファンドは、投資信託受益証券及び親投資信託受益証券を通じて有価証券、デリバティブ取引に投資しております。これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動、為替変動、金利変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。 |
| 3. 金融商品に係るリスク管理体制 | 複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。 |
| 4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明 | 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。 |

金融商品の時価等に関する事項

| 区 分 | 当 期 平成24年6月20日現在 |
|--------------------------|--|
| 1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額 | 金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 |
| 2. 金融商品の時価の算定方法 | (1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。 |

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

| 種 類 | 当 期 平成24年6月20日現在 最終の計算期間の損益に 含まれた評価差額（円） |
|-----------|---|
| 投資信託受益証券 | 3,067,197 |
| 親投資信託受益証券 | 37 |
| 合計 | 3,067,234 |

（デリバティブ取引に関する注記）

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

| 当 期 平成24年6月20日現在 |
|---------------------|
| 該当事項はありません。 |

（関連当事者との取引に関する注記）

| 当 期 自 平成23年12月28日 至 平成24年6月20日 |
|---|
| 市場価格その他当該取引に係る価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はありません。 |

（1口当たり情報）

| 当 期 平成24年6月20日現在 |
|---------------------|
| |

| | |
|---------------------------|---------------------|
| 1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) | 0.9963円 (9,963円) |
|---------------------------|---------------------|

(4) 【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

| 種類 | 銘柄 | 券面総額 | 評価額 (円) | 備考 |
|--------------|-------------------------|-------------|------------|----|
| 投資信託受益証券 | HONG KONG HANG SENG CMC | 892,161.510 | 90,036,940 | |
| 投資信託受益証券 合計 | | | 90,036,940 | |
| 親投資信託受益証券 | ダイワ・マネープール・マザーファンド | 369,953 | 370,174 | |
| 親投資信託受益証券 合計 | | | 370,174 | |
| 合計 | | | 90,407,114 | |

投資信託受益証券及び親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

(参考)

当ファンドは、ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・グローバル・トラスト - 香港ハンセン指数ファンド(資源国通貨クラス)」受益証券(円建)を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「投資信託受益証券」は、すべて同ファンドの受益証券であります。

また、当ファンドは、「ダイワ・マネープール・マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同マザーファンドの受益証券であります。

なお、同ファンド及び同マザーファンドの状況は次のとおりであります。

「ダイワ・グローバル・トラスト - 香港ハンセン指数ファンド(資源国通貨クラス)」の状況

同ファンドは、平成24年5月31日に第1期計算期間が終了し、一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠した財務諸表が作成され、会計監査人による監査を受ける予定であります。

「ダイワ・マネープール・マザーファンド」の状況

前記「香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)ブラジルリアルコース」に記載のとおりであります。

香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)香港ドルコース

(1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドの計算期間は6か月未満であるため、財務諸表は6か月毎に作成しております。

(3) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当特定期間(平成23年12月28日から平成24年6月20日まで)の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

1 財務諸表

【香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)香港ドルコース】

香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）香港ドルコース
(1)【貸借対照表】

(単位：円)

| | | 当 期 |
|-----------------|---|--------------|
| | | 平成24年6月20日現在 |
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| コール・ローン | | 133,882 |
| 投資信託受益証券 | | 9,632,304 |
| 親投資信託受益証券 | | 59,030 |
| 未収入金 | | 19,999 |
| 流動資産合計 | | 9,845,215 |
| 資産合計 | | 9,845,215 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 未払収益分配金 | | 19,145 |
| 未払受託者報酬 | | 239 |
| 未払委託者報酬 | | 8,996 |
| その他未払費用 | | 413 |
| 流動負債合計 | | 28,793 |
| 負債合計 | | 28,793 |
| 純資産の部 | | |
| 元本等 | | |
| 元本 | 1 | 9,572,803 |
| 剰余金 | | |
| 期末剰余金又は期末欠損金（ ） | | 243,619 |
| （分配準備積立金） | | 858,790 |
| 元本等合計 | | 9,816,422 |
| 純資産合計 | | 9,816,422 |
| 負債純資産合計 | | 9,845,215 |

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

| | 当期 |
|-------------------------|---------------|
| | 自 平成23年12月28日 |
| | 至 平成24年6月20日 |
| 営業収益 | |
| 受取配当金 | 156,129 |
| 受取利息 | 193 |
| 有価証券売買等損益 | 1,326,204 |
| 営業収益合計 | 1,482,526 |
| 営業費用 | |
| 受託者報酬 | 1,842 |
| 委託者報酬 | 69,202 |
| その他費用 | 413 |
| 営業費用合計 | 71,457 |
| 営業利益 | 1,411,069 |
| 経常利益 | 1,411,069 |
| 当期純利益 | 1,411,069 |
| 一部解約に伴う当期純利益金額の分配額 | 661,713 |
| 剰余金増加額又は欠損金減少額 | 1,423,100 |
| 当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額 | 1,423,100 |
| 剰余金減少額又は欠損金増加額 | 1,853,152 |
| 当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額 | 1,853,152 |
| 分配金 | 1 75,685 |
| 期末剰余金又は期末欠損金（ ） | 243,619 |

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

| 区 分 | 当 期 自 平成23年12月28日 至 平成24年6月20日 |
|----------------------------|---|
| 1. 有価証券の評価基準及び評価方法 | (1)投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。 (2)親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。 |
| 2. 収益及び費用の計上基準 | 受取配当金 投資信託受益証券の収益分配金を、原則として収益分配金落ちの売買が行われる日において、当該金額を計上しております。 |
| 3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項 | 特定期間 当ファンドの当特定期間は、平成23年12月28日から平成24年6月20日までとなっております。 |

(貸借対照表に関する注記)

| 区 分 | 当 期 平成24年6月20日現在 |
|---------------------|---------------------|
| 1. 1期首元本額 | 19,531,897円 |
| 期中追加設定元本額 | 10,945,021円 |
| 期中一部解約元本額 | 20,904,115円 |
| 2. 特定期間末日における受益権の総数 | 9,572,803口 |

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

| 区 分 | 当 期 自 平成23年12月28日 至 平成24年6月20日 |
|------------|---|
| 1 分配金の計算過程 | (自平成23年12月28日 至平成24年1月20日) 計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(36円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(1,255,640円)、投資信託約款に規定される収益調整金(0円)及び分配準備積立金(0円)より分配対象額は1,255,676円(1万口当たり642.88円)であり、分配を行っておりません。 |

（自平成24年1月21日 至平成24年2月20日）

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（77円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（626,646円）、投資信託約款に規定される収益調整金（672,373円）及び分配準備積立金（315,224円）より分配対象額は1,614,320円（1万口当たり1,509.01円）であり、分配を行っておりません。

（自平成24年2月21日 至平成24年3月21日）

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（48,536円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（231,945円）、投資信託約款に規定される収益調整金（762,899円）及び分配準備積立金（639,890円）より分配対象額は1,683,270円（1万口当たり1,834.50円）であり、うち18,351円（1万口当たり20円）を分配金額としております。

（自平成24年3月22日 至平成24年4月20日）

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（15,244円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（589,495円）及び分配準備積立金（855,207円）より分配対象額は1,459,946円（1万口当たり1,530.33円）であり、うち19,080円（1万口当たり20円）を分配金額としております。

（自平成24年4月21日 至平成24年5月21日）

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（18,831円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（591,688円）及び分配準備積立金（851,371円）より分配対象額は1,461,890円（1万口当たり1,530.04円）であり、うち19,109円（1万口当たり20円）を分配金額としております。

（自平成24年5月22日 至平成24年6月20日）

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（26,842円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（859,270円）及び分配準備積立金（851,093円）より分配対象額は1,737,205円（1万口当たり1,814.73円）であり、うち19,145円（1万口当たり20円）を分配金額としております。

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

| 区 分 | 当 期 自 平成23年12月28日 至 平成24年6月20日 |
|-----------------|--|
| 1. 金融商品に対する取組方針 | 当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。 |

| | |
|----------------------------|--|
| 2. 金融商品の内容及びリスク | 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、金銭債権及び金銭債務であり、その詳細を附属明細表に記載しております。なお、当ファンドは、投資信託受益証券及び親投資信託受益証券を通じて有価証券に投資しております。 これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動、為替変動、金利変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。 |
| 3. 金融商品に係るリスク管理体制 | 複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。 |
| 4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明 | 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。 |

金融商品の時価等に関する事項

| 区 分 | 当 期 平成24年6月20日現在 |
|--------------------------|--|
| 1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額 | 金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 |
| 2. 金融商品の時価の算定方法 | (1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。 |

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

| 種 類 | 当 期 平成24年6月20日現在 最終の計算期間の損益に 含まれた評価差額（円） |
|-----------|---|
| 投資信託受益証券 | 253,600 |
| 親投資信託受益証券 | 6 |
| 合計 | 253,606 |

（デリバティブ取引に関する注記）

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

| 当 期 平成24年6月20日現在 |
|---------------------|
| 該当事項はありません。 |

（関連当事者との取引に関する注記）

| 当 期 自 平成23年12月28日 至 平成24年6月20日 |
|---|
| 市場価格その他当該取引に係る価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はありません。 |

（1口当たり情報）

| 当 期 平成24年6月20日現在 |
|---------------------|
| |

| | |
|---------------------------|----------------------|
| 1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) | 1.0254円 (10,254円) |
|---------------------------|----------------------|

(4) 【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

| 種類 | 銘柄 | 券面総額 | 評価額 (円) | 備考 |
|--------------|-------------------------|------------|------------|----|
| 投資信託受益証券 | HONG KONG HANG SENG HKD | 92,611.180 | 9,632,304 | |
| 投資信託受益証券 合計 | | | 9,632,304 | |
| 親投資信託受益証券 | ダイワ・マネープール・マザーファンド | 58,995 | 59,030 | |
| 親投資信託受益証券 合計 | | | 59,030 | |
| 合計 | | | 9,691,334 | |

投資信託受益証券及び親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

(参考)

当ファンドは、ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・グローバル・トラスト - 香港ハンセン指数ファンド(香港ドルクラス)」受益証券(円建)を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「投資信託受益証券」は、すべて同ファンドの受益証券であります。

また、当ファンドは、「ダイワ・マネープール・マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同マザーファンドの受益証券であります。

なお、同ファンド及び同マザーファンドの状況は次のとおりであります。

「ダイワ・グローバル・トラスト - 香港ハンセン指数ファンド(香港ドルクラス)」の状況

同ファンドは、平成24年5月31日に第1期計算期間が終了し、一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠した財務諸表が作成され、会計監査人による監査を受ける予定であります。

「ダイワ・マネープール・マザーファンド」の状況

前記「香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)ブラジルリアルコース」に記載のとおりであります。

香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)日本円コース

(1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドの計算期間は6か月未満であるため、財務諸表は6か月毎に作成しております。

(3) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当特定期間(平成23年12月28日から平成24年6月20日まで)の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

1 財務諸表

【香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)日本円コース】

香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）日本円コース
(1)【貸借対照表】

(単位：円)

| | | 当 期 |
|-----------------|---|--------------|
| | | 平成24年6月20日現在 |
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| コール・ローン | | 804,678 |
| 投資信託受益証券 | | 52,082,059 |
| 親投資信託受益証券 | | 240,120 |
| 未収入金 | | 160,000 |
| 流動資産合計 | | 53,286,857 |
| 資産合計 | | 53,286,857 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 未払収益分配金 | | 103,614 |
| 未払受託者報酬 | | 1,318 |
| 未払委託者報酬 | | 48,658 |
| その他未払費用 | | 2,173 |
| 流動負債合計 | | 155,763 |
| 負債合計 | | 155,763 |
| 純資産の部 | | |
| 元本等 | | |
| 元本 | 1 | 51,807,421 |
| 剰余金 | | |
| 期末剰余金又は期末欠損金（ ） | | 1,323,673 |
| （分配準備積立金） | | 2,333,265 |
| 元本等合計 | | 53,131,094 |
| 純資産合計 | | 53,131,094 |
| 負債純資産合計 | | 53,286,857 |

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

| | 当 期 |
|-------------------------|---------------|
| | 自 平成23年12月28日 |
| | 至 平成24年6月20日 |
| 営業収益 | |
| 受取配当金 | 750,609 |
| 受取利息 | 1,034 |
| 有価証券売買等損益 | 3,111,570 |
| 営業収益合計 | 3,863,213 |
| 営業費用 | |
| 受託者報酬 | 8,999 |
| 委託者報酬 | 331,451 |
| その他費用 | 2,173 |
| 営業費用合計 | 342,623 |
| 営業利益 | 3,520,590 |
| 経常利益 | 3,520,590 |
| 当期純利益 | 3,520,590 |
| 一部解約に伴う当期純利益金額の分配額 | 1,877,771 |
| 剰余金増加額又は欠損金減少額 | 6,598,079 |
| 当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額 | 6,598,079 |
| 剰余金減少額又は欠損金増加額 | 6,488,991 |
| 当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額 | 6,488,991 |
| 分配金 | 1 428,234 |
| 期末剰余金又は期末欠損金（ ） | 1,323,673 |

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

| 区 分 | 当 期 自 平成23年12月28日 至 平成24年6月20日 |
|----------------------------|---|
| 1. 有価証券の評価基準及び評価方法 | (1)投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。 (2)親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。 |
| 2. 収益及び費用の計上基準 | 受取配当金 投資信託受益証券の収益分配金を、原則として収益分配金落ちの売買が行われる日において、当該金額を計上しております。 |
| 3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項 | 特定期間 当ファンドの当特定期間は、平成23年12月28日から平成24年6月20日までとなっております。 |

(貸借対照表に関する注記)

| 区 分 | 当 期 平成24年6月20日現在 |
|---------------------|---------------------|
| 1. 1期首元本額 | 81,429,150円 |
| 期中追加設定元本額 | 55,062,809円 |
| 期中一部解約元本額 | 84,684,538円 |
| 2. 特定期間末日における受益権の総数 | 51,807,421口 |

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

| 区 分 | 当 期 自 平成23年12月28日 至 平成24年6月20日 |
|------------|--|
| 1 分配金の計算過程 | (自平成23年12月28日 至平成24年1月20日) 計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(200円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(5,845,464円)、投資信託約款に規定される収益調整金(105,386円)及び分配準備積立金(0円)より分配対象額は5,951,050円(1万口当たり742.22円)であり、分配を行っておりません。 |

（自平成24年1月21日 至平成24年2月20日）

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（405円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（1,613,707円）、投資信託約款に規定される収益調整金（3,969,688円）及び分配準備積立金（967,827円）より分配対象額は6,551,627円（1万口当たり1,444.62円）であり、分配を行っておりません。

（自平成24年2月21日 至平成24年3月21日）

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（253,585円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（4,557,600円）及び分配準備積立金（2,519,301円）より分配対象額は7,330,486円（1万口当たり1,253.31円）であり、うち116,978円（1万口当たり20円）を分配金額としております。

（自平成24年3月22日 至平成24年4月20日）

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（76,092円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（4,728,946円）及び分配準備積立金（2,362,657円）より分配対象額は7,167,695円（1万口当たり1,375.32円）であり、うち104,233円（1万口当たり20円）を分配金額としております。

（自平成24年4月21日 至平成24年5月21日）

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（90,122円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（3,390,770円）及び分配準備積立金（2,312,086円）より分配対象額は5,792,978円（1万口当たり1,120.40円）であり、うち103,409円（1万口当たり20円）を分配金額としております。

（自平成24年5月22日 至平成24年6月20日）

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（138,080円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（5,202,714円）及び分配準備積立金（2,298,799円）より分配対象額は7,639,593円（1万口当たり1,474.61円）であり、うち103,614円（1万口当たり20円）を分配金額としております。

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

| 区 分 | 当 期 自 平成23年12月28日 至 平成24年6月20日 |
|-----------------|--|
| 1. 金融商品に対する取組方針 | 当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。 |

| | |
|----------------------------|---|
| 2. 金融商品の内容及びリスク | 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、金銭債権及び金銭債務であり、その詳細を附属明細表に記載しております。なお、当ファンドは、投資信託受益証券及び親投資信託受益証券を通じて有価証券、デリバティブ取引に投資しております。これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動、為替変動、金利変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。 |
| 3. 金融商品に係るリスク管理体制 | 複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。 |
| 4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明 | 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。 |

金融商品の時価等に関する事項

| 区 分 | 当 期 平成24年6月20日現在 |
|--------------------------|--|
| 1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額 | 金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 |
| 2. 金融商品の時価の算定方法 | (1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。 |

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

| 種 類 | 当 期 平成24年6月20日現在 最終の計算期間の損益に 含まれた評価差額(円) |
|-----------|---|
| 投資信託受益証券 | 1,459,165 |
| 親投資信託受益証券 | 24 |
| 合計 | 1,459,189 |

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

| 当 期 平成24年6月20日現在 |
|---------------------|
| 該当事項はありません。 |

(関連当事者との取引に関する注記)

| 当 期 自 平成23年12月28日 至 平成24年6月20日 |
|---|
| 市場価格その他当該取引に係る価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はありません。 |

(1口当たり情報)

| 当 期 平成24年6月20日現在 |
|---------------------|
| |

| | |
|---------------------------|----------------------|
| 1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) | 1.0255円 (10,255円) |
|---------------------------|----------------------|

(4) 【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

| 種類 | 銘柄 | 券面総額 | 評価額 (円) | 備考 |
|--------------|-------------------------|-------------|------------|----|
| 投資信託受益証券 | HONG KONG HANG SENG JPY | 508,837.470 | 52,082,059 | |
| 投資信託受益証券 合計 | | | 52,082,059 | |
| 親投資信託受益証券 | ダイワ・マネープール・マザーファンド | 239,977 | 240,120 | |
| 親投資信託受益証券 合計 | | | 240,120 | |
| 合計 | | | 52,322,179 | |

投資信託受益証券及び親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

(参考)

当ファンドは、ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・グローバル・トラスト - 香港ハンセン指数ファンド(日本円クラス)」受益証券(円建)を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「投資信託受益証券」は、すべて同ファンドの受益証券であります。

また、当ファンドは、「ダイワ・マネープール・マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同マザーファンドの受益証券であります。

なお、同ファンド及び同マザーファンドの状況は次のとおりであります。

「ダイワ・グローバル・トラスト - 香港ハンセン指数ファンド(日本円クラス)」の状況

同ファンドは、平成24年5月31日に第1期計算期間が終了し、一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠した財務諸表が作成され、会計監査人による監査を受ける予定であります。

「ダイワ・マネープール・マザーファンド」の状況

前記「香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)ブラジルリアルコース」に記載のとおりであります。

2 【ファンドの現況】

香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）ブラジルリアルコース

【純資産額計算書】

平成24年7月31日

| | |
|------------------|--------------|
| 資産総額 | 451,009,652円 |
| 負債総額 | 343,183円 |
| 純資産総額（ - ） | 450,666,469円 |
| 発行済数量 | 486,644,536口 |
| 1 単位当たり純資産額（ / ） | 0.9261円 |

(参考) ダイワ・マネープール・マザーファンド

純資産額計算書

平成24年7月31日

| | |
|------------------|-------------|
| 資産総額 | 16,275,536円 |
| 負債総額 | 0円 |
| 純資産総額（ - ） | 16,275,536円 |
| 発行済数量 | 16,264,672口 |
| 1 単位当たり純資産額（ / ） | 1.0007円 |

香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）豪ドルコース

純資産額計算書

平成24年7月31日

| | |
|------------------|--------------|
| 資産総額 | 141,468,241円 |
| 負債総額 | 1,010,789円 |
| 純資産総額（ - ） | 140,457,452円 |
| 発行済数量 | 133,283,896口 |
| 1 単位当たり純資産額（ / ） | 1.0538円 |

(参考) ダイワ・マネープール・マザーファンド

前記「香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）ブラジルリアルコース」の記載と同じ。

香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）南アフリカランドコース

純資産額計算書

平成24年7月31日

| | |
|-----------------|--------------|
| 資産総額 | 246,539,899円 |
| 負債総額 | 87,997円 |
| 純資産総額(-) | 246,451,902円 |
| 発行済数量 | 246,916,794口 |
| 1単位当たり純資産額(/) | 0.9981円 |

(参考) ダイワ・マネープール・マザーファンド

前記「香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)ブラジルリアルコース」の記載と同じ。

香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)資源国通貨コース

純資産額計算書

平成24年7月31日

| | |
|-----------------|-------------|
| 資産総額 | 90,645,693円 |
| 負債総額 | 32,569円 |
| 純資産総額(-) | 90,613,124円 |
| 発行済数量 | 91,175,222口 |
| 1単位当たり純資産額(/) | 0.9938円 |

(参考) ダイワ・マネープール・マザーファンド

前記「香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)ブラジルリアルコース」の記載と同じ。

香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)香港ドルコース

純資産額計算書

平成24年7月31日

| | |
|-----------------|-------------|
| 資産総額 | 10,532,780円 |
| 負債総額 | 3,779円 |
| 純資産総額(-) | 10,529,001円 |
| 発行済数量 | 10,377,247口 |
| 1単位当たり純資産額(/) | 1.0146円 |

(参考) ダイワ・マネープール・マザーファンド

前記「香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)ブラジルリアルコース」の記載と同じ。

香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)日本円コース

純資産額計算書

平成24年7月31日

| | |
|-----------------|-------------|
| 資産総額 | 49,724,816円 |
| 負債総額 | 17,854円 |
| 純資産総額(-) | 49,706,962円 |
| 発行済数量 | 48,486,985口 |
| 1単位当たり純資産額(/) | 1.0252円 |

(参考) ダイワ・マネープール・マザーファンド

前記「香港ハンセン指数ファンド(通貨選択型)ブラジルリアルコース」の記載と同じ。

第4 【内国投資信託受益証券事務の概要】

(1) 名義書換えの手続き等

該当事項はありません。

(2) 受益者に対する特典

ありません。

(3) 譲渡制限の内容

譲渡制限はありません。

(4) 受益証券の再発行

受益者は、委託会社がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求、受益証券の再発行の請求を行なわないものとします。

(5) 受益権の譲渡

受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等に振替の申請をするものとします。

上記の申請のある場合には、上記の振替機関等は、当該譲渡にかかる譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、上記の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行なわれるよう通知するものとします。

上記の振替について、委託会社は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託会社が必要と認めるときまたはやむを得ない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

(6) 受益権の譲渡の対抗要件

受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託会社に対抗することができません。

(7) 受益権の再分割

委託会社は、受託会社と協議のうえ、社振法に定めるところにしたがい、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

受益権の再分割を行なうにあたり、各受益者が保有する受益権口数に1口未満の端数が生じることとなる場合には、当該端数を切り捨てるものとし、当該端数処理は口座管理機関ごとに行ないます。また、各受益者が保有することとなる受益権口数の合計数と、受益権の再分割の比率に基づき委託会社が計算する受益権口数の合計数との間に差が生じることとなる場合には、委託会社が計算する受益権口数を当該差分減らし、当該口数にかかる金額については益金として計上することとします。

(8) 償還金

償還金は、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（償還日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者として）に支払います。

(9) 質権口記載または記録の受益権の取扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払い、一部解約の実行の請求の受付け、一部解約金および償還金の支払い等については、約款の規定によるほか、民法その他の法令等にしたがって取扱われます。

第二部 【委託会社等の情報】

第1 【委託会社等の概況】

1 【委託会社等の概況】

a. 資本金の額

平成24年7月末日現在

資本金の額 151億7,427万2,500円

発行可能株式総数 799万9,980株

発行済株式総数 260万8,525株

過去5年間における資本金の額の増減：該当事項はありません。

b. 委託会社の機構

会社の意思決定機構

業務執行上重要な事項は、取締役会の決議をもって決定します。取締役は、株主総会において選任され、その任期は選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結のときまでです。

取締役会は、3名以内の代表取締役を選定し、代表取締役は、会社を代表し、取締役会の決議にしたがい業務を執行します。

また、取締役、役付執行役員等から構成される経営会議は、経営全般にかかる基本的事項を審議し、決定します。経営会議は、分科会を設置し、専門的な事項についてはその権限を委ねることができます。

投資運用の意思決定機構

投資運用の意思決定機構の概要は、以下のとおりとなっています。

イ. ファンド個別会議

ファンド運営上の諸方針を記載した基本計画書を経営会議の分科会であるファンド個別会議において審議・決定します。

ロ. 投資環境検討会

運用最高責任者であるC I O（Chief Investment Officer）が議長となり、原則として月1回投資環境検討会を開催し、投資環境について検討します。

ハ. 運用会議

C I Oが議長となり、原則として月1回運用会議を開催し、基本的な運用方針を決定します。

ニ. 運用部長・ファンドマネージャー

ファンドマネージャーは、基本計画書に定められた各ファンドの諸方針と運用会議で決定された基本的な運用方針にしたがって運用計画書を作成します。運用部長は、ファンドマネージャーから提示を受けた運用計画書について、基本計画書および運用会議の決定事項との整合性等を確認し、承認します。

ホ．ファンド評価会議、運用審査会議およびコンプライアンス・監査会議

ファンド評価会議は、運用実績・運用リスクの状況について、分析・検討を行ない、運用部にフィードバックします。また、運用審査会議は、経営会議の分科会として、ファンドの運用実績を把握し評価するとともに、取締役会から権限を委任され、ファンドの運用リスク管理の状況についての報告を受けて、必要事項を審議・決定します。

さらに、運用が適切に行なわれたかについて、経営会議の分科会であるコンプライアンス・監査会議において法令等の遵守状況に関する報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

2 【事業の内容及び営業の概況】

委託会社は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社として、証券投資信託の設定を行なうとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行なっています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務等の関連する業務を行なっています。

平成24年7月末日現在、委託会社が運用を行なっている投資信託（親投資信託を除きます。）は次のとおりです。

| 基本的性格 | 本数（本） | 純資産額の合計額（百万円） |
|------------|-------|---------------|
| 単位型株式投資信託 | 4 | 11,395 |
| 追加型株式投資信託 | 414 | 6,826,809 |
| 株式投資信託 合計 | 418 | 6,838,203 |
| 単位型公社債投資信託 | - | - |
| 追加型公社債投資信託 | 17 | 2,373,570 |
| 公社債投資信託 合計 | 17 | 2,373,570 |
| 総合計 | 435 | 9,211,774 |

3 【委託会社等の経理状況】

- 1．当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条の規定に基づき「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）に基づいて作成しております。
- 2．当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、事業年度（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）の財務諸表についての監査を、有限責任 あずさ監査法人により受けております。
- 3．財務諸表の記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

(1) 【貸借対照表】

（単位：千円）

| | 前事業年度 （平成23年3月31日現在） | 当事業年度 （平成24年3月31日現在） |
|-----------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金・預金 | 1,820,358 | 3,745,233 |
| 有価証券 | 18,987,155 | 19,655,070 |
| 前払金 | 579 | 314 |
| 前払費用 | 24,840 | 90,562 |
| 未収入金 | 6,925 | 11,931 |
| 未収委託者報酬 | 6,933,076 | 6,516,540 |
| 未収収益 | 41,963 | 55,102 |
| 貯蔵品 | 23,337 | 11,888 |
| 繰延税金資産 | 286,080 | 630,508 |
| その他 | 501,484 | 190,450 |
| 流動資産計 | 28,625,803 | 30,907,602 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 1 | 1,003,450 |
| 建物（純額） | 332,407 | 513,162 |
| 器具備品（純額） | 634,782 | 484,571 |
| 建設仮勘定 | - | 5,715 |
| 無形固定資産 | 2,414,530 | 2,870,849 |
| ソフトウェア | 1,364,617 | 2,173,517 |
| ソフトウェア仮勘定 | 1,037,069 | 684,878 |
| 電話加入権 | 11,850 | 11,850 |
| 商標権 | 396 | 132 |
| その他 | 596 | 471 |
| 投資その他の資産 | 18,825,476 | 16,375,520 |
| 投資有価証券 | 12,339,547 | 10,034,136 |
| 関係会社株式 | 5,141,069 | 5,141,069 |
| 出資金 | 142,215 | 136,315 |
| 従業員に対する長期貸付金 | 99,889 | 112,674 |
| 差入保証金 | 609,781 | 542,920 |

| | | | | |
|-----------|---|------------|---|------------|
| 長期前払費用 | | 7,607 | | 8,478 |
| 投資不動産（純額） | 1 | 490,114 | 1 | 409,876 |
| 貸倒引当金 | | 4,750 | | 9,950 |
| 固定資産計 | | 22,207,196 | | 20,249,820 |
| 資産合計 | | 50,833,000 | | 51,157,423 |

（単位：千円）

| | 前事業年度 （平成23年3月31日現在） | 当事業年度 （平成24年3月31日現在） |
|-----------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 預り金 | 46,454 | 55,551 |
| 未払金 | 6,501,119 | 7,194,946 |
| 未払収益分配金 | 27,599 | 17,954 |
| 未払償還金 | 119,838 | 88,334 |
| 未払手数料 | 3,725,807 | 3,386,380 |
| その他未払金 | 2,627,872 | 3,702,277 |
| 未払費用 | 2,395,029 | 3,313,011 |
| 未払法人税等 | 895,379 | 963,539 |
| 未払消費税等 | 383,973 | 229,365 |
| 賞与引当金 | 263,000 | 307,000 |
| 本社移転関連費用引当金 | - | 346,425 |
| 資産除去債務 | - | 292,000 |
| その他 | - | 87,535 |
| 流動負債計 | 10,484,955 | 12,789,375 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 1,410,635 | 1,670,344 |
| 役員退職慰労引当金 | 59,160 | 68,068 |
| 繰延税金負債 | 1,977,913 | 1,782,558 |
| 固定負債計 | 3,447,708 | 3,520,970 |
| 負債合計 | 13,932,663 | 16,310,345 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 15,174,272 | 15,174,272 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 11,495,727 | 11,495,727 |
| 資本剰余金合計 | 11,495,727 | 11,495,727 |
| 利益剰余金 | | |
| 利益準備金 | 374,297 | 374,297 |
| その他利益剰余金 | | |
| 繰越利益剰余金 | 9,874,176 | 7,715,116 |
| 利益剰余金合計 | 10,248,473 | 8,089,414 |
| 株主資本合計 | 36,918,473 | 34,759,414 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 104,040 | 33,879 |
| 繰延ヘッジ損益 | 85,902 | 53,783 |
| 評価・換算差額等合計 | 18,137 | 87,663 |

| | | |
|----------|------------|------------|
| 純資産合計 | 36,900,336 | 34,847,077 |
| 負債・純資産合計 | 50,833,000 | 51,157,423 |

(2) 【損益計算書】

(単位:千円)

| | 前事業年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日) | 当事業年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日) |
|--------------|---|---|
| 営業収益 | | |
| 委託者報酬 | 72,303,483 | 72,931,048 |
| その他営業収益 | 345,390 | 401,212 |
| 営業収益計 | 72,648,873 | 73,332,260 |
| 営業費用 | | |
| 支払手数料 | 41,437,322 | 41,050,089 |
| 広告宣伝費 | 967,991 | 709,853 |
| 公告費 | 1,256 | 699 |
| 受益証券発行費 | 3 | 74 |
| 調査費 | 6,192,360 | 7,993,144 |
| 調査費 | 831,159 | 878,635 |
| 委託調査費 | 5,361,200 | 7,114,509 |
| 委託計算費 | 718,414 | 733,156 |
| 営業雑経費 | 1,806,147 | 1,651,996 |
| 通信費 | 287,454 | 205,421 |
| 印刷費 | 674,758 | 472,511 |
| 協会費 | 47,465 | 52,117 |
| 諸会費 | 10,778 | 11,971 |
| その他営業雑経費 | 785,691 | 909,973 |
| 営業費用計 | 51,123,496 | 52,139,015 |
| 一般管理費 | | |
| 給料 | 4,192,794 | 4,452,711 |
| 役員報酬 | 157,200 | 209,630 |
| 給料・手当 | 3,545,655 | 3,646,155 |
| 賞与 | 226,939 | 289,926 |
| 賞与引当金繰入額 | 263,000 | 307,000 |
| 福利厚生費 | 619,459 | 728,342 |
| 交際費 | 68,476 | 71,356 |
| 寄付金 | 638 | 591 |
| 旅費交通費 | 266,082 | 215,939 |
| 租税公課 | 169,305 | 171,533 |
| 不動産賃借料 | 680,147 | 727,939 |
| 退職給付費用 | 334,864 | 422,030 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 28,500 | 27,988 |
| 固定資産減価償却費 | 897,352 | 1,107,222 |
| 諸経費 | 1,170,318 | 1,077,041 |
| 一般管理費計 | 8,427,939 | 9,002,696 |
| 営業利益 | 13,097,437 | 12,190,548 |

(単位:千円)

| | 前事業年度 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日) | | 当事業年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日) | |
|--------------|--------------------------------------|------------|--------------------------------------|------------|
| 営業外収益 | | | | |
| 受取配当金 | 1 | 573,514 | | 74,753 |
| 有価証券利息 | | 23,029 | | 13,537 |
| 受取利息 | | 2,673 | | 2,771 |
| 時効成立分配金・償還金 | | 149,120 | | 42,189 |
| 投資有価証券売却益 | | 38,591 | | 117,695 |
| 有価証券償還益 | | 3,185 | | 68,106 |
| その他 | | 41,908 | | 54,685 |
| 営業外収益計 | | 832,022 | | 373,739 |
| 営業外費用 | | | | |
| 投資有価証券売却損 | | 7,515 | | 95,389 |
| 有価証券償還損 | | 277 | | 67,873 |
| その他 | | 180,501 | | 67,829 |
| 営業外費用計 | | 188,294 | | 231,091 |
| 経常利益 | | 13,741,165 | | 12,333,196 |
| 特別利益 | | | | |
| 貸倒引当金戻入額 | | 614,232 | | - |
| 特別利益計 | | 614,232 | | - |
| 特別損失 | | | | |
| 固定資産除却損 | 2 | 1,067 | 2 | 4,871 |
| 減損損失 | 3 | 35,468 | 3 | 76,217 |
| 有価証券評価損 | | - | | 211,376 |
| 本社移転関連費用 | | - | | 346,425 |
| その他 | | 22,059 | | 19,547 |
| 特別損失計 | | 58,595 | | 658,438 |
| 税引前当期純利益 | | 14,296,802 | | 11,674,757 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 4,834,931 | | 5,254,642 |
| 法人税等調整額 | | 256,140 | | 602,832 |
| 法人税等合計 | | 5,091,072 | | 4,651,809 |
| 当期純利益 | | 9,205,730 | | 7,022,948 |

(3) 【株主資本等変動計算書】

(単位:千円)

| | 前事業年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日) | 当事業年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日) |
|----------|---|---|
| 株主資本 | | |
| 資本金 | | |
| 当期首残高 | 15,174,272 | 15,174,272 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | - | - |
| 当期末残高 | 15,174,272 | 15,174,272 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | | |
| 当期首残高 | 11,495,727 | 11,495,727 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | - | - |
| 当期末残高 | 11,495,727 | 11,495,727 |
| 資本剰余金合計 | | |
| 当期首残高 | 11,495,727 | 11,495,727 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | - | - |
| 当期末残高 | 11,495,727 | 11,495,727 |
| 利益剰余金 | | |
| 利益準備金 | | |
| 当期首残高 | 374,297 | 374,297 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | - | - |
| 当期末残高 | 374,297 | 374,297 |
| その他利益剰余金 | | |
| 別途積立金 | | |
| 当期首残高 | 2,800,000 | - |
| 当期変動額 | | |
| 別途積立金の取崩 | 2,800,000 | - |
| 当期変動額合計 | 2,800,000 | - |
| 当期末残高 | - | - |
| 繰越利益剰余金 | | |
| 当期首残高 | 9,085,103 | 9,874,176 |
| 当期変動額 | | |
| 別途積立金の取崩 | 2,800,000 | - |
| 剰余金の配当 | 11,216,657 | 9,182,008 |
| 当期純利益 | 9,205,730 | 7,022,948 |
| 当期変動額合計 | 789,072 | 2,159,059 |
| 当期末残高 | 9,874,176 | 7,715,116 |
| 利益剰余金合計 | | |
| 当期首残高 | 12,259,401 | 10,248,473 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | 11,216,657 | 9,182,008 |

| | | |
|---------|------------|-----------|
| 当期純利益 | 9,205,730 | 7,022,948 |
| 当期変動額合計 | 2,010,927 | 2,159,059 |
| 当期末残高 | 10,248,473 | 8,089,414 |

(単位:千円)

| | 前事業年度 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日) | 当事業年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日) |
|-------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 株主資本合計 | | |
| 当期首残高 | 38,929,401 | 36,918,473 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | 11,216,657 | 9,182,008 |
| 当期純利益 | 9,205,730 | 7,022,948 |
| 当期変動額合計 | 2,010,927 | 2,159,059 |
| 当期末残高 | 36,918,473 | 34,759,414 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | | |
| 当期首残高 | 18,061 | 104,040 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | 85,978 | 137,920 |
| 当期変動額合計 | 85,978 | 137,920 |
| 当期末残高 | 104,040 | 33,879 |
| 繰延ヘッジ損益 | | |
| 当期首残高 | 55,712 | 85,902 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | 141,615 | 32,119 |
| 当期変動額合計 | 141,615 | 32,119 |
| 当期末残高 | 85,902 | 53,783 |
| 評価・換算差額等合計 | | |
| 当期首残高 | 73,774 | 18,137 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | 55,636 | 105,800 |
| 当期変動額合計 | 55,636 | 105,800 |
| 当期末残高 | 18,137 | 87,663 |
| 純資産合計 | | |
| 当期首残高 | 38,855,627 | 36,900,336 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | 11,216,657 | 9,182,008 |
| 当期純利益 | 9,205,730 | 7,022,948 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | 55,636 | 105,800 |
| 当期変動額合計 | 1,955,290 | 2,053,258 |
| 当期末残高 | 36,900,336 | 34,847,077 |

重要な会計方針

1．有価証券の評価基準及び評価方法

（１）子会社及び関連会社株式

移動平均法による原価法により計上しております。

（２）その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

2．デリバティブの評価基準及び評価方法

時価法により計上しております。

3．固定資産の減価償却の方法

（１）有形固定資産及び投資不動産

（リース資産を除く）

定率法によっております。

なお、主な耐用年数は以下の通りであります。

| | |
|------|-------|
| 建物 | 6～47年 |
| 器具備品 | 3～20年 |

（２）無形固定資産（リース資産を除く）

定額法によっております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（５年）に基づいております。

（３）長期前払費用

定額法によっております。

4．引当金の計上基準

（１）貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率法により、貸倒懸念債権及び破産更生債権等については財務内容評価法により計上しております。

（２）賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上しております。

（３）退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当社の退職金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。これは、当社の退職金は将来の昇給等による給付額の変動がなく、貢献度、能力及び実績等に依りて各事業年度ごとに各人別の勤務費用が確定するためであります。

また、執行役員・参与についても、当社の退職金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。

（４）役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、当社の役員退職慰労金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。

（５）本社移転関連費用引当金

本社移転に伴い発生する損失に備えるため、発生が見込まれる固定資産除却損、移転費用について合理的な見積額を計上しております。

５．ヘッジ会計の方法

（１）ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理によってヘッジ会計を適用しておりましたが、ヘッジ会計の要件を満たさなくなりましたので当事業年度末をもってヘッジ会計の適用を中止しております。

（２）ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段・・・株価指数先物

ヘッジ対象・・・投資有価証券

（３）ヘッジ方針

価格変動リスクを軽減する目的で、対象資産である投資有価証券の保有残高の範囲内でヘッジを行っております。

（４）ヘッジ有効性評価の方法

原則として四半期毎にヘッジ手段の時価変動の累計とヘッジ対象の時価変動の累計を比較し、両者の変動額等を基礎にして、ヘッジ手段の有効性評価を行っております。

６．その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

（１）消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜処理によっております。

（２）連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

表示方法の変更

（損益計算書）

１．前事業年度において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「有価証券償還益」は重要性が増し

ため当事業年度より区分掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた45,094千円は、「有価証券償還益」3,185千円、「その他」41,908千円として組替えております。

2. 前事業年度において、「営業外費用」の「その他」に含めていた「有価証券償還損」は重要性が増したため、当事業年度より区分掲記することとしました。また、前事業年度において区分掲記していた「営業外費用」の「時効成立後支払分配金・償還金」、「貯蔵品廃棄損」及び「投資不動産管理費用」は、重要性が低いため当事業年度より「その他」に含めて表示しております。

この結果、前事業年度の損益計算書において、「営業外費用」の「時効成立後支払分配金・償還金」に表示していた98,613千円、「貯蔵品廃棄損」に表示していた25,533千円、「投資不動産管理費用」に表示していた20,028千円、及び「その他」に表示していた36,603千円は、「有価証券償還損」277千円、「その他」180,501千円として組替えております。

3. 前事業年度において区分掲記していた「特別損失」の「ゴルフ会員権評価損」は、重要性が低いため当事業年度より「その他」に含めて表示しております。

この結果、前事業年度の損益計算書において、「特別損失」の「ゴルフ会員権評価損」に表示していた21,290千円は、「その他」として組替えております。

追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当事業年度の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

注記事項

(貸借対照表関係)

1 有形固定資産及び投資不動産の減価償却累計額

| | 前事業年度 (平成23年3月31日現在) | 当事業年度 (平成24年3月31日現在) |
|--------|-------------------------|-------------------------|
| 建物 | 854,118千円 | 986,089千円 |
| 器具備品 | 2,129,756千円 | 2,234,738千円 |
| 投資建物 | 700,991千円 | 712,587千円 |
| 投資器具備品 | 28,141千円 | 22,398千円 |

2 関係会社項目

関係会社に対する資産及び負債には区分掲記されたもののほか次のものがあります。

| | 前事業年度 (平成23年3月31日現在) | 当事業年度 (平成24年3月31日現在) |
|-----|-------------------------|-------------------------|
| 未払金 | 2,591,913千円 | 3,577,654千円 |

3 保証債務

前事業年度（平成23年3月31日現在）

子会社であるDaiwa Asset Management(Singapore)Ltd.の債務1,384,110千円に対して保証を行っております。

当事業年度（平成24年3月31日現在）

子会社であるDaiwa Asset Management(Singapore)Ltd.の債務1,372,770千円に対して保証を行っております。

（損益計算書関係）

1 関係会社項目

関係会社に対する営業外収益には区分掲記されたもののほか次のものがあります。

| | 前事業年度 （自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日） | 当事業年度 （自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日） |
|-------|--|--|
| 受取配当金 | 460,584千円 | - |

2 固定資産除却損の内容は次のとおりであります。

| | 前事業年度 （自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日） | 当事業年度 （自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日） |
|-------|--|--|
| 器具備品 | 1,067千円 | 4,812千円 |
| 投資不動産 | - | 59千円 |
| 計 | 1,067千円 | 4,871千円 |

3 減損損失に関する注記

前事業年度（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

当事業年度において、当社は以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

場所 千葉県浦安市
用途 賃貸等不動産（浦安寮）
種類 建物及び土地

当社は、浦安寮を大和証券グループ全体の補完的な寮として位置付け、本社と浦安寮の2つのグループングとしております。

浦安寮については、営業活動から生ずるキャッシュ・フローが継続してマイナスとなっており、減損の兆候が認められたため、当該資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（35,468千円）として特別損失に計上しております。その内訳は、建物26,868千円及び土地8,600千円です。

なお、当該資産グループの回収可能価額は正味売却価額により測定しており、不動産鑑定評価額により

評価しております。

当事業年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

当事業年度において、当社は以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

場所 千葉県浦安市
用途 賃貸等不動産（浦安寮）
種類 建物及び土地

当社は、浦安寮を大和証券グループ全体の補完的な寮として位置付け、本社と浦安寮の2つのグループピ
ングとしております。

浦安寮については、営業活動から生ずるキャッシュ・フローが継続してマイナスとなっており、減損の
兆候が認められたため、当該資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失
（76,217千円）として特別損失に計上しております。その内訳は、建物17,417千円及び土地58,800千円で
あります。

なお、当該資産グループの回収可能価額は正味売却価額により測定しており、不動産鑑定評価額により
評価しております。

（株主資本等変動計算書関係）

前事業年度（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

1．発行済株式の種類及び総数に関する事項

（単位：千株）

| | 当事業年度期首 株式数 | 当事業年度 増加株式数 | 当事業年度 減少株式数 | 当事業年度末 株式数 |
|-------|----------------|----------------|----------------|---------------|
| 発行済株式 | | | | |
| 普通株式 | 2,608 | - | - | 2,608 |
| 合 計 | 2,608 | - | - | 2,608 |

2．配当に関する事項

（1）配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 剰余金の配当 の総額 （百万円） | 1株当たり 配当額 （円） | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|------------------------|---------------------|----------------|----------------|
| 平成22年6月25日 定時株主総会 | 普通株式 | 11,216 | 4,300 | 平成22年 3月31日 | 平成22年 6月28日 |

（2）基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

平成23年6月24日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次の通り提
案しております。

剰余金の配当の総額 9,182百万円
配当の原資 利益剰余金
1株当たり配当額 3,520円
基準日 平成23年3月31日

効力発生日 平成23年6月27日

当事業年度（自平成23年4月1日至平成24年3月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

（単位：千株）

| | 当事業年度期首 株式数 | 当事業年度 増加株式数 | 当事業年度 減少株式数 | 当事業年度末 株式数 |
|-------|----------------|----------------|----------------|---------------|
| 発行済株式 | | | | |
| 普通株式 | 2,608 | - | - | 2,608 |
| 合計 | 2,608 | - | - | 2,608 |

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 剰余金の配当 の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|------------------------|---------------------|----------------|----------------|
| 平成23年6月24日 定時株主総会 | 普通株式 | 9,182 | 3,520 | 平成23年 3月31日 | 平成23年 6月27日 |

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

平成24年6月25日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次の通り提案しております。

剰余金の配当の総額 7,022百万円
 配当の原資 利益剰余金
 1株当たり配当額 2,692円
 基準日 平成24年3月31日
 効力発生日 平成24年6月26日

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、投資運用業及び投資助言・代理業などの資産運用に関する事業を行っております。資金運用については安全性の高い金融商品に限定しております。また、デリバティブ取引は、事業遂行上生じた市場リスクヘッジのために利用し、投機的な取引は行いません。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資信託に係る運用報酬の未決済額である未収委託者報酬は、運用するファンドの財産が信託されており、「投資信託及び投資法人に関する法律」、その他関係法令等により一定の制限が設けられているためリスクは極めて軽微であります。有価証券及び投資有価証券は、投資信託、株式であります。投資信託は余資運用及び事業推進目的で保有しており、価格変動リスク及び為替変動リスクに晒されております。株式は上場株式、非上場株式並びに子会社株式を保有しており、上場株式は価格変動リスク及び発行体の信用リスクに、非上場株式及び子会社株式は発行体の信用リスクに晒されて

おります。

未払手数料は投資信託の販売に係る手数料の未払額であります。その他未払金は主に連結納税の親会社へ支払う法人税の未払額であります。未払費用は主にファンド運用に係る業務を委託したこと等により発生する費用の未払額であります。これらは、そのほとんどが1年以内の支払期日であります。

デリバティブ取引は株式先物取引を行っております。当社ではこれをヘッジ手段として、ヘッジ対象である投資有価証券に関わる価格変動リスクをヘッジしており、繰延ヘッジ処理によってヘッジ会計を適用しておりましたが、ヘッジ会計の要件を満たさなくなりましたので当事業年度末をもってヘッジ会計の適用を中止しております。なお、ヘッジ会計に関するヘッジ手段とヘッジ対象、ヘッジ方針、ヘッジ有効性評価の方法等については、前述の重要な会計方針「5.ヘッジ会計の方法」をご参照下さい。

（3）金融商品に係るリスク管理体制

市場リスクの管理

（ ）為替変動リスクの管理

当社は、財務リスク管理規程に従い、個別の案件ごとに為替変動リスク管理の検討を行っております。

（ ）価格変動リスクの管理

当社は、財務リスク管理規程に従い、定期的に時価や発行体の財務状況等を把握し財務会議において報告を行っております。また、個別の案件ごとに価格変動リスク管理の検討を行っており、保有している投資信託の一部について株式先物取引を利用し価格変動リスクをヘッジしております。なお、繰延ヘッジ処理によってヘッジ会計を適用しておりましたが、ヘッジ会計の要件を満たさなくなりましたので当事業年度末をもってヘッジ会計の適用を中止し、中止時点までのヘッジ手段に係る損益は、ヘッジ対象に係る損益が認識されるまで繰り延べております。

（ ）デリバティブ取引

デリバティブ取引に関しては、ヘッジ手段に用いる場合にのみ限定しております。取引の執行・管理については財務リスク管理規程に従って行っており、取引の状況を財務会議において行っております。

信用リスクの管理

発行体の信用リスクは財務リスク管理規程に従い、定期的に財務状況等を把握し財務会議において報告を行っております。

（4）金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

「2.金融商品の時価等に関する事項」におけるデリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

2.金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません（<注2>参照のこと）。

前事業年度（平成23年3月31日現在）

（単位：千円）

| | 貸借対照表 計上額 | 時価 | 差額 |
|----------------------------|--------------|------------|----|
| (1) 現金・預金 | 1,820,358 | 1,820,358 | - |
| (2) 未収委託者報酬 | 6,933,076 | 6,933,076 | - |
| (3) 有価証券及び投資有価証券 其他有価証券 | 30,154,565 | 30,154,565 | - |
| 資産計 | 38,908,001 | 38,908,001 | - |
| (1) 未払手数料 | 3,725,807 | 3,725,807 | - |
| (2) その他未払金 | 2,627,872 | 2,627,872 | - |
| (3) 未払費用(*1) | 1,951,710 | 1,951,710 | - |
| 負債計 | 8,305,391 | 8,305,391 | - |
| デリバティブ取引(*2) | 183,430 | 183,430 | - |

(*1) 未払費用のうち金融商品で時価開示の対象となるものを表示しております。

(*2) デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については、()で示しております。

当事業年度(平成24年3月31日現在)

(単位:千円)

| | 貸借対照表 計上額 | 時価 | 差額 |
|----------------------------|--------------|------------|----|
| (1) 現金・預金 | 3,745,233 | 3,745,233 | - |
| (2) 未収委託者報酬 | 6,516,540 | 6,516,540 | - |
| (3) 有価証券及び投資有価証券 其他有価証券 | 28,525,516 | 28,525,516 | - |
| 資産計 | 38,787,291 | 38,787,291 | - |
| (1) 未払手数料 | 3,386,380 | 3,386,380 | - |
| (2) その他未払金 | 3,702,277 | 3,702,277 | - |
| (3) 未払費用(*1) | 2,764,494 | 2,764,494 | - |
| 負債計 | 9,853,152 | 9,853,152 | - |
| デリバティブ取引(*2) | (87,535) | (87,535) | - |

(*1) 未払費用のうち金融商品で時価開示の対象となるものを表示しております。

(*2) デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については、()で示しております。

<注1>金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

資 産

(1) 現金・預金、及び(2) 未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3) 有価証券及び投資有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっております。また、投資信託については、基準価額によっております。また、保有目的ごとの有価証券に関する事項については、注記事項「有価証券

関係」をご参照下さい。

負債

(1) 未払手数料、(2) その他未払金、並びに(3) 未払費用

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

デリバティブ取引

注記事項（デリバティブ取引関係）をご参照下さい。

<注2>時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

（単位：千円）

| 区分 | 前事業年度 （平成23年3月31日現在） | 当事業年度 （平成24年3月31日現在） |
|----------------------------|-------------------------|-------------------------|
| (1) その他有価証券 非上場株式 | 1,172,137 | 1,163,689 |
| (2) 子会社株式及び関連会社株式 子会社株式 | 5,141,069 | 5,141,069 |
| (3) 差入保証金 | 609,781 | 542,920 |

これらは、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるものであるため、時価開示の対象としておりません。

<注3>金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

前事業年度（平成23年3月31日現在）

（単位：千円）

| | 1年以内 | 1年超 5年以内 | 5年超 10年以内 | 10年超 |
|-----------------------------------|-----------|-------------|--------------|------|
| 現金・預金 | 1,820,358 | - | - | - |
| 未収委託者報酬 | 6,933,076 | - | - | - |
| 有価証券及び投資有価証券 その他有価証券のうち満期があるもの | - | 1,588,634 | 4,868,529 | - |
| 合計 | 8,753,434 | 1,588,634 | 4,868,529 | - |

当事業年度（平成24年3月31日現在）

（単位：千円）

| | 1年以内 | 1年超 5年以内 | 5年超 10年以内 | 10年超 |
|-----------------------------------|------------|-------------|--------------|------|
| 現金・預金 | 3,745,233 | - | - | - |
| 未収委託者報酬 | 6,516,540 | - | - | - |
| 有価証券及び投資有価証券 その他有価証券のうち満期があるもの | 836,311 | 2,069,432 | 4,320,954 | - |
| 合計 | 11,098,084 | 2,069,432 | 4,320,954 | - |

（有価証券関係）

1．子会社株式及び関連会社株式

前事業年度（平成23年3月31日現在）

子会社株式（貸借対照表計上額 5,141,069千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

当事業年度（平成24年3月31日現在）

子会社株式（貸借対照表計上額 5,141,069千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

2．その他有価証券

前事業年度（平成23年3月31日現在）

| | 貸借対照表計上額 (千円) | 取得原価 (千円) | 差額 (千円) |
|--------------------------|------------------|--------------|------------|
| 貸借対照表計上額が取得 原価を超えるもの | | | |
| その他 | | | |
| 証券投資信託の受益証券 | 4,822,299 | 4,383,992 | 438,306 |
| 小計 | 4,822,299 | 4,383,992 | 438,306 |
| 貸借対照表計上額が取得 原価を超えないもの | | | |
| (1) 株式 | 54,283 | 55,101 | 818 |
| (2) その他 | | | |
| 証券投資信託の受益証券 | 25,277,982 | 25,890,888 | 612,906 |
| 小計 | 25,332,266 | 25,945,990 | 613,724 |
| 合計 | 30,154,565 | 30,329,983 | 175,417 |

（注）非上場株式（貸借対照表計上額 1,172,137千円）については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

当事業年度（平成24年3月31日現在）

| | 貸借対照表計上額 (千円) | 取得原価 (千円) | 差額 (千円) |
|--------------------------|------------------|--------------|------------|
| 貸借対照表計上額が取得 原価を超えるもの | | | |
| その他 | | | |
| 証券投資信託の受益証券 | 6,864,572 | 6,497,516 | 367,056 |
| 小計 | 6,864,572 | 6,497,516 | 367,056 |
| 貸借対照表計上額が取得 原価を超えないもの | | | |
| (1) 株式 | 49,871 | 55,101 | 5,230 |

| | | | |
|------------------------|------------|------------|---------|
| (2) その他 証券投資信託の受益証券 | 21,611,072 | 21,918,194 | 307,122 |
| 小計 | 21,660,944 | 21,973,296 | 312,352 |
| 合計 | 28,525,516 | 28,470,813 | 54,703 |

(注) 非上場株式（貸借対照表計上額 1,163,689千円）については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

3. 売却したその他有価証券

前事業年度（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

| 種類 | 売却額 (千円) | 売却益の合計額 (千円) | 売却損の合計額 (千円) |
|--------------------|-------------|-----------------|-----------------|
| その他 証券投資信託の受益証券 | 21,607,835 | 38,591 | 7,515 |
| 合計 | 21,607,835 | 38,591 | 7,515 |

当事業年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

| 種類 | 売却額 (千円) | 売却益の合計額 (千円) | 売却損の合計額 (千円) |
|--------------------|-------------|-----------------|-----------------|
| その他 証券投資信託の受益証券 | 16,215,351 | 117,695 | 95,389 |
| 合計 | 16,215,351 | 117,695 | 95,389 |

4. 減損処理を行った有価証券

当事業年度において、その他有価証券（その他）について211,376千円の減損処理を行っておりません。

(デリバティブ取引関係)

1. ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引について、取引の対象物の種類ごとの決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額、時価及び評価損益並びに当該時価の算定方法は、次のとおりであります。

前事業年度（平成23年3月31日現在）

該当事項はありません。

当事業年度（平成24年3月31日現在）

株式関連

(単位：千円)

| 区分 | デリバティブ 取引の種類等 | 契約額等 | | 時価 | 評価損益 |
|----|------------------|-------|--|----|------|
| | | うち1年超 | | | |
| | | | | | |

| | | | | | |
|-------------------|---------------------------|-----------|---|--------|--------|
| 市場取引 以外の 取引 | 株価指数先物取引 売建 TOPIX先物 | 1,669,315 | - | 87,535 | 87,535 |
| 合計 | | 1,669,315 | - | 87,535 | 87,535 |

（注）時価の算定方法は、東京証券取引所から公表された価格により評価しております。

2. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引について、ヘッジ会計の方法ごとの決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額等は次のとおりであります。

前事業年度（平成23年3月31日現在）

株式関連

（単位：千円）

| ヘッジ 会計の 方法 | デリバティブ 取引の種類等 | 主な ヘッジ 対象 | 契約額等 | | 時価 |
|------------------|---------------------------|-----------------|-----------|-------|---------|
| | | | | うち1年超 | |
| 原則的 処理 方法 | 株価指数先物取引 売建 TOPIX先物 | 投資 有価証券 | 2,435,030 | - | 183,430 |
| 合計 | | | 2,435,030 | - | 183,430 |

（注）時価の算定方法は、東京証券取引所から公表された価格により評価しております。

当事業年度（平成24年3月31日現在）

該当事項はありません。

（退職給付関係）

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、一時払いの退職金制度、及び確定拠出年金制度を併用しております。

2. 退職給付債務に関する事項

| | 前事業年度 （平成23年3月31日現在） | 当事業年度 （平成24年3月31日現在） |
|---------|-------------------------|-------------------------|
| 退職給付債務 | 1,410,635千円 | 1,670,344千円 |
| 退職給付引当金 | 1,410,635千円 | 1,670,344千円 |

3. 退職給付費用に関する事項

| | 前事業年度 （自平成22年4月1日 至平成23年3月31日） | 当事業年度 （自平成23年4月1日 至平成24年3月31日） |
|--------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 勤務費用 | 191,300千円 | 261,341千円 |
| その他 | 143,564千円 | 160,689千円 |
| 退職給付費用 | 334,864千円 | 422,030千円 |

（注）「その他」は、確定拠出年金への掛金支払額であります。

（税効果会計関係）

1．繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳

（単位：千円）

| | 前事業年度（平成23年3月31日 現在） | 当事業年度（平成24年3月31日 現在） |
|--------------|-------------------------|-------------------------|
| 繰延税金資産 | | |
| 減損損失 | 928,499 | 838,826 |
| 退職給付引当金 | 573,987 | 599,247 |
| 連結法人間取引（譲渡損） | 294,850 | 258,256 |
| 未払事業税 | 212,062 | 212,753 |
| 投資有価証券評価損 | 216,468 | 191,138 |
| 本社移転関連費用引当金 | - | 131,676 |
| 賞与引当金 | 107,014 | 116,690 |
| 出資金評価損 | 128,238 | 114,425 |
| 資産除去債務 | - | 110,989 |
| 有価証券評価損 | - | 80,344 |
| 器具備品 | 38,093 | 33,365 |
| その他有価証券評価差額金 | 125,395 | 27,099 |
| 役員退職慰労引当金 | 24,072 | 25,804 |
| 未払社会保険料 | 11,722 | 14,071 |
| その他 | 28,763 | 27,487 |
| 繰延税金資産小計 | 2,689,169 | 2,782,177 |
| 評価性引当額 | 1,547,609 | 1,379,241 |
| 繰延税金資産合計 | 1,141,560 | 1,402,935 |
| 繰延税金負債 | | |
| 連結法人間取引（譲渡益） | 2,772,301 | 2,428,233 |
| 建物（資産除去債務） | - | 76,837 |
| 繰延ヘッジ損益 | 58,934 | 29,783 |
| その他有価証券評価差額金 | - | 18,241 |
| その他 | 2,156 | 1,888 |
| 繰延税金負債合計 | 2,833,392 | 2,554,985 |
| 繰延税金負債の純額 | 1,691,832 | 1,152,049 |

2．法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

（単位：％）

| | 前事業年度 （平成23年3月31日現在） | 当事業年度 （平成24年3月31日現在） |
|----------------------|-------------------------|-------------------------|
| 法定実効税率 | 40.69 | - |
| （調整） | | |
| 交際費等永久に損金に算入されない項目 | 0.21 | - |
| 受取配当金等永久に益金に算入されない項目 | 1.25 | - |
| 住民税均等割 | 0.02 | - |
| 評価性引当額 | 4.14 | - |

| | | |
|-------------------|-------|---|
| その他 | 0.07 | - |
| 税効果会計適用後の法人税等の負担率 | 35.60 | - |

（注）当事業年度は、法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

3．法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する事業年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.7%から平成24年4月1日に開始する事業年度から平成26年4月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については38.0%に、平成27年4月1日に開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異については、35.6%となります。

この税率の変更により繰延税金負債の純額（繰延税金資産の金額を控除した金額）が211,604千円減少し、法人税等調整額が205,949千円減少しております。

（資産除去債務関係）

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

1．当該資産除去債務の概要

本社の不動産賃貸借契約に係る原状回復義務であります。

2．当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を1年1ヶ月と見積り、過去の不動産賃貸借契約に係る原状回復費用の実績をもとに資産除去債務の金額を計算しております。なお、割引計算による金額の重要性が乏しいことから割引前の見積り額を計上しております。

3．当該資産除去債務の総額の増減

（単位：千円）

| 変動の内容 | 前事業年度 （自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日） | 当事業年度 （自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日） |
|--------------|--|--|
| 期首残高 | - | - |
| 見積りの変更に伴う増加額 | - | 292,000 |
| 期末残高 | - | 292,000 |

4．当該資産除去債務の金額の見積りの変更

当事業年度において、平成24年度中に予定している本社移転計画により、合理的な見積りが可能となったため、当該資産除去債務292,000千円を貸借対照表に計上しております。

（セグメント情報等）

[セグメント情報]

当社は、資産運用に関する事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

[関連情報]

1．サービスごとの情報

単一のサービス区分の営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2．地域ごとの情報

(1) 営業収益

内国籍投資信託又は本邦顧客からの営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3．主要な顧客ごとの情報

営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

前事業年度（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

（単位：千円）

| | 資産運用に関する事業 | 合計 |
|------|------------|--------|
| 減損損失 | 35,468 | 35,468 |

当事業年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

（単位：千円）

| | 資産運用に関する事業 | 合計 |
|------|------------|--------|
| 減損損失 | 76,217 | 76,217 |

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

該当事項はありません。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

該当事項はありません。

(関連当事者情報)

1. 関連当事者との取引

(ア) 財務諸表提出会社の子会社

前事業年度（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

| 種類 | 会社等の名称 | 所在地 | 資本金又は出資金 (百万円) | 事業の内容 | 議決権等の所有 (被所有)割合 (%) | 関連当事者との関係 | 取引の内容 | 取引金額 (千円) | 科目 | 期末残高 (千円) |
|-----|--|-----------|-------------------|---------|---------------------------|-----------|-------|--------------|----|--------------|
| 子会社 | Daiwa Asset Management (Singapore) Ltd. | Singapore | 133 | 金融商品取引業 | (所有) 直接100.0 | 経営管理 | 債務保証 | 1,384,110 | - | - |
| 子会社 | Daiwa Asset Management (India) Private Limited | India | 1,128 | 金融商品取引業 | (所有) 直接 91.0 | 経営管理 | 増資の引受 | 3,204,985 | - | - |

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

- (1) シンガポール通貨庁(MAS)に対する当社からの保証状により、当該関連当事者の債務不履行等に関するMASへの損害等に対して保証しております。なお、債務総額は当該関連当事者の総運用資産額に応じて保証状にて定められております。
- (2) インド共和国における外国資本規制上の最低払込金額を満たすため、当社がDaiwa Asset Management(India)Private Limited社の行った増資を1株につき72円86銭で引き受けております。

当事業年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

| 種類 | 会社等の名称 | 所在地 | 資本金又は出資金 (百万円) | 事業の内容 | 議決権等の所有 (被所有)割合 (%) | 関連当事者との関係 | 取引の内容 | 取引金額 (千円) | 科目 | 期末残高 (千円) |
|-----|---|-----------|-------------------|---------|---------------------------|-----------|-------------|--------------|----|--------------|
| 子会社 | Daiwa Asset Management (Singapore) Ltd. | Singapore | 133 | 金融商品取引業 | (所有) 直接100.0 | 経営管理 | 債務保証 (注) | 1,372,770 | - | - |

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) シンガポール通貨庁(MAS)に対する当社からの保証状により、当該関連当事者の債務不履行等に関するMASへの損害等に対して保証しております。なお、債務総額は当該関連当事者の総運用資産額に応じて保証状にて定められております。

(イ) 財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社

前事業年度（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

| 種類 | 会社等の名称 | 所在地 | 資本金または出資金 (百万円) | 事業の内容 | 議決権等の所有 (被所有)割合 (%) | 関連当事者との関係 | 取引の内容 | 取引金額 (千円) | 科目 | 期末残高 (千円) |
|-------------|------------------|---------|--------------------|---------|---------------------------|-----------------|--------------|--------------|-------|--------------|
| 同一の親会社をもつ会社 | 大和証券㈱ | 東京都千代田区 | 100,000 | 金融商品取引業 | - | 証券投資信託受益証券の募集販売 | 証券投資信託の代行手数料 | 21,941,957 | 未払手数料 | 2,760,790 |
| 同一の親会社をもつ会社 | 大和証券キャピタル・マーケッツ㈱ | 東京都千代田区 | 255,700 | 金融商品取引業 | - | 証券投資信託受益証券の募集販売 | 証券投資信託の代行手数料 | 666,862 | 未払手数料 | 70,947 |
| | | | | | | | 為替予約 | 1,160,187 | - | - |

| | | | | | | | | | | |
|-------------|---------|--------|-------|---------|---|-----------|-----------|-----------|------|---------|
| 同一の親会社をもつ会社 | (株)大和総研 | 東京都江東区 | 1,000 | 情報サービス業 | - | ソフトウェアの開発 | ソフトウェアの購入 | 1,085,626 | 未払費用 | 129,623 |
|-------------|---------|--------|-------|---------|---|-----------|-----------|-----------|------|---------|

(注) 1. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(1) 証券投資信託の代行手数料については、証券投資信託の信託約款に定める受益者が負担する信託報酬のうち、当社が受け取る委託者報酬から代理事務に係る手数料として代行手数料を兄弟会社に支払います。手数料率については、一般取引先に対する取引条件と同様に決定しております。

(2) 為替予約取引の条件は、市場実勢を勘案して決定しております。

(3) ソフトウェアの購入については、市場の実勢価格を勘案して、その都度交渉の上、購入価格を決定しております。

当事業年度(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

| 種類 | 会社等の名称 | 所在地 | 資本金または出資金(百万円) | 事業の内容 | 議決権等の所有(被所有)割合(%) | 関連当事者との関係 | 取引の内容 | 取引金額(千円) | 科目 | 期末残高(千円) |
|-------------|---------------------|---------|----------------|---------|-------------------|-----------------|--------------|------------|-------|-----------|
| 同一の親会社をもつ会社 | 大和証券(株) | 東京都千代田区 | 100,000 | 金融商品取引業 | - | 証券投資信託受益証券の募集販売 | 証券投資信託の代行手数料 | 19,792,278 | 未払手数料 | 2,376,978 |
| 同一の親会社をもつ会社 | 大和証券キャピタル・マーケット(株) | 東京都千代田区 | 255,700 | 金融商品取引業 | - | 証券投資信託受益証券の募集販売 | 証券投資信託の代行手数料 | 595,391 | 未払手数料 | 76,686 |
| 同一の親会社をもつ会社 | (株)大和総研ビジネス・イノベーション | 東京都江東区 | 3,000 | 情報サービス業 | - | ソフトウェアの開発 | ソフトウェアの購入 | 1,233,996 | 未払費用 | 245,735 |

(注) 1. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(1) 証券投資信託の代行手数料については、証券投資信託の信託約款に定める受益者が負担する信託報酬のうち、当社が受け取る委託者報酬から代理事務に係る手数料として代行手数料を兄弟会社に支払います。手数料率については、一般取引先に対する取引条件と同様に決定しております。

(2) ソフトウェアの購入については、市場の実勢価格を勘案して、その都度交渉の上、購入価格を決定しております。

(3) 大和証券株式会社及び大和証券キャピタル・マーケット株式会社は、平成24年4月1日をもって合併いたしました。

2. 親会社に関する注記

(株)大和証券グループ本社(東京証券取引所、大阪証券取引所、名古屋証券取引所に上場)

(1株当たり情報)

| 前事業年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日) | 当事業年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日) |
|--|--|
| 1株当たり純資産額 14,146.05円 1株当たり当期純利益 3,529.09円 | 1株当たり純資産額 13,358.92円 1株当たり当期純利益 2,692.30円 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

| | 前事業年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日) | 当事業年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日) |
|-----------------|---|---|
| 当期純利益(千円) | 9,205,730 | 7,022,948 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 2,608,525 | 2,608,525 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(追加情報)

前事業年度(自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日)

当社及び株式会社大和証券グループ本社(以下、総称して「大和証券グループ」)は、株式会社新生銀行傘下で、インド共和国においてアセットマネジメント事業を行っているShinsei Asset Management (India) Private Limited(以下、「SAMI」)及びShinsei Trustee Company (India) Private Limited(以下、「STC」)の全株式を株式会社新生銀行及びその他の株主から取得いたしました。

本件について、平成22年12月20日に買収手続きを完了した後、「SAMI」及び「STC」は、Daiwa Asset Management (India) Private Limited(以下、「DAMI」)及びDaiwa Trustee Company (India) Private Limited(以下、「DTC」)として商号を変更しました。その後、インドにおける外国資本規制上の最低払込金額を満たすために、平成23年1月31日に増資を行っております。「DAMI」及び「DTC」は大和証券グループの100%子会社であり、当社の取得原価、増資の引受、貸借対照表計上額並びに出資比率は下記のとおりであります。

(単位：千円)

| | DAMI | DTC |
|-----------------------|-----------|--------|
| 取得原価 | 1,059,552 | 2,717 |
| 増資の引受 | 3,204,985 | 9,944 |
| 貸借対照表計上額(注) 関係会社株式 | 4,391,020 | 13,037 |
| 出資比率 | 91.0% | 99.9% |

(注) 取得付随費用を算入した後の金額になります。

当事業年度(自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日)

該当事項はありません。

4 【利害関係人との取引制限】

委託会社は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

自己又はその取締役若しくは執行役との間における取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと(投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)

運用財産相互間において取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと(投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)

通常取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等(委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下において同じ。)又は子法人等(委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。)と有価証券の売買その他の取引又は店頭デリバティブ取引を行なうこと。

委託会社の親法人等又は子法人等の利益を図るため、その行なう投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額若しくは市場の状況に照らして不必要な取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと。

上記に掲げるもののほか、委託会社の親法人等又は子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。

5 【その他】

a. 定款の変更、事業譲渡または事業譲受、出資の状況その他の重要事項

提出日前1年以内において、定款の変更、事業譲渡または事業譲受、出資の状況その他の重要事項に該当する事実はありません。

b. 訴訟事件その他委託会社に重要な影響を及ぼした事実または重要な影響を及ぼすことが予想される事実

提出日前1年以内において、訴訟事件その他委託会社に重要な影響を及ぼした事実または重要な影響を及ぼすことが予想される事実はありません。

第2 【その他の関係法人の概況】

1 【名称、資本金の額及び事業の内容】

(1) 受託会社

名称 三井住友信託銀行株式会社

資本金の額 342,037百万円（平成24年4月1日現在）

事業の内容

銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

(2) 販売会社

名称 S M B C フレンド証券株式会社

資本金の額 27,270百万円（平成24年3月末日現在）

事業の内容 金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。

2 【関係業務の概要】

受託会社は、信託契約の受託者であり、委託会社の指図に基づく信託財産の管理・処分、信託財産の計算等を行いません。なお、外国における資産の保管は、その業務を行なうに十分な能力を有すると認められる外国の金融機関が行なう場合があります。

販売会社は、受益権の募集の取扱い、信託契約の一部解約に関する事務、収益分配金・償還金・一部解約金の支払いに関する事務等を行いません。

3 【資本関係】

該当ありません。

< 再信託受託会社の概要 >

名称：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社

資本金の額：51,000百万円（平成24年3月末日現在）

事業の内容：銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

再信託の目的：原信託契約にかかる信託事務の一部（信託財産の管理）を原信託受託会社から再信託受託会社（日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社）へ委託するため、原信託財産のすべてを再信託受託会社へ移管することを目的とします。

第3 【参考情報】

ファンドについては、当計算期間において以下の書類が関東財務局長に提出されております。

| （提出年月日） | （書類名） |
|------------|-------|
| 平成24年1月30日 | 臨時報告書 |
| 平成24年3月1日 | 臨時報告書 |
| 平成24年4月2日 | 臨時報告書 |
| 平成24年4月3日 | 臨時報告書 |

独立監査人の監査報告書

平成24年7月27日

大和証券投資信託委託株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 佐藤 茂 印
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 久野 佳樹 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）ブラジルリアルコースの平成23年12月28日から平成24年6月20日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）ブラジルリアルコースの平成24年6月20日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

大和証券投資信託委託株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注1） 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
（注2） 財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成24年7月27日

大和証券投資信託委託株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 佐藤 茂 印
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 久野 佳樹 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）豪ドルコースの平成23年12月28日から平成24年6月20日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）豪ドルコースの平成24年6月20日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

大和証券投資信託委託株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- （注1） 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
- （注2） 財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成24年7月27日

大和証券投資信託委託株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 佐藤 茂 印
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 久野 佳樹 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）南アフリカランドコースの平成23年12月28日から平成24年6月20日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）南アフリカランドコースの平成24年6月20日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

大和証券投資信託委託株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- （注1） 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
- （注2） 財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成24年7月27日

大和証券投資信託委託株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 佐藤 茂 印
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 久野 佳樹 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）資源国通貨コースの平成23年12月28日から平成24年6月20日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）資源国通貨コースの平成24年6月20日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

大和証券投資信託委託株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注1） 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
（注2） 財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成24年7月27日

大和証券投資信託委託株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 佐藤 茂 印
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 久野 佳樹 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）香港ドルコースの平成23年12月28日から平成24年6月20日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）香港ドルコースの平成24年6月20日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

大和証券投資信託委託株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注1） 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
（注2） 財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成24年7月27日

大和証券投資信託委託株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 佐藤 茂 印
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 久野 佳樹 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）日本円コースの平成23年12月28日から平成24年6月20日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、香港ハンセン指数ファンド（通貨選択型）日本円コースの平成24年6月20日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

大和証券投資信託委託株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注1） 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

（注2） 財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。

[委託会社の監査報告書（当期）へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成24年 5月25日

大和証券投資信託委託株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森 公高 印指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 貞廣 篤典 印指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 内田 和男 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている大和証券投資信託委託株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの第53期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、大和証券投資信託委託株式会社の平成24年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注)上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。